

令和8年度合志市市民意識調査業務

合志市のまちづくりをすすめていくための
市民意識調査（令和8年6～7月調査）

報 告 書

令和8年8月

合志市市長公室企画課

目 次

I	調査の概要	1
◆	調査の概要	2
II	調査結果	7
◆	日常生活について	8
1.	地域活動等への参加について	8
2.	子育てについて	21
◆	健康について	39
1.	健康づくりの取組みについて	39
2.	健康知識について	48
3.	「ユーパーレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」について	50
4.	生涯学習等について	52
◆	住環境などについて	57
1.	住環境の評価	57
2.	交通について	60
3.	人権について	67
4.	相談専門部署について	71
◆	市政について	73
1.	市役所について	73
2.	市議会の活動について	77
III	アンケート調査票	79
IV	概要版	93

I 調査の概要



調査の概要

◆調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域

合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する 18 歳以上の男女 3,000 人

(3) 調査対象者の抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

37.7%（回収数 1,132 件）

(5) 調査方法

郵送による配布、郵送及び WEB による回収

(6) 調査期間

令和 8 年 6 月 19 日～令和 8 年 7 月 22 日

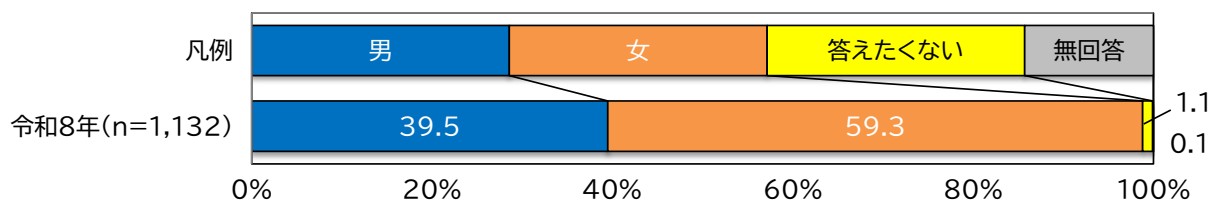
3. 本報告書の見方

- ・図表中の「n」とは、回答総数を表している。
- ・単一回答については、全て百分率（％）で算出し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計値が 100%を超える場合がある。

4. 回答者の基本属性

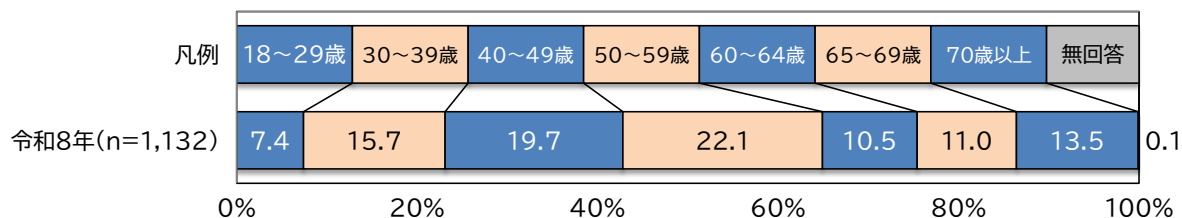
(1) 性別

- 「女性」が半数以上となっており、「男性」の約4割を上回っている。



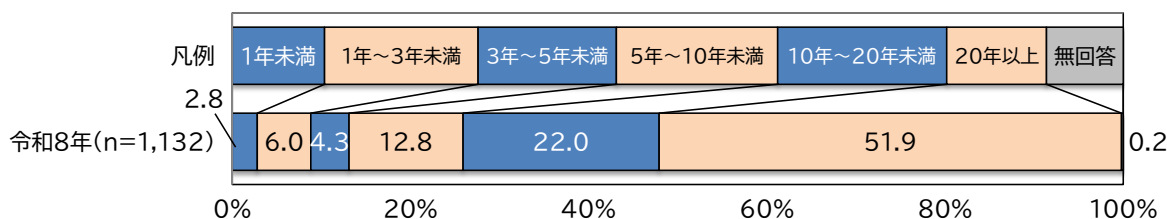
(2) 年齢

- 「50～59 歳」が 22.1%と最も多く、「40～49 歳」が 19.7%で続く。



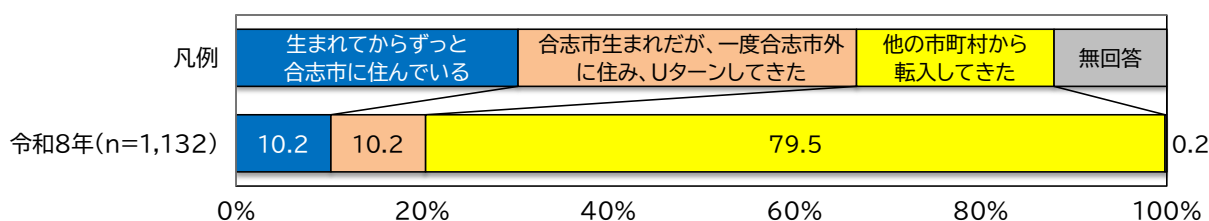
(3) 居住年数

- 「20 年以上」が 51.9%と半数を占めている。



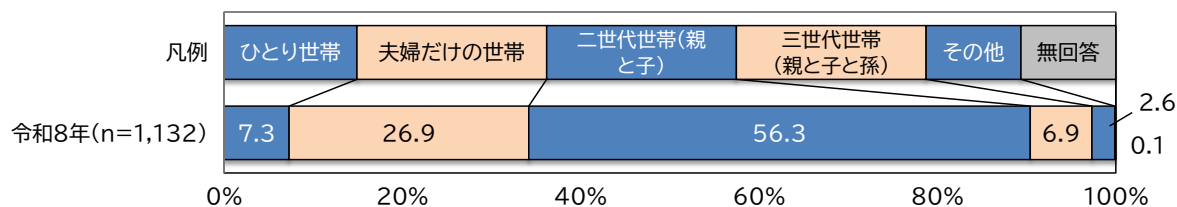
(4) 居住パターン

- 「転入」が約8割となっており、「合志市（転出なし）」、「Uターン者」がそれぞれ1割程度となっている。



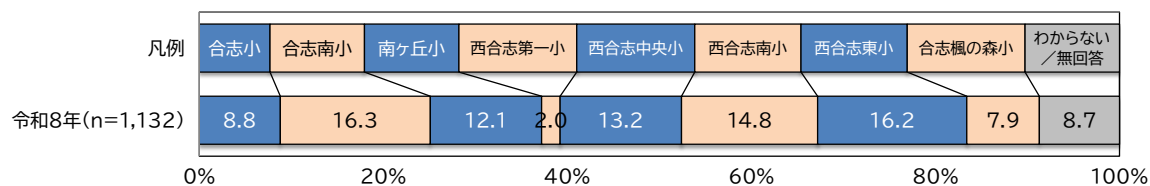
(5) 家族構成

- 「二世世代世帯（親と子）」が56.3%と半数を超えており、次いで「夫婦だけの世帯」が26.9%となっている。「ひとり世帯」「三世世代世帯（親と子と孫）」は1割未満となっている。



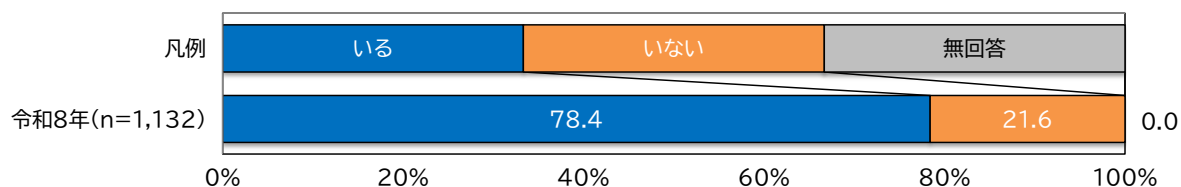
(6) 校区

- 「合志南小」が16.3%と最も多く、「西合志東小」16.2%、「西合志南小」14.8%と続く。以下、「西合志中央小」13.2%、「南ヶ丘小」12.1%、「合志小」8.8%、「合志楓の森小」7.9%の順となっている。なお「西合志第一小」は2.0%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



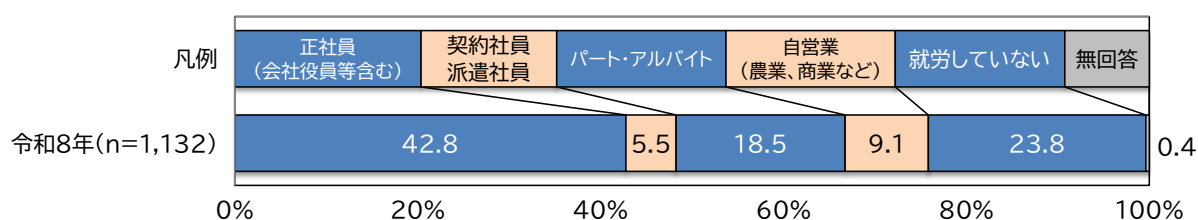
(7) 配偶者有無

- 配偶者が「いる」が8割弱を占めており、「いない」は21.6%となっている。



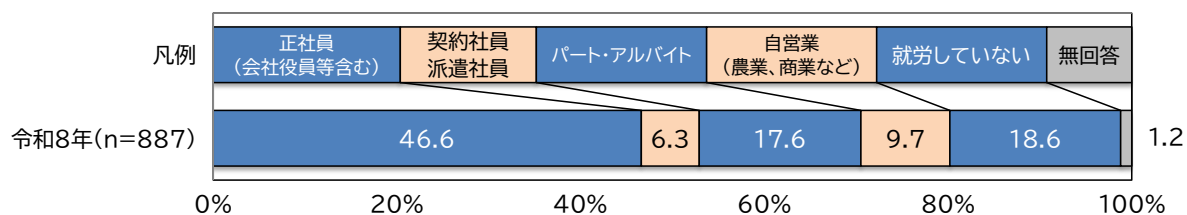
(8) 自身の職業

- 8割弱が就労しており、「正社員」が42.8%、次いで「就労していない」が23.8%となっている。



(9) 配偶者の職業

- 配偶者がいる887人のうち、約8割が就労しており、配偶者の職業では「正社員」が46.6%と最も多く、「就労していない」が18.6%で続く。



<基本属性の比較>

		令和8年度 調査 n=1,132	令和7年度 調査 n=1,059	令和6年度 調査 n=1,053	令和5年度 調査 n=1,064	令和4年度 調査 n=1,121	令和3年度 調査 n=1,363
性別	男	39.5	39.8	41.5	42.5	40.6	40.8
	女	59.3	58.5	57.4	57.0	58.5	58.6
	答えたくない	1.1	1.5	0.9	0.5	0.4	0.3
	無回答	0.1	0.2	0.3	0.1	0.4	0.3
年齢	18～29歳	7.4	6.6	9.3	8.7	7.4	9.7
	30～39歳	15.7	15.4	16.9	17.4	19.0	16.7
	40～49歳	19.7	22.5	21.9	22.2	21.8	20.8
	50～59歳	22.1	21.5	16.9	17.3	16.1	15.6
	60～64歳	10.5	9.0	9.3	8.8	9.1	9.6
	65～69歳	11.0	12.2	11.4	12.7	11.3	12.5
	70歳以上	13.5	12.8	14.1	12.8	15.1	14.7
	無回答	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.3
自分の職業	正社員	42.8	42.3	41.6	38.3	40.8	36.5
	契約・派遣社員	5.5	7.4	6.6	6.8	5.5	7.0
	パート・アルバイト	18.5	19.9	20.6	17.3	17.8	20.0
	自営業	9.1	5.8	5.6	6.3	6.8	7.0
	就労していない	23.8	24.0	24.3	24.7	27.6	28.0
	無回答	0.4	0.7	1.3	6.6	1.5	1.4
居住パターン	合志市(転出なし)	10.2	10.4	9.5	13.0	10.3	10.1
	Uターン	10.2	9.3	9.7	9.0	9.5	10.3
	転入	79.5	80.1	80.6	77.8	80.1	79.3
	無回答	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3

		令和8年度 調査 n=1,132	令和7年度 調査 n=1,059	令和6年度 調査 n=1,053	令和5年度 調査 n=1,064	令和4年度 調査 n=1,121	令和3年度 調査 n=1,363
居住年数	1年未満	2.8	2.6	2.4	2.5	3.5	2.9
	1～3年未満	6.0	5.6	6.9	5.3	4.6	5.8
	3～5年未満	4.3	6.4	5.0	3.6	5.2	4.8
	5～10年未満	12.8	10.1	10.9	11.6	13.4	13.1
	10～20年未満	22.0	23.1	23.1	24.5	20.1	22.2
	20年以上	51.9	52.1	51.5	52.3	52.9	50.8
	無回答	0.2	0.0	0.2	0.2	0.4	0.3
居住校区	合志小	8.8	7.2	8.2	8.0	7.9	7.6
	合志南小	16.3	16.2	17.2	17.4	17.0	16.4
	南ヶ丘小	12.1	12.2	14.0	11.3	14.5	12.8
	西合志第一小	2.0	3.4	2.8	2.3	2.4	2.9
	西合志中央小	13.2	12.3	11.8	11.7	12.0	11.3
	西合志南小	14.8	17.8	14.1	16.4	16.5	17.2
	西合志東小	16.2	15.7	16.1	18.2	15.9	16.0
	合志楓の森小	7.9	8.8	9.0	7.8	8.7	7.3
	わからない/無回答	8.7	6.5	6.2	6.9	5.3	8.5
家族構成	ひとり世帯	7.3	7.6	6.6	5.5	5.9	7.6
	夫婦だけ	26.9	27.4	25.5	26.4	26.4	25.6
	二世帯世帯	56.3	57.1	58.3	57.5	58.1	55.6
	三世帯世帯	6.9	5.8	6.8	7.9	7.2	7.7
	その他	2.6	1.9	2.6	2.5	2.2	3.1
	無回答	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4
配偶者	いる	78.4	79.5	78.3	78.8	78.2	79.0
	いない	21.6	20.5	21.6	21.0	21.4	20.7
	無回答	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	0.3
配偶者の職業	正社員	46.6	46.7	46.0	43.4	44.6	42.7
	契約・派遣社員	6.3	5.5	4.9	6.2	5.0	5.3
	パート・アルバイト	17.6	15.8	17.0	14.9	15.6	12.9
	自営業	9.7	6.3	7.2	7.2	7.4	7.5
	就労していない	18.6	24.1	22.7	25.7	25.3	26.2
	無回答	1.2	1.7	2.3	2.6	2.1	5.4

Ⅱ 調査結果



◆日常生活について

1. 地域活動等への参加について

(1) 地域活動（自治会）への参加

①参加意向の有無（問15）

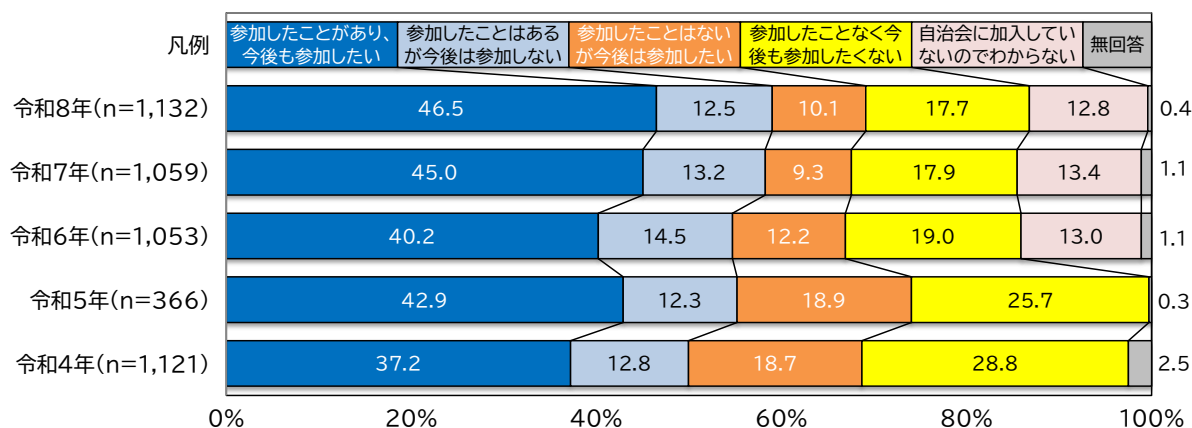
あなたは、過去1年間で地域の活動（自治会の活動）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、地域の活動（自治会の活動）に参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は59.0%と半数を超えている。一方、参加していない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）は27.8%となっている。前年度と比較すると、参加した人の割合はやや増加している。

また、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は56.6%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の30.2%を大きく上回っている。

※令和5年度調査では、設問対象者が限定されていたため回答者数が他年度と比べ少数となっている。

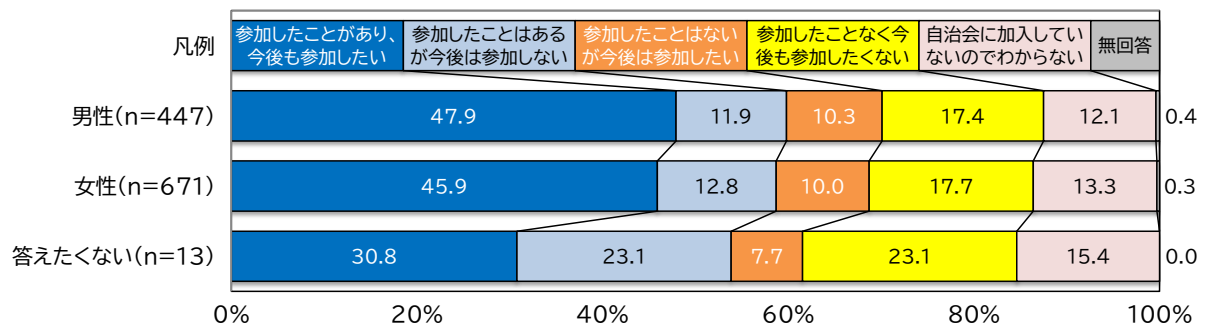
※選択肢【自治会に加入していないのでわからない】は、令和6年度調査より新設



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	526	46.5	477	45.0	423	40.2	157	42.9	417	37.2
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	142	12.5	140	13.2	153	14.5	45	12.3	143	12.8
3 参加したことはないが、今後は参加したい	114	10.1	98	9.3	128	12.2	69	18.9	210	18.7
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	200	17.7	190	17.9	200	19.0	94	25.7	323	28.8
5 自治会に加入していないのでわからない	145	12.8	142	13.4	137	13.0				
6 無回答	5	0.4	12	1.1	12	1.1	1	0.3	28	2.5
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	366	100.0	1121	100.0

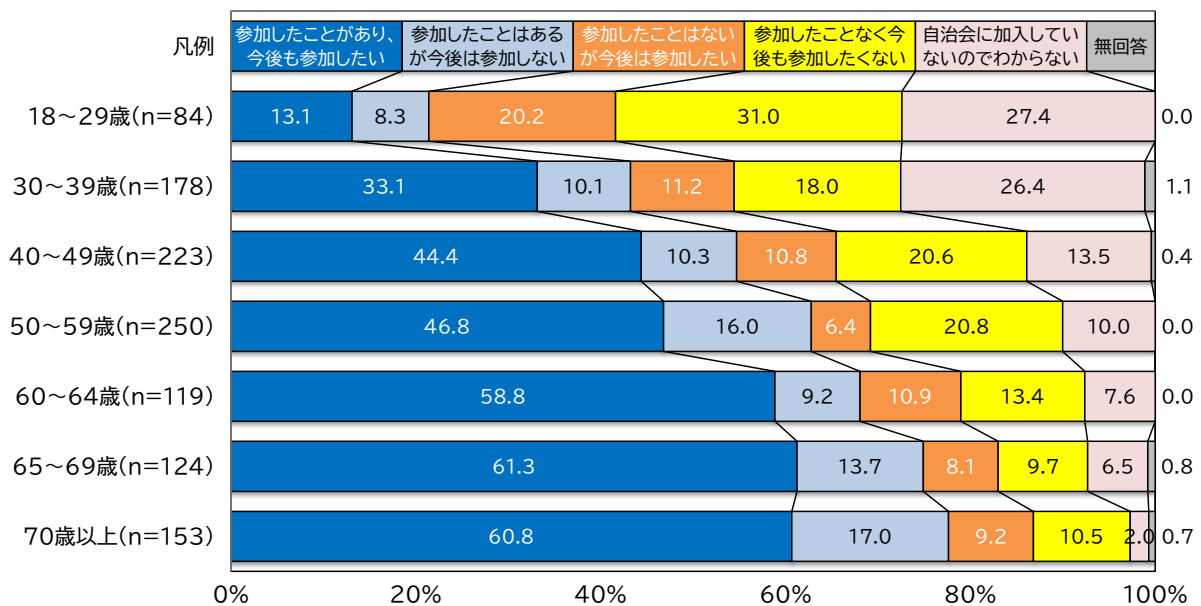
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 59.8%、女性 58.7%と男性の方がやや高い。
- 今後の参加意向がある人の割合は男性 58.2%、女性 55.9%であり、こちらも男性のほうが高くなっている。



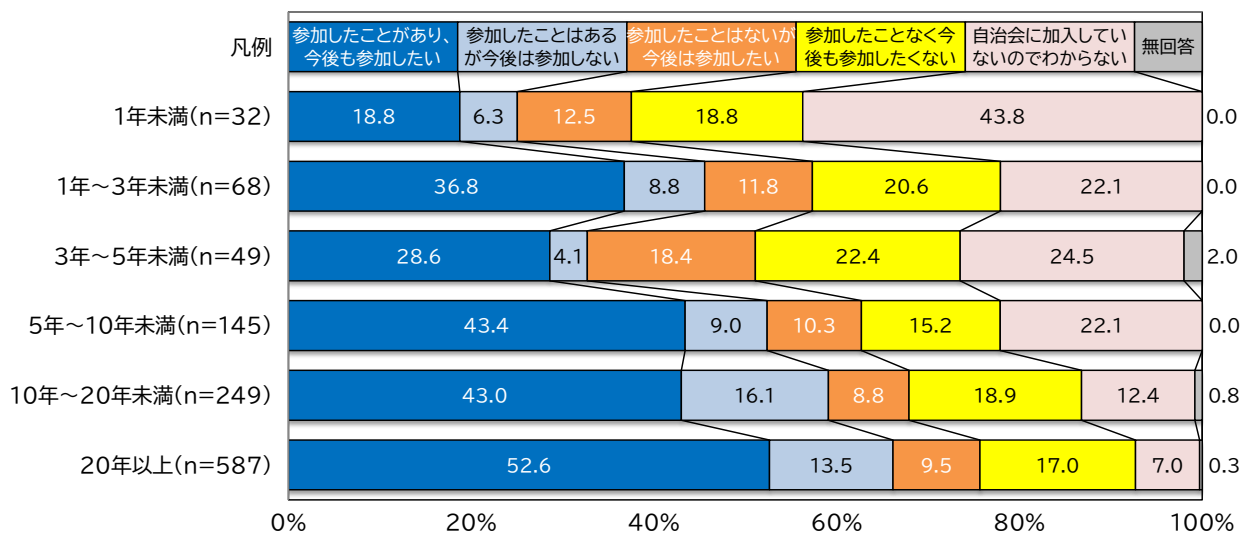
【年齢別】

- 参加した人の割合は、20代以下では21.4%となっているが、40代以上ではどの年代も、半数を超えている。
- 40代以上のどの年代も、半数以上の人参加意向を示している。



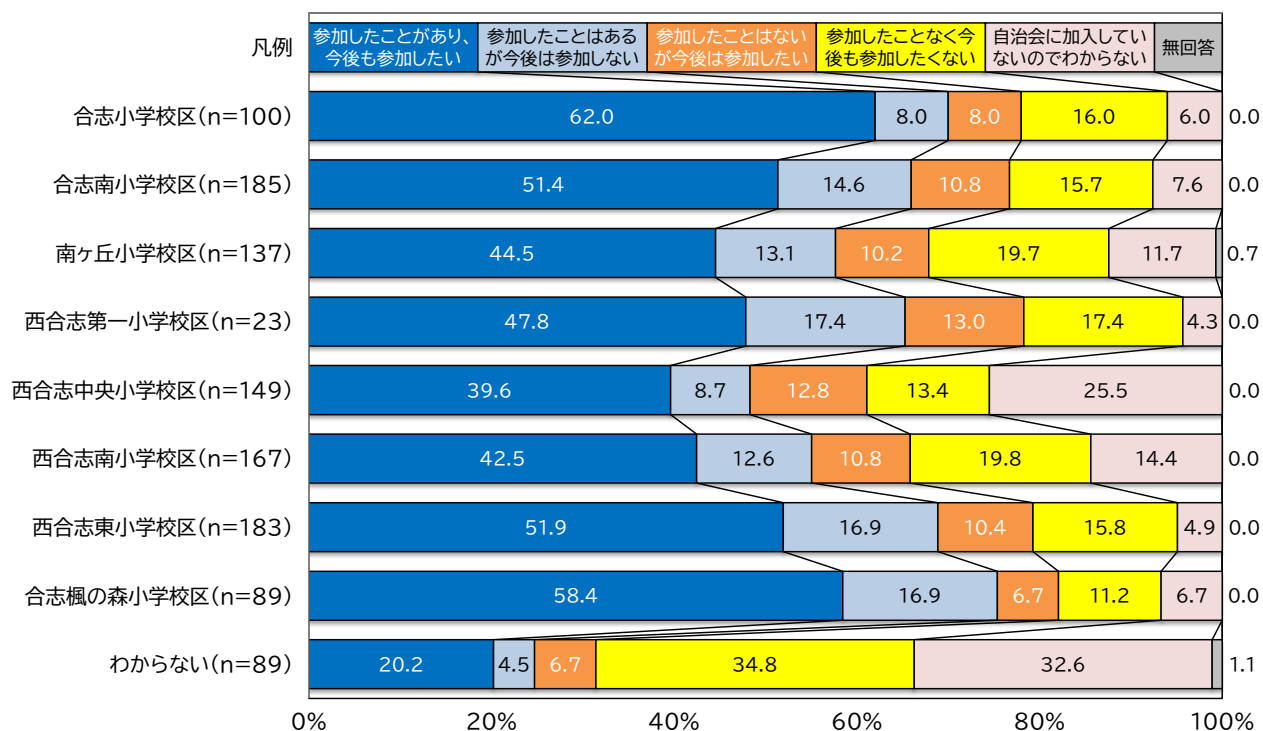
【居住年数別】

- 参加した人の割合は、居住年数５年以上の人が半数以上となっている。
- 今後の参加意向についても、居住年数５年以上の人が半数以上で参加意向を示している。



【校区別】

- 参加した人の割合は、合志小、合志南小、西合志第一小、西合志東小、合志楓の森小が6割以上で他の校区よりも高くなっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、すべての校区で半数以上となっており、特に合志小は70.0%と最も高くなっている。

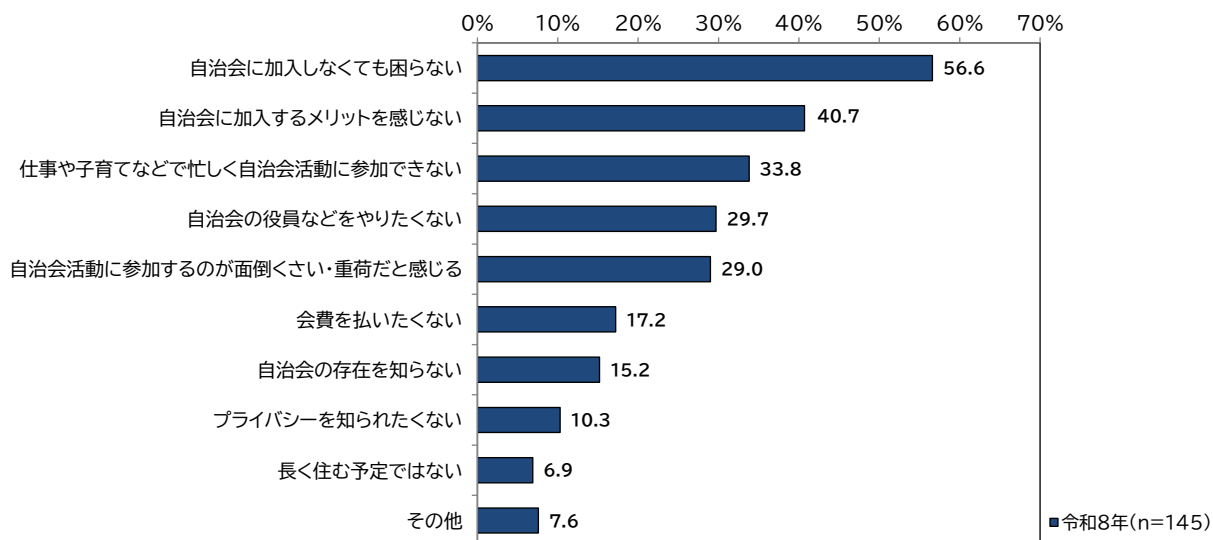


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

②自治会へ加入していない理由（問１６）

問１５の選択肢で「５．自治会に加入していないのでわからない」と答えた方にお尋ねします。
自治会に加入していない理由は何ですか。

自治会へ加入していない理由 145 人の意見としては、「自治会に加入しなくても困らない」が 56.6%と最も高く、次いで「自治会に加入するメリットを感じない」40.7%、「仕事や子育てなどで忙しく自治会活動に参加できない」33.8%となっている。



【性別】

- 男女ともに「自治会に加入しなくても困らない」が5割以上と最も高い。次いで「自治会に加入するメリットを感じない」が男性 44.4%、女性 38.2%と男性の方が 6.2 ポイント高い。

【年齢別】

- どの年代においても「自治会に加入しなくても困らない」が高くなっている傾向があり、60～64 歳では同率で「自治会に加入するメリットを感じない」が 44.4%となっている。また、65～69 歳では、「自治会に加入しなくても困らない」が 12.5%と低く、「自治会活動に参加するのが面倒くさい・重荷だと感じる」が 50.0%と最も高くなっている。

【校区別】

- どの校区においても「自治会に加入しなくても困らない」が最も高く、5 割を超えている。

	合 計	自治会に加入しなくても困らない	仕事や子育てなどで忙しく自治会活動に参加できない	自治会活動に参加するのが面倒くさい・重荷だと感じる	自治会に加入するメリットを感じない	自治会の役員などをやりたくない	自治会の存在を知らない	長く住む予定ではない	会費を払いたくない	プライバシーを知られたくない	その他
全 体	145	56.6%	33.8%	29.0%	40.7%	29.7%	15.2%	6.9%	17.2%	10.3%	7.6%
■性別											
男性	54	59.3%	33.3%	27.8%	44.4%	29.6%	11.1%	5.6%	18.5%	7.4%	7.4%
女性	89	53.9%	33.7%	29.2%	38.2%	29.2%	16.9%	7.9%	15.7%	12.4%	7.9%
答えたくない	2	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
■年代別											
18～29歳	23	60.9%	21.7%	13.0%	26.1%	21.7%	26.1%	8.7%	13.0%	4.3%	8.7%
30～39歳	47	55.3%	51.1%	29.8%	44.7%	40.4%	19.1%	8.5%	27.7%	12.8%	2.1%
40～49歳	30	73.3%	40.0%	43.3%	56.7%	30.0%	10.0%	0.0%	13.3%	13.3%	3.3%
50～59歳	25	48.0%	24.0%	24.0%	36.0%	32.0%	4.0%	12.0%	20.0%	12.0%	20.0%
60～64歳	9	44.4%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
65～69歳	8	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
70歳以上	3	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■校区別											
合志小学校区	6	83.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
合志南小学校区	14	64.3%	21.4%	21.4%	50.0%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%
南ヶ丘小学校区	16	68.8%	50.0%	37.5%	50.0%	37.5%	6.3%	0.0%	18.8%	12.5%	18.8%
西合志第一小学校区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西合志中央小学校区	38	57.9%	50.0%	44.7%	57.9%	50.0%	13.2%	0.0%	28.9%	10.5%	5.3%
西合志南小学校区	24	45.8%	45.8%	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	12.5%	8.3%	20.8%	4.2%
西合志東小学校区	9	66.7%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合志楓の森小学校区	6	50.0%	16.7%	50.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%
わからない	29	51.7%	10.3%	17.2%	41.4%	24.1%	27.6%	17.2%	17.2%	6.9%	3.4%

その他の記述内容	件数
タイミングが合わなかったため	3
親族が加入しているため	2
わからないため	2
介護をしていて参加できない	各1
情報がない	

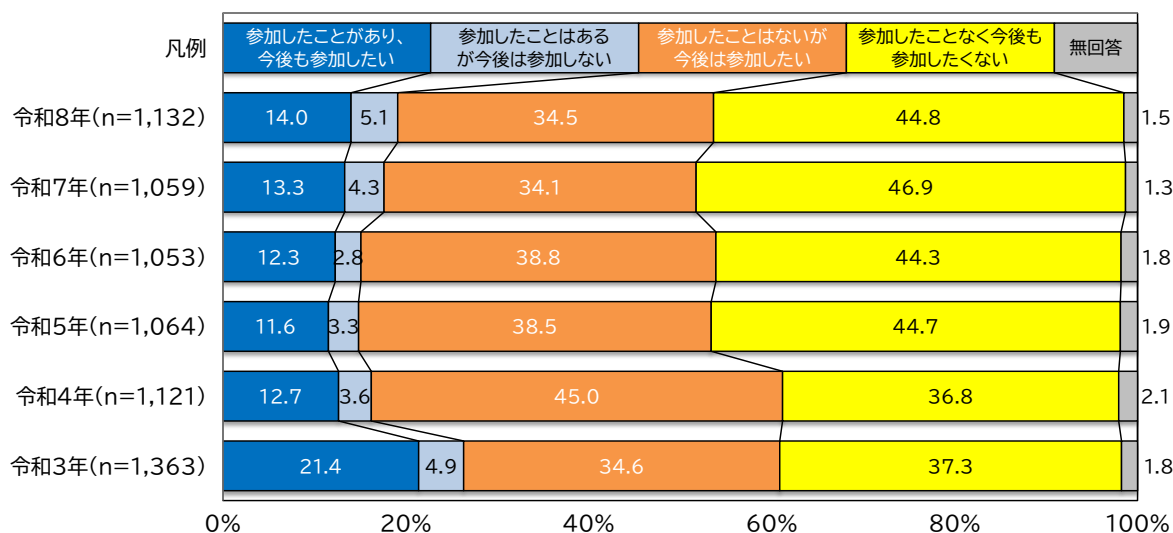
(2) ボランティア活動等への参加（問17）

あなたは、過去1年間でボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、ボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は19.1%となっており、参加していない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後参加したくない」）が79.3%と8割近くになっている。

また、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は48.5%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後参加したくない」）の49.9%をやや下回っている。

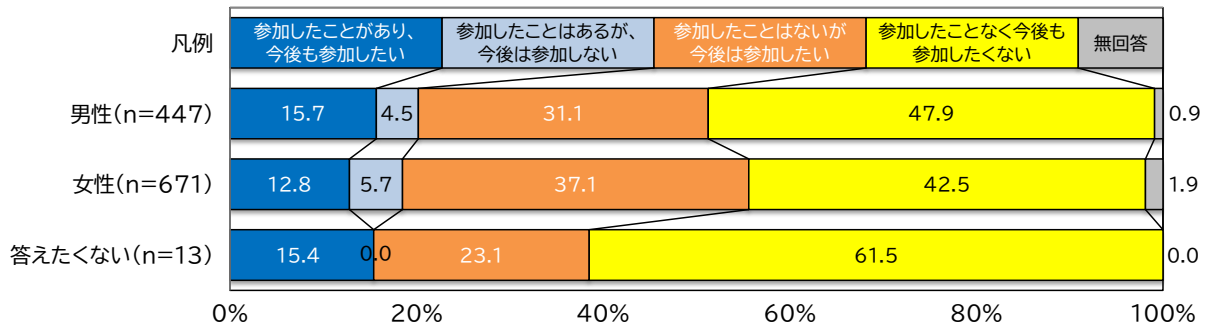
参加した人の割合は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛により令和4年度以降の減少が顕著となっていたが、令和6年度調査では、わずかながら増加に転じており、今年度も前年度と比べ1.5ポイント微増し、年々増加していることがわかる。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	159	14.0	141	13.3	129	12.3	123	11.6	142	12.7	292	21.4
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	58	5.1	46	4.3	30	2.8	35	3.3	40	3.6	67	4.9
3 参加したことはないが、今後は参加したい	391	34.5	361	34.1	409	38.8	410	38.5	504	45.0	471	34.6
4 参加したこともなく、今後参加したくない	507	44.8	497	46.9	466	44.3	476	44.7	412	36.8	509	37.3
5 無回答	17	1.5	14	1.3	19	1.8	20	1.9	23	2.1	24	1.8
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

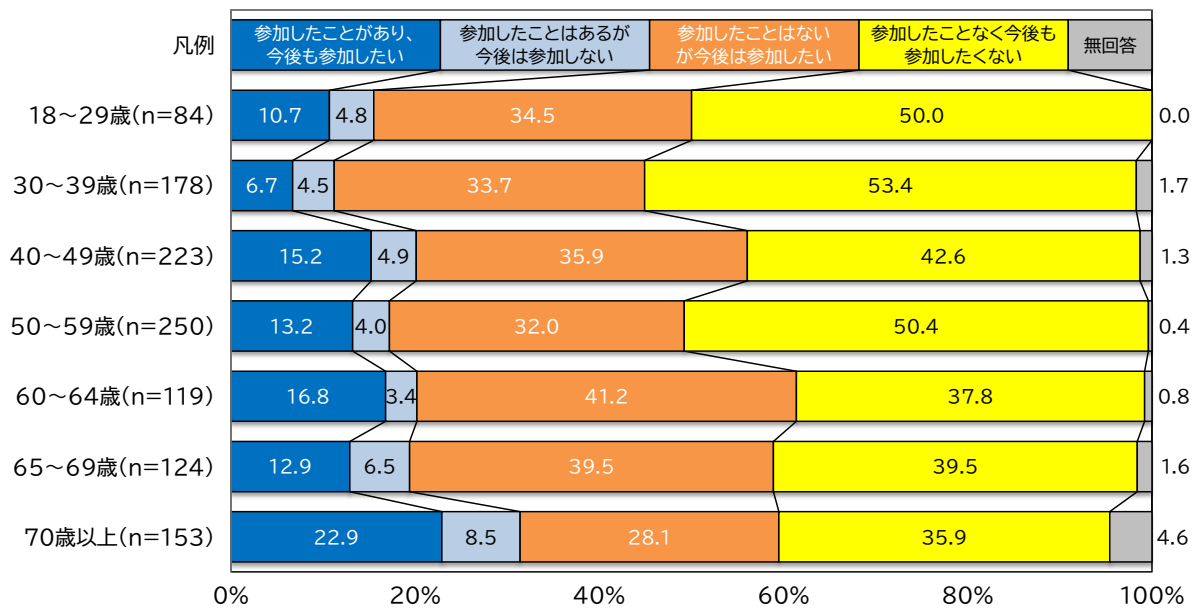
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 20.2%、女性 18.5%と男性の割合がやや高い。
- 今後の参加意向は、男性 46.8%、女性 49.9%と女性の方が 3.1 ポイント高い。



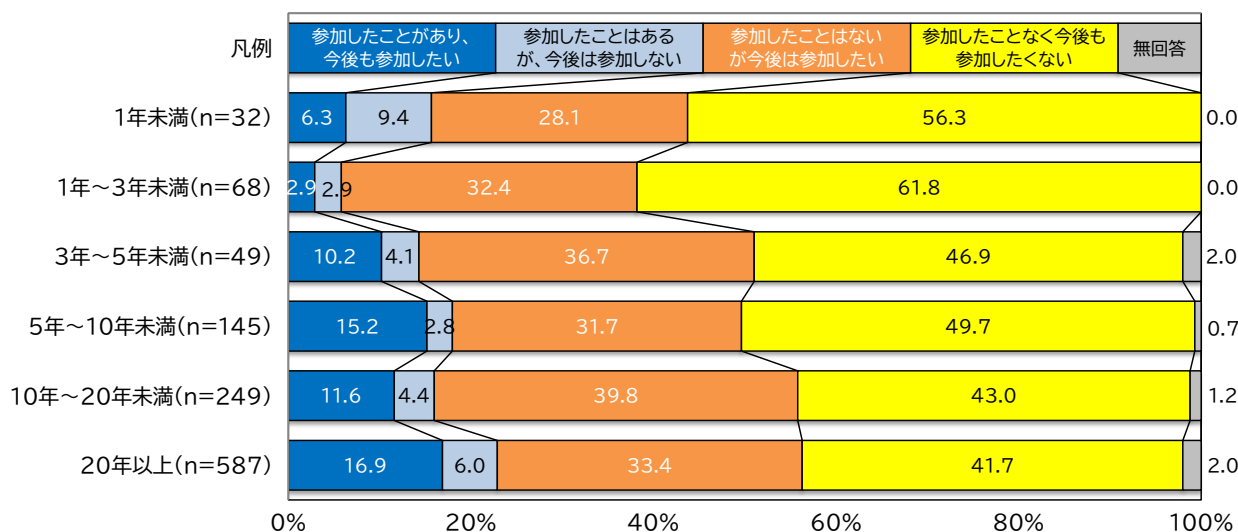
【年齢別】

- 参加した人の割合は、年代が上がるにつれて概ね増加傾向であることが認められ、70 歳以上では 31.4%となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、60～64 歳で 58.0%と最も高くなっている。



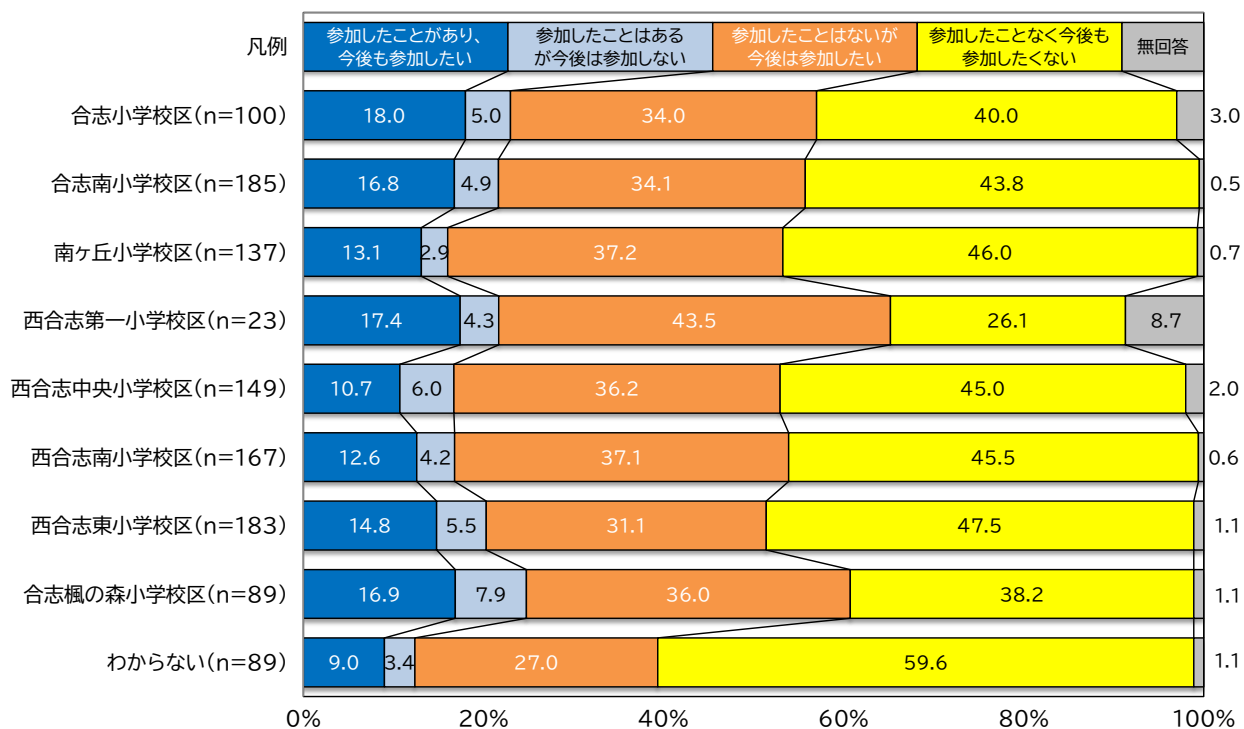
【居住年数別】

- 参加した人の割合は、居住年数 20 年以上が 22.9%と最も高く、1 年～3 年未満が 5.8%と最も低い。これら以外の居住年数では 15%前後となっている。
- 今後の参加意向については、すべての居住年数で3～5 割台となっている。



【校区別】

- 参加した人の割合は、合志楓の森小が 24.8%と最も高く、これに合志小の 23.0%、合志南小、西合志第一小の 21.7%が続く。
- 今後の参加意向がある人の割合は、合志小、合志南小、南ヶ丘小、西合志第一小、合志楓の森小において5割以上と高くなっており、なかでも西合志第一小が 60.9%と最も高い。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

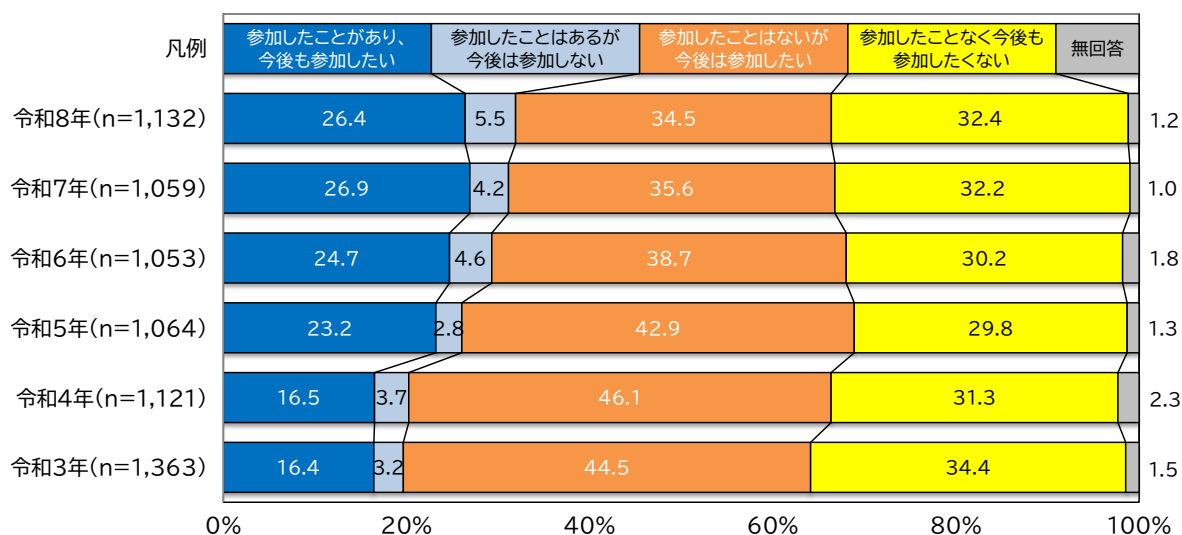
(3) 市のイベント等への参加（問18）

あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は31.9%となっており、参加したことがない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）が66.9%を占めている。

また、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は60.9%と、参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の37.9%を大きく上回っている。

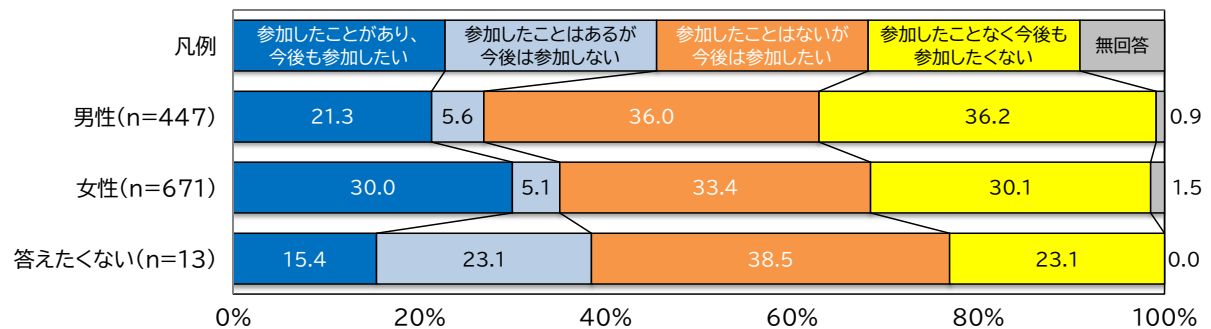
前年度と比較して、参加した人が0.8ポイント微増している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	299	26.4	285	26.9	260	24.7	247	23.2	185	16.5	224	16.4
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	62	5.5	45	4.2	48	4.6	30	2.8	42	3.7	44	3.2
3 参加したことはないが、今後は参加したい	390	34.5	377	35.6	408	38.7	456	42.9	517	46.1	606	44.5
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	367	32.4	341	32.2	318	30.2	317	29.8	351	31.3	469	34.4
5 無回答	14	1.2	11	1.0	19	1.8	14	1.3	26	2.3	20	1.5
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

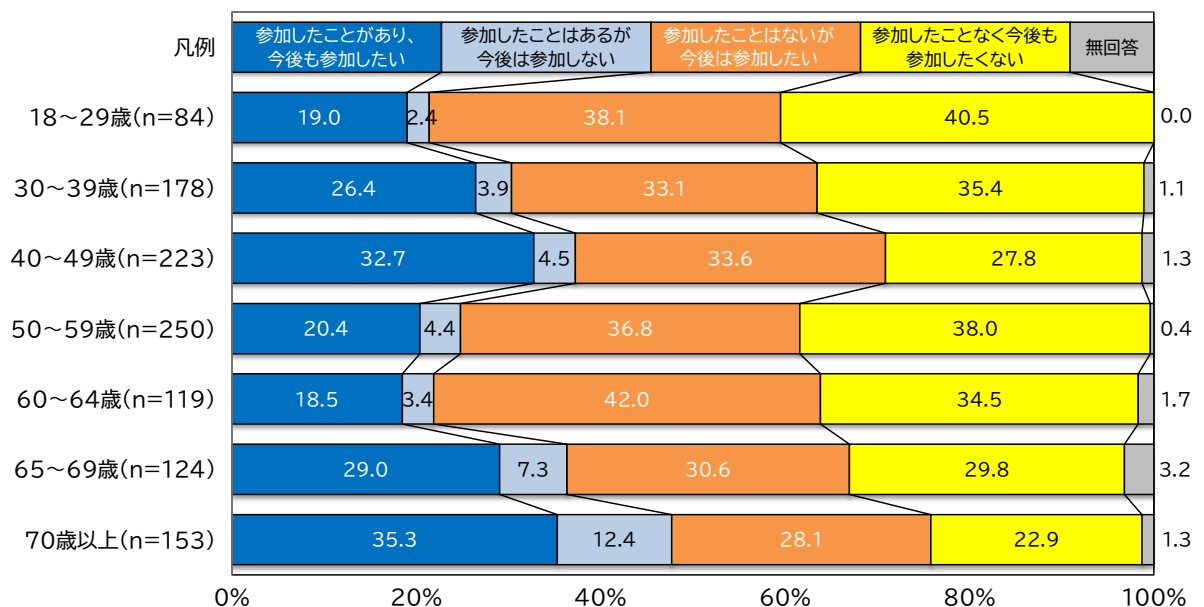
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 26.9%、女性 35.1%と女性の割合が高い。
- 今後の参加意向がある人の割合は、男性 57.3%、女性 63.4%とこちらも女性の割合がやや高い。



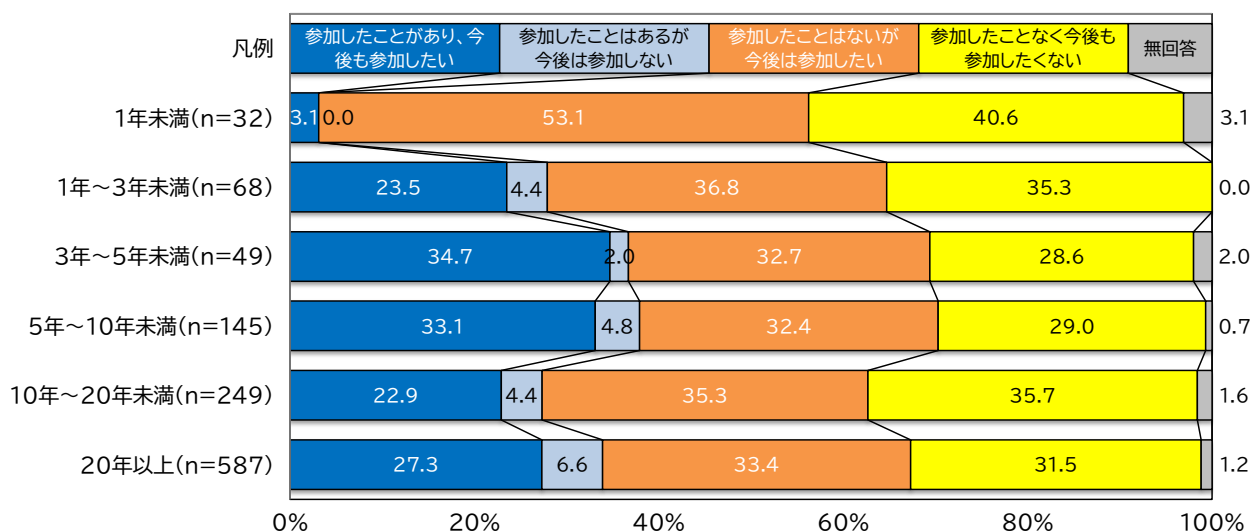
【年齢別】

- 参加した人の割合は、20代以下、50～64歳では2割台と低く、その他の年代では3割以上となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの年代でも半数以上となっている。



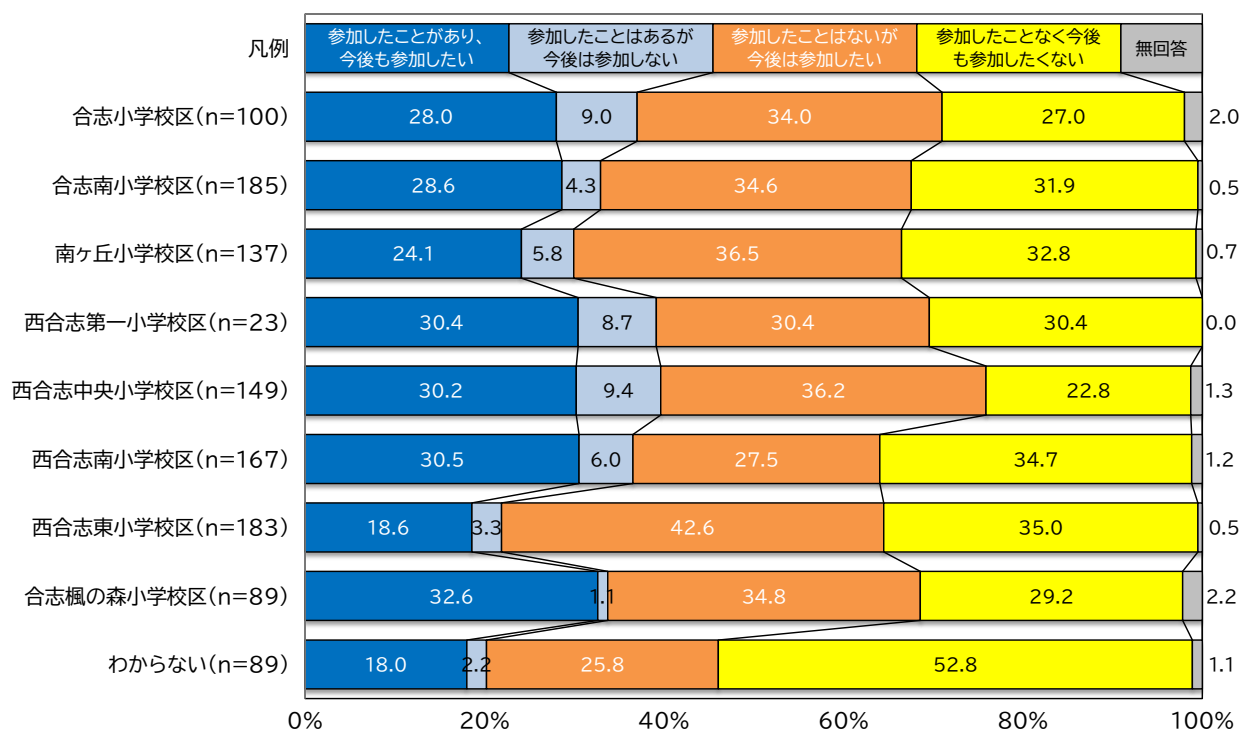
【居住年数別】

- 参加した人の割合は、居住年数 5 年～10 年未満の 37.9%が最も高く、これに 3 年～5 年未満の 36.7%が続いている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく半数以上となっている。



【校区別】

- 参加した人の割合は、西合志中央小が 39.6%と最も高く、これに西合志第一小の 39.1%、合志小の 37.0%が続く。
- 今後の参加意向がある人の割合は、すべての校区で半数以上となっており、特に合志楓の森小では 67.4%と最も高くなっている。



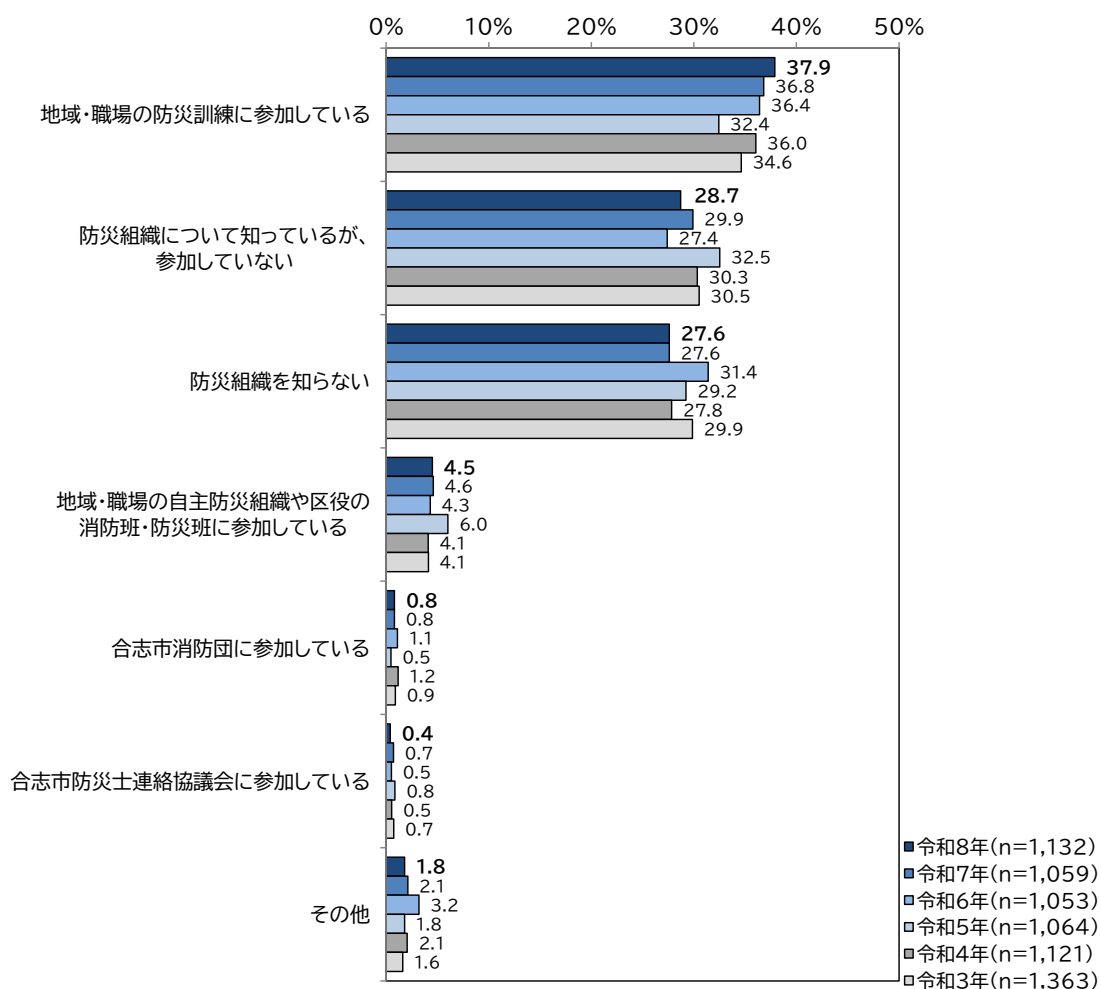
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(4) 防災に対する活動への参加（問 19）

あなたは、地域・職場内の防災に対する活動に参加していますか。

地域・職場内での防災に対する活動の参加状況については、「地域・職場の防災訓練に参加している」が 37.9%で最も高く、次いで「防災組織について知っているが、参加していない」が 28.7%となっている。一方、「防災組織を知らない」人の割合は 27.6%となっている。

防災に取り組んでいる人（「地域・職場の防災訓練に参加」+「地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している」+「合志市消防団に参加している」+「合志市防災士連絡協議会に参加している」）の割合は 43.6%となっており、前年度と比べ、大きな差は認められない。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=1132		n=1059		n=1053		n=1064		n=1121		n=1363	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 地域・職場の防災訓練に参加している	429	37.9	390	36.8	383	36.4	345	32.4	404	36.0	472	34.6
2 地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している	51	4.5	49	4.6	45	4.3	64	6.0	46	4.1	56	4.1
3 合志市消防団に参加している	9	0.8	9	0.8	12	1.1	5	0.5	13	1.2	12	0.9
4 合志市防災士連絡協議会に参加している	4	0.4	7	0.7	5	0.5	9	0.8	6	0.5	10	0.7
5 防災組織について知っているが、参加していない	325	28.7	317	29.9	288	27.4	346	32.5	340	30.3	416	30.5
6 防災組織を知らない	312	27.6	292	27.6	331	31.4	311	29.2	312	27.8	407	29.9
7 その他	20	1.8	22	2.1	34	3.2	19	1.8	23	2.1	22	1.6

【性別】

- 男女ともに「地域・職場の防災訓練に参加している」が4割弱で最も高く、これに「防災組織を知っているが不参加」、「防災組織を知らない」が約3割で続く。

【年齢別】

- 防災に取り組んでいる人の割合は、40～59歳では5割前後となっている。
- 「防災組織を知らない」人の割合は、20代以下では5割と高い。

【校区別】

- 防災に取り組んでいる人の割合は、どの校区においても3～4割台となっている。

	合 計	地 域・ 職 場 の 防 災 訓 練 に 参 加 し て い る	地 域・ 職 場 の 自 主 防 災 組 織 や 区 役 の 消 防 班 に 参 加 し て い る	合 志 市 消 防 団 に 参 加 し て い る	合 志 市 防 災 士 連 絡 協 議 会 に 参 加 し て い る	防 災 組 織 に 関 心 が あ る が、 参 加 し て い ない	防 災 組 織 を 知 ら な い	そ の 他
全 体	1,132	37.9%	4.5%	0.8%	0.4%	28.7%	27.6%	1.8%
■性別								
男性	447	37.1%	5.6%	1.3%	0.7%	29.8%	28.0%	1.6%
女性	671	38.9%	3.9%	0.4%	0.1%	27.9%	27.0%	1.8%
答えたくない	13	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	46.2%	7.7%
■年代別								
18～29歳	84	31.0%	4.8%	3.6%	0.0%	14.3%	51.2%	1.2%
30～39歳	178	33.1%	1.7%	0.0%	0.0%	27.5%	34.3%	3.4%
40～49歳	223	43.9%	4.9%	1.3%	0.0%	24.2%	28.3%	0.9%
50～59歳	250	43.6%	5.6%	0.4%	0.0%	28.4%	22.4%	1.6%
60～64歳	119	36.1%	4.2%	0.8%	0.0%	28.6%	26.1%	2.5%
65～69歳	124	38.7%	1.6%	0.0%	1.6%	30.6%	27.4%	1.6%
70歳以上	153	30.1%	7.8%	0.7%	1.3%	43.1%	15.7%	1.3%
■校区別								
合志小学校区	100	40.0%	7.0%	2.0%	0.0%	32.0%	18.0%	4.0%
合志南小学校区	185	37.8%	3.8%	0.5%	0.0%	27.6%	30.8%	2.2%
南ヶ丘小学校区	137	31.4%	5.8%	0.0%	0.0%	37.2%	26.3%	0.7%
西合志第一小学校区	23	30.4%	0.0%	4.3%	4.3%	34.8%	21.7%	4.3%
西合志中央小学校区	149	40.9%	6.7%	0.0%	1.3%	32.2%	21.5%	2.0%
西合志南小学校区	167	37.1%	5.4%	0.6%	0.6%	22.8%	32.9%	3.0%
西合志東小学校区	183	37.7%	4.4%	2.2%	0.0%	29.0%	26.8%	1.1%
合志楓の森小学校区	89	46.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.7%	16.9%	0.0%
わからない	89	37.1%	2.2%	0.0%	0.0%	12.4%	49.4%	0.0%

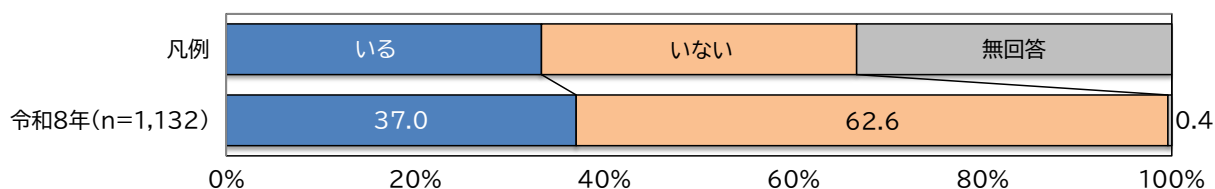
その他の記述内容	件数
参加しない・参加したくない	3
以前は参加していた	2
加入している自治会が発足したばかりのため、活動が無い	2
他市町村の消防団に参加している	各1
消防費は1年に1回納めている	
学校の防災訓練に参加している	

2. 子育てについて

(1) こども（18歳以下）の有無（問9）

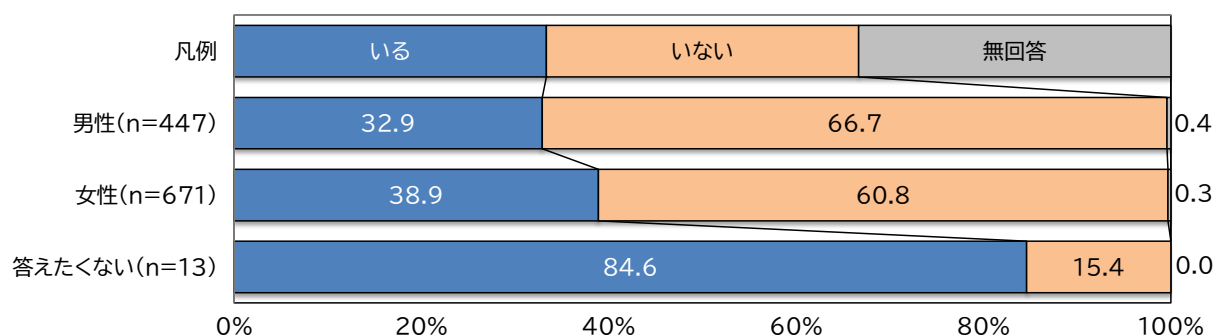
18歳以下のご家族について。

18歳以下のこどもがいる人の割合は、37.0%となっている。



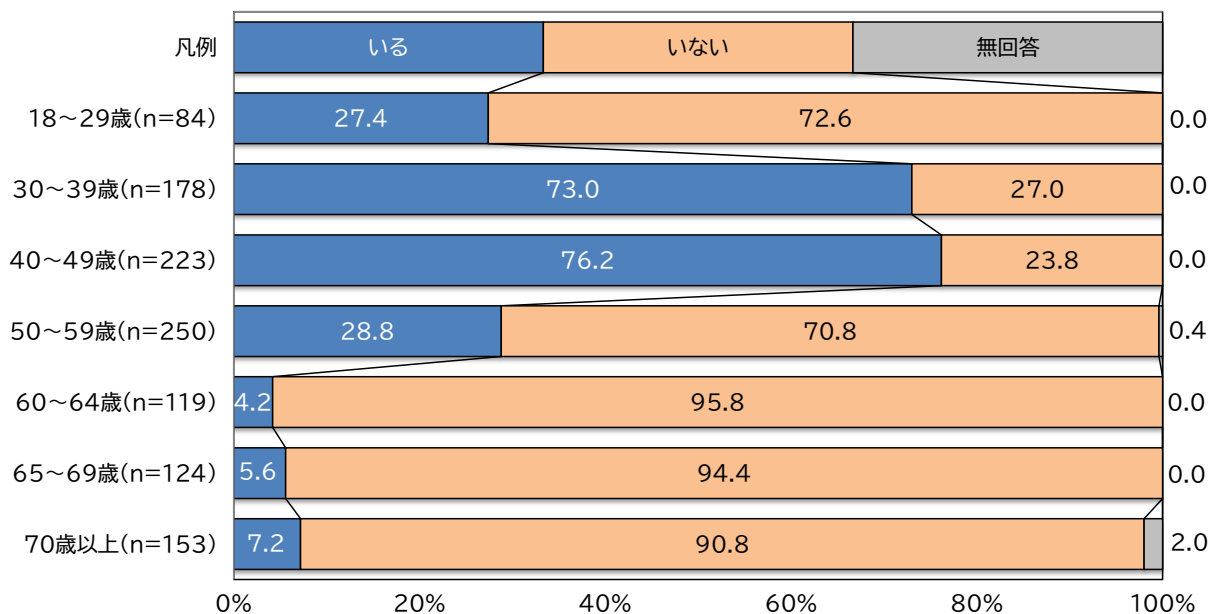
【性別】

● 18歳以下のこどもがいる人の割合は、女性が6.0ポイント高い。



【年齢別】

● 18歳以下のこどもがいる人の割合は、30代、40代が7割台と最も高くなっている。



(2) こどもの数（問10）

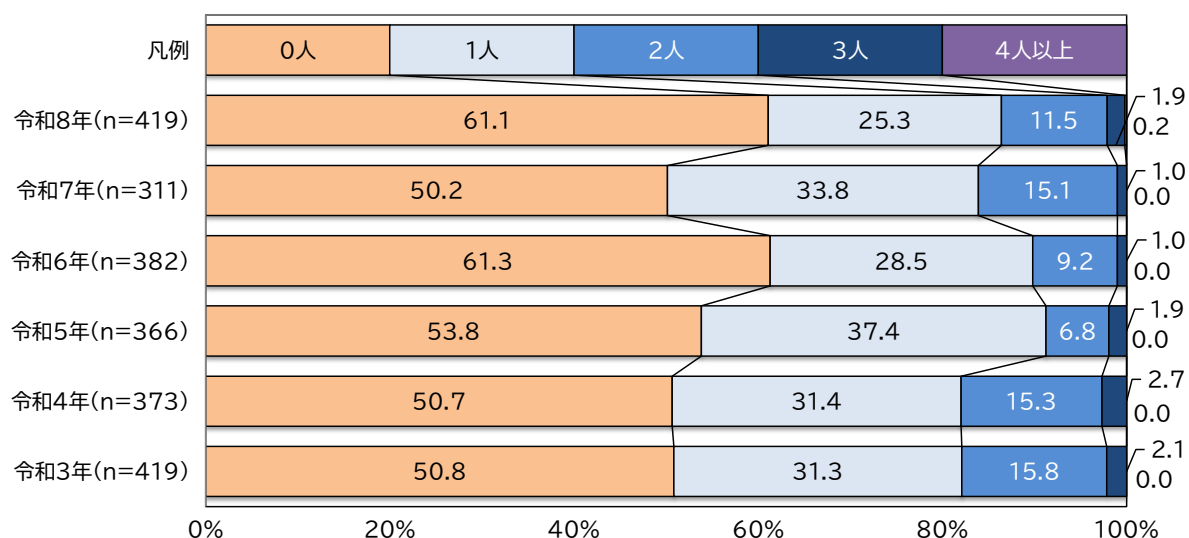
問9の選択肢で「1. いる」と答えた方にお尋ねします。
18歳以下のご家族は何人いますか。

<就学前のこども>

18歳以下のこどもがいる419人を対象に、就学前のこどもの数をみると、0人が61.1%で半数以上を占める。以下、割合の高い方から1人25.3%、2人11.5%、3人1.9%となっている。

前年度と比較すると、0人の割合が10.9ポイント増加しており、1人の割合が8.5ポイント、2人の割合が3.6ポイント減少している。

<就学前のこども>



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	256	61.1	156	50.2	234	61.3	197	53.8	189	50.7	213	50.8
2 1人	106	25.3	105	33.8	109	28.5	137	37.4	117	31.4	131	31.3
3 2人	48	11.5	47	15.1	35	9.2	25	6.8	57	15.3	66	15.8
4 3人	8	1.9	3	1.0	4	1.0	7	1.9	10	2.7	9	2.1
5 4人以上	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	311	100.0	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0

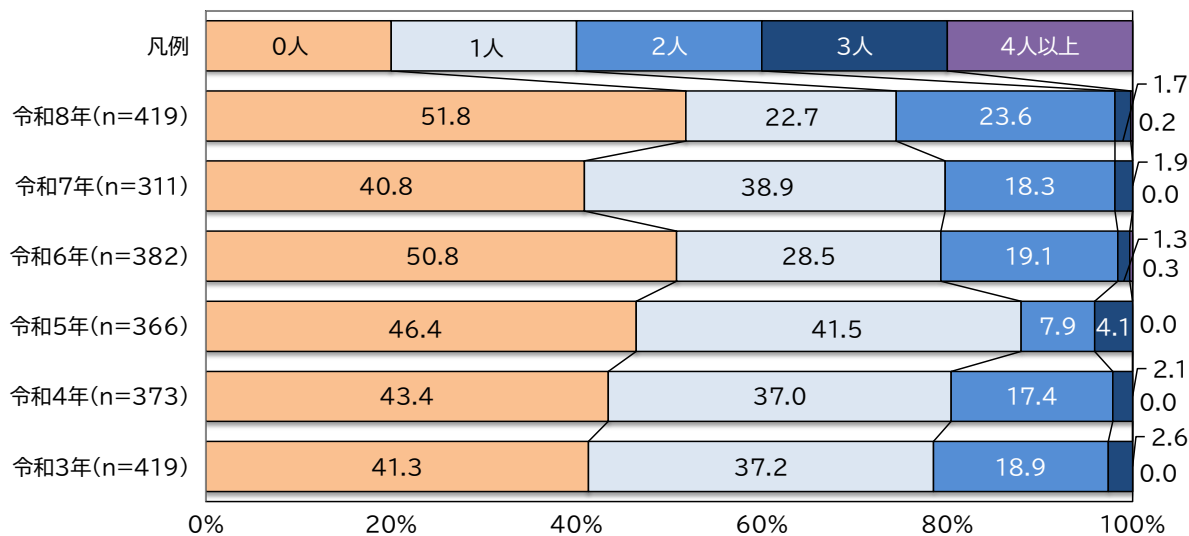
問9の選択肢で「1. いる」と答えた方にお尋ねします。
18歳以下のご家族は何人いますか。

<小学生のこども>

18歳以下のこどもがいる419人を対象に、小学生のこどもの数をみると、0人が51.8%と最も高い。以下、割合の高い方から2人23.6%、1人22.7%となっている。

前年度と比較すると、1人の割合が16.2ポイント減少している。一方、0人の割合が11.0ポイント、2人の割合が5.3ポイント増加している。

<小学生のこども>



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	217	51.8	127	40.8	194	50.8	170	46.4	162	43.4	173	41.3
2 1人	95	22.7	121	38.9	109	28.5	152	41.5	138	37.0	156	37.2
3 2人	99	23.6	57	18.3	73	19.1	29	7.9	65	17.4	79	18.9
4 3人	7	1.7	6	1.9	5	1.3	15	4.1	8	2.1	11	2.6
5 4人以上	1	0.2	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	311	100.0	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0

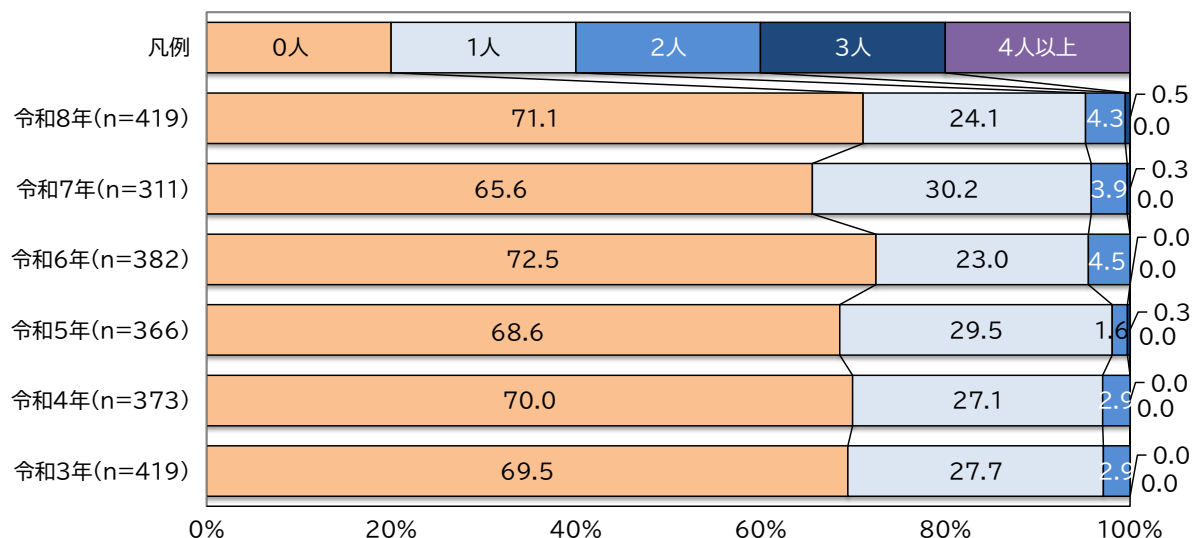
問9の選択肢で「1. いる」と答えた方にお尋ねします。
18歳以下のご家族は何人いますか。

＜中学生のこども＞

18歳以下のこどもがいる419人を対象に、中学生のこどもの数をみると、0人が71.1%と最も高い。以下、割合の高い方から1人24.1%、2人4.3%となっている。

前年度と比較すると、1人の割合が6.1ポイント減少しており、0人の割合が5.5ポイント増加している。

＜中学生のこども＞



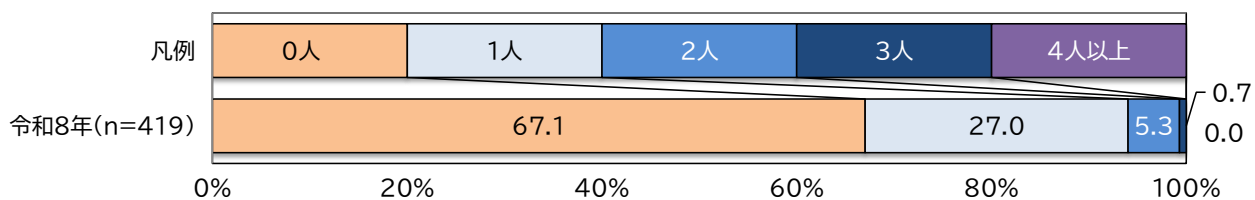
	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	298	71.1	204	65.6	277	72.5	251	68.6	261	70.0	291	69.5
2 1人	101	24.1	94	30.2	88	23.0	108	29.5	101	27.1	116	27.7
3 2人	18	4.3	12	3.9	17	4.5	6	1.6	11	2.9	12	2.9
4 3人	2	0.5	1	0.3	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0
5 4人以上	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	419	100.0	311	100.0	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0

問9の選択肢で「1. いる」と答えた方にお尋ねします。
18歳以下のご家族は何人いますか。

<16歳から18歳のこども>

18歳以下のこどもがいる419人を対象に、16歳から18歳のこどもの数をみると、0人が67.1%と最も高い。以下、割合の高い方から1人27.0%、2人5.3%となっている。

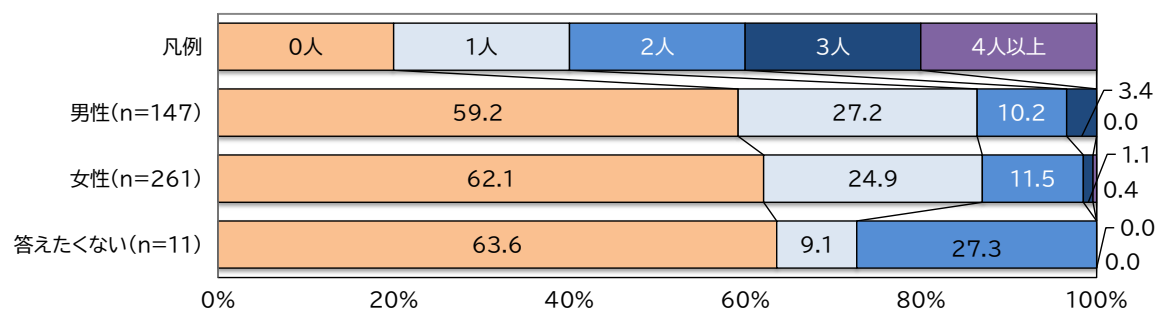
<16歳から18歳のこども>



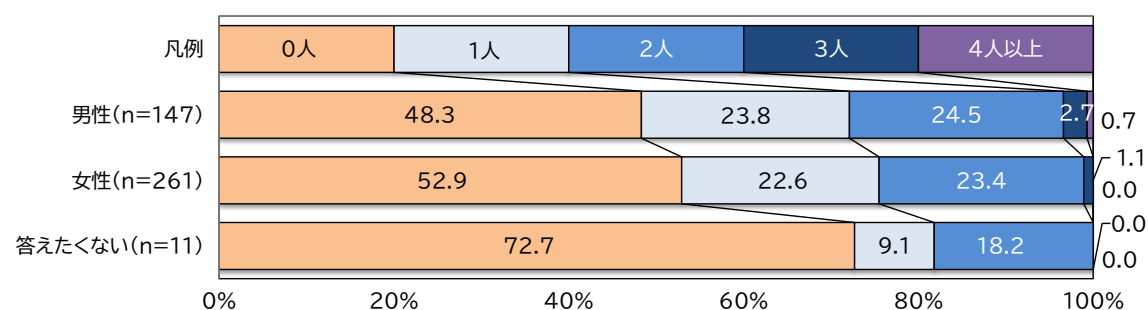
【性別】

●就学前、小学生、中学生、16歳から18歳のこどもがいる人の割合は、性別による大きな差は認められない。

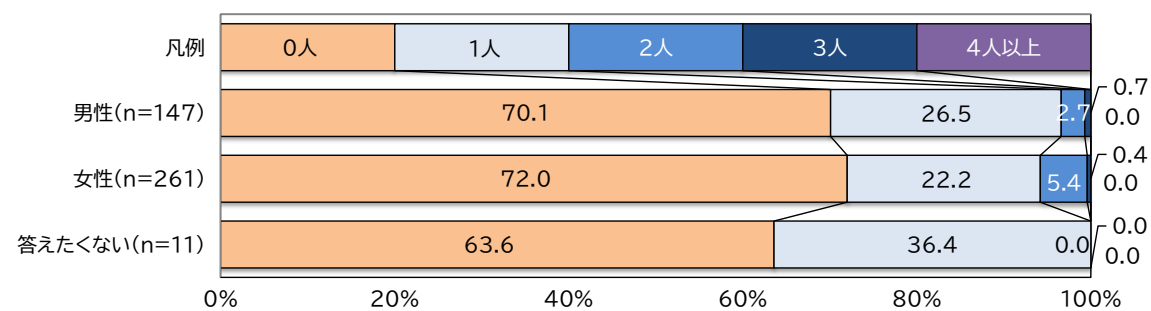
<就学前のこども>



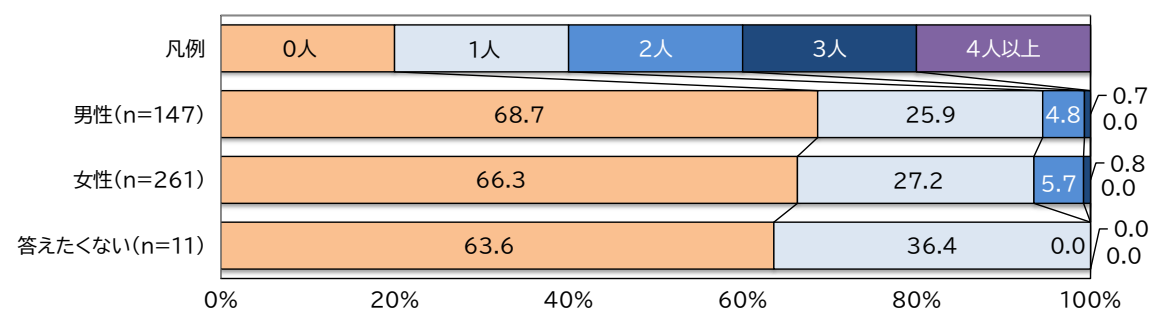
<小学生のこども>



<中学生のこども>



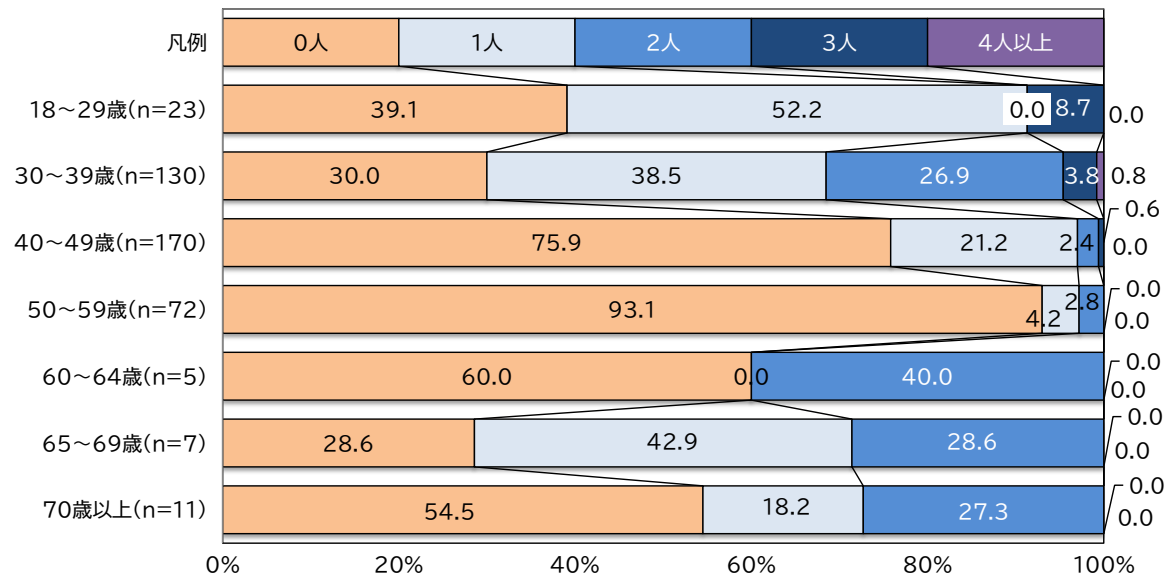
<16歳から18歳のこども>



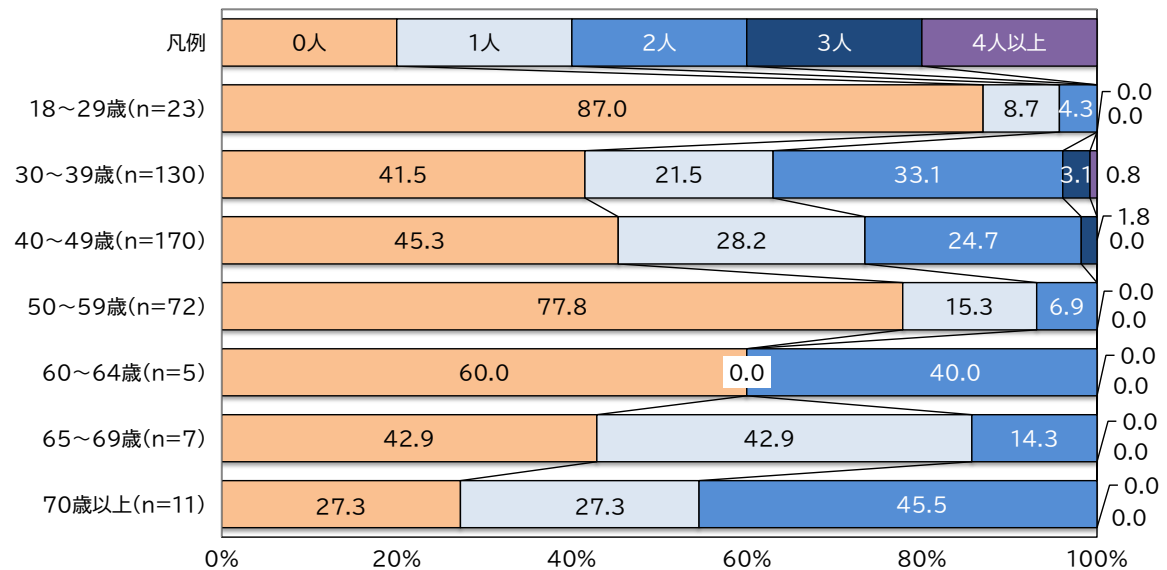
【年齢別】

- 就学前のこどもがいる人の割合は、20代以下が60.9%、30代70.0%となっている。
- 小学生のこどもがいる人の割合は、30代が58.5%、40代が54.7%となっている。
- 中学生のこどもがいる人の割合は、40代が38.8%、50代が36.1%となっている。
- 16歳から18歳のこどもがいる人の割合は、50代が70.9%と最も高くなっている。

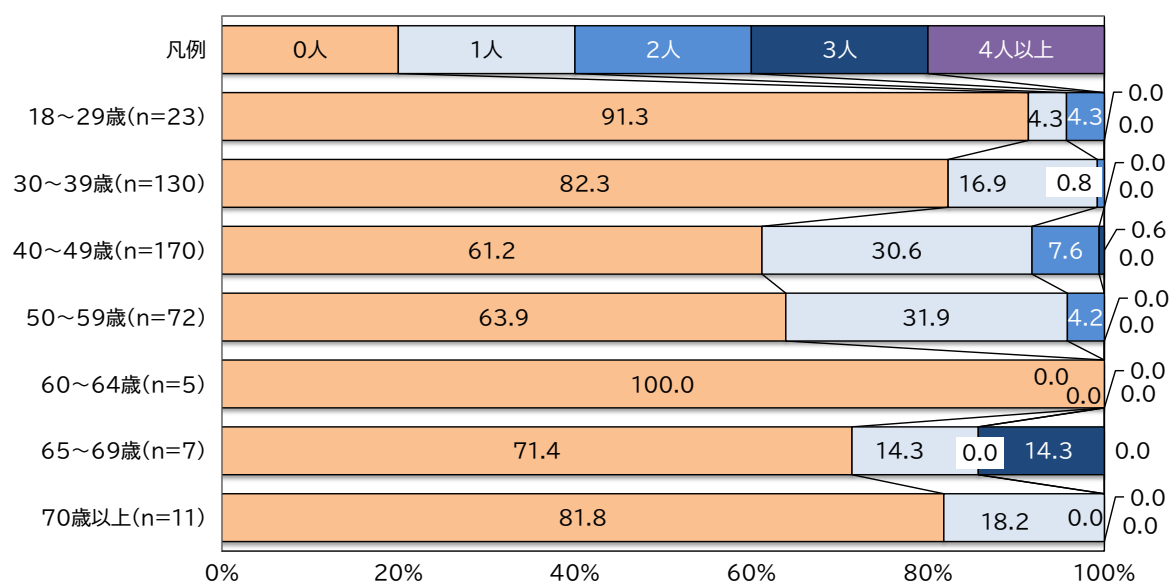
＜就学前のこども＞



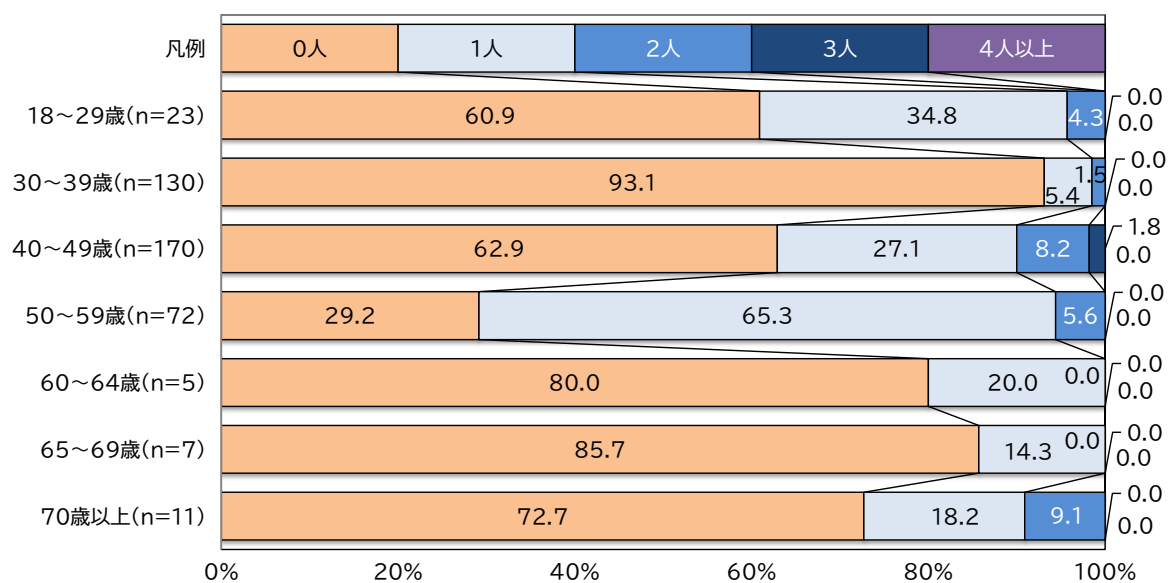
＜小学生のこども＞



<中学生のこども>



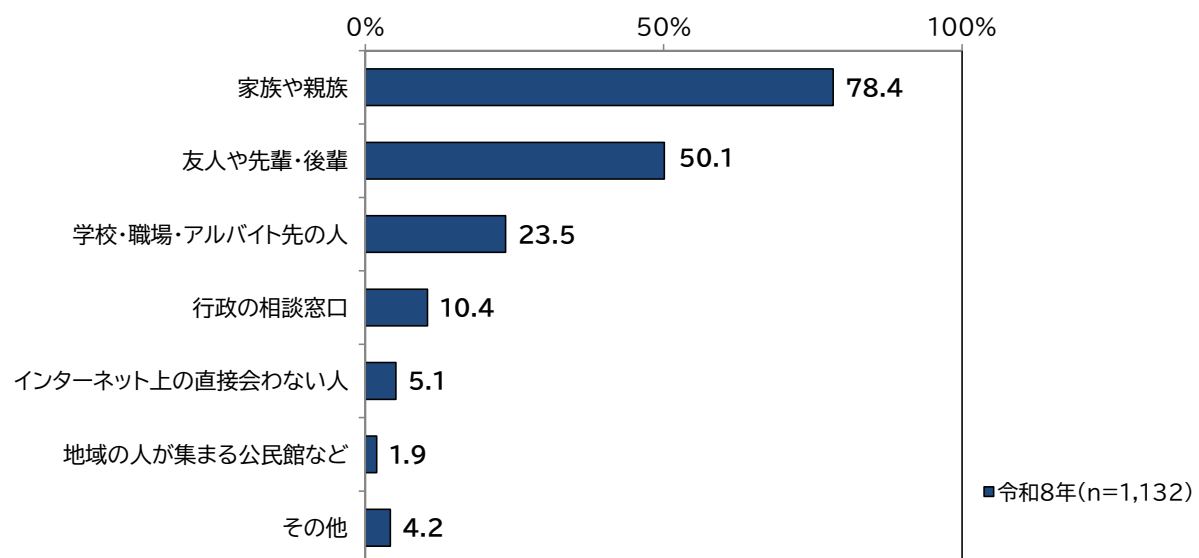
<16歳から18歳のこども>



(3) 子育て・家庭内の悩みの相談先（問 1 1）

子育てや家庭内の悩みを相談しようと思える相談先を教えてください。

子育てや家庭内の悩みを相談しようと思える相談先については、「家族や親族」が 78.4%と最も高く、次いで「友人や先輩・後輩」が 50.1%、「学校・職場・アルバイト先の人」が 23.5%となっている。



【性別】

- 男女ともに「家族や親族」が最も高く、次いで「友人や先輩・後輩」「学校・職場・アルバイト先の人」の順となっている。上位3つともに男性よりも女性の割合の方が高くなっている。

【年齢別】

- どの年代においても、「家族や親族」が最も高く、次いで「友人や先輩・後輩」となっている。上位2つとともに年代が上がるにつれて割合が減少傾向にある。

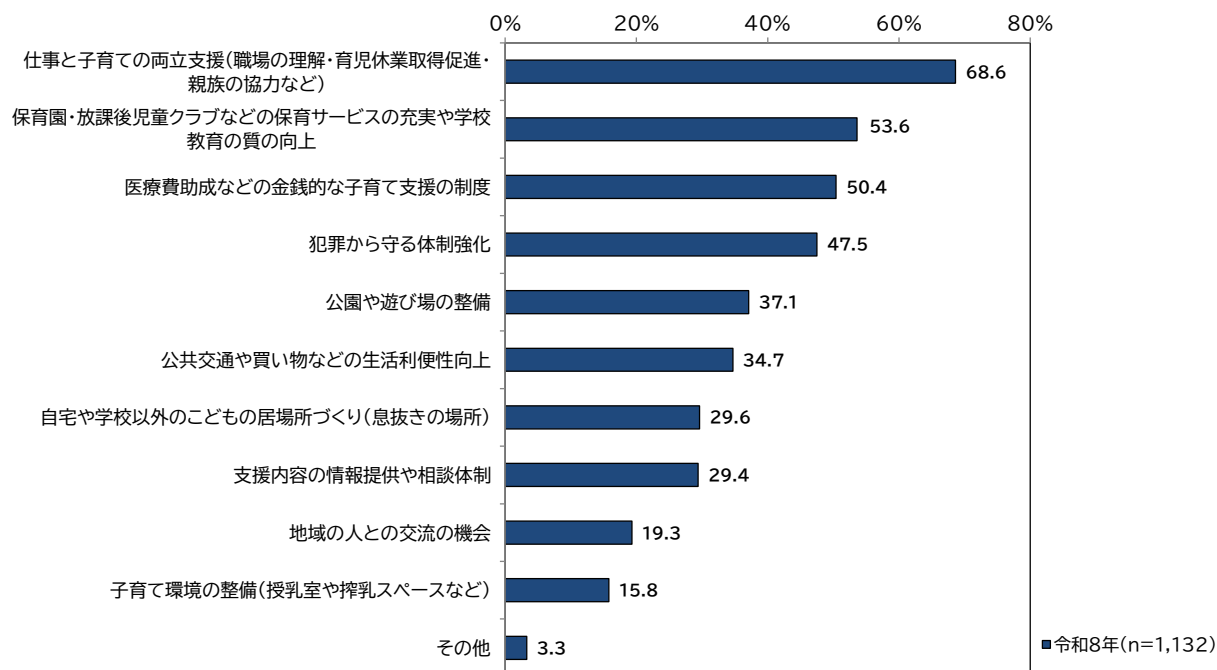
	合 計	家 族 や 親 族	友 人 や 先 輩 ・ 後 輩	学 校 ・ 職 場 ・ ア ル バ イ ト 先 の 人	イ ン タ ー ネ ッ ト 上 の 直 接 会 わ な い 人	地 域 の 人 が 集 ま る 公 民 館 な ど	行 政 の 相 談 窓 口	そ の 他
全 体	1,132	78.4%	50.1%	23.5%	5.1%	1.9%	10.4%	4.2%
■性別								
男性	447	77.4%	42.1%	20.1%	5.4%	2.0%	11.9%	4.9%
女性	671	79.1%	55.6%	26.2%	4.8%	1.8%	9.7%	3.7%
答えたくない	13	84.6%	38.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%
■年代別								
18～29歳	84	82.1%	70.2%	27.4%	4.8%	1.2%	4.8%	2.4%
30～39歳	178	87.1%	55.6%	32.6%	7.3%	3.4%	7.9%	4.5%
40～49歳	223	82.5%	58.3%	39.9%	6.7%	1.3%	4.9%	4.5%
50～59歳	250	79.2%	52.4%	28.8%	5.6%	1.2%	11.6%	5.6%
60～64歳	119	76.5%	39.5%	11.8%	2.5%	0.8%	11.8%	5.0%
65～69歳	124	72.6%	36.3%	6.5%	4.0%	0.8%	20.2%	2.4%
70歳以上	153	66.0%	36.6%	1.3%	2.0%	3.9%	13.1%	3.3%

その他の記述内容	件数	その他の記述内容	件数
特に無い	17	主治医	各1
生成AI(ChatGPT等)	11	近所の人	
福祉関係者	3	保育園の保護者	
相談しない	2	ルーテル学院大学の土曜教室の茶話会	
病院	各1	専門職種の方	
教会の人、牧師			

(4)「子育て支援」のために重要なこと（問12）

地域で支える「子育て支援」のために重要だと思うことは何ですか。

地域で支える「子育て支援」のために重要だと思うことについては、「仕事と子育ての両立支援（職場の理解・育児休業取得促進・親族の協力など）」が 68.6%と最も高く、次いで「保育園・放課後児童クラブなどの保育サービスの充実や学校教育の質の向上」が 53.6%、「医療費助成などの金銭的な子育て支援の制度」が 50.4%となっている。



【性別】

- 男女ともに「仕事と子育ての両立支援（職場の理解・育児休業取得促進・親族の協力など）」が最も高く、男性よりも女性の方が9.5ポイント高くなっている。

【年齢別】

- どの年代においても、「仕事と子育ての両立支援（職場の理解・育児休業取得促進・親族の協力など）」が最も高い。30代では、「医療費助成などの金銭的な子育て支援の制度」が7割を超えている。

	合計	仕事と子育ての両立支援（職場の理解・育児休業取得促進・親族の協力など）	保育園・放課後児童クラブなどの保育サービス	支援内容の情報提供や相談体制	医療費助成などの金銭的な子育て支援の制度	自宅や学校以外のこどもの居場所づくり（息抜き場所）	公園や遊び場の整備	子育て環境の整備（授乳室や搾乳スペースなど）	公共交通や買い物などの生活利便性向上	犯罪から守る体制強化	地域の人との交流の機会	その他
全体	1,132	68.6%	53.6%	29.4%	50.4%	29.6%	37.1%	15.8%	34.7%	47.5%	19.3%	3.3%
■性別												
男性	447	62.9%	52.1%	25.3%	50.6%	25.3%	33.8%	11.2%	34.7%	47.0%	17.9%	3.6%
女性	671	72.4%	54.8%	32.3%	50.4%	32.5%	39.5%	18.8%	34.6%	47.5%	20.3%	2.8%
答えたくない	13	61.5%	46.2%	23.1%	46.2%	30.8%	30.8%	23.1%	46.2%	69.2%	15.4%	15.4%
■年代別												
18～29歳	84	70.2%	56.0%	25.0%	63.1%	26.2%	42.9%	20.2%	38.1%	44.0%	15.5%	0.0%
30～39歳	178	76.4%	62.4%	30.3%	71.3%	30.3%	54.5%	26.4%	41.0%	52.2%	16.9%	5.6%
40～49歳	223	66.8%	51.6%	30.9%	58.3%	32.7%	47.5%	16.6%	36.8%	52.0%	17.9%	5.8%
50～59歳	250	72.4%	51.6%	31.6%	46.8%	26.8%	23.6%	10.8%	36.4%	50.8%	16.8%	2.8%
60～64歳	119	67.2%	58.0%	33.6%	32.8%	32.8%	32.8%	18.5%	36.1%	46.2%	22.7%	1.7%
65～69歳	124	61.3%	50.8%	31.5%	43.5%	24.2%	26.6%	12.9%	25.8%	45.2%	21.8%	1.6%
70歳以上	153	61.4%	47.1%	19.6%	32.0%	32.0%	32.7%	8.5%	26.1%	35.3%	25.5%	2.0%

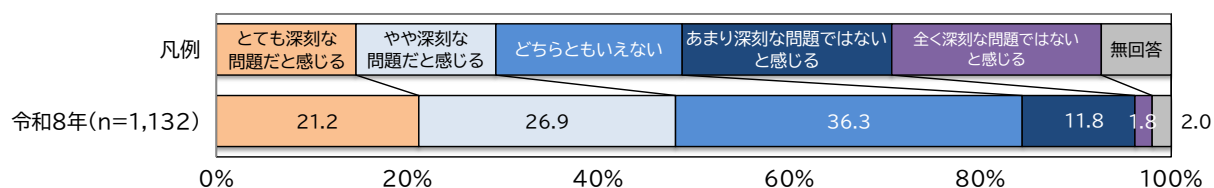
その他の記述内容	件数	その他の記述内容	件数
特に無い、わからない	3	自然の中で人が共存できる生活環境を作ること	各1
障がい等に関する様々な支援	3	自治会、子ども会	
行政支援	2	手取りを増やす	
通学路の整備	2	父親教室	
インフラ整備（交通渋滞・車が多く道が狭い等）	2	国全体の労働時間削減	
地域にあるコンビニや商業施設などと協力して、何かあった時の子供たちの場所としての提供など	各1	子供が遊べる公園や児童館の改善が必要	
親の検診（がん検診など）中の託児		コスト削減を理由に学校施設整備を無理矢理効率化しない	
病児保育の拡大		給食費無償化	
正しい事を、正しくしつけできる場所		ボール遊びをしても良い場所の確保	
給付金		夏休みの保育園サービス	
保育所等への入所時期に応じた育児休業制度の拡充		防犯カメラ	
下校中の見守の強化		減税	
小学生に注意できる大人			

（５）少子化問題

①少子化の現状（問１３）

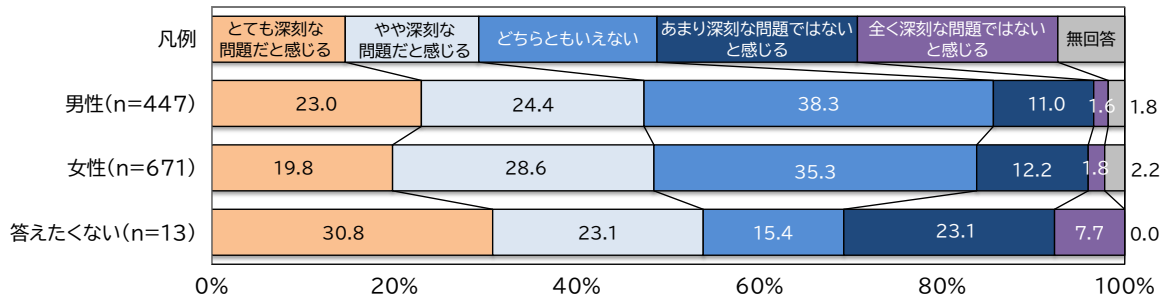
合志市の少子化の現状をどのように感じていますか。

合志市の少子化の現状を問題だと感じている人（「とても深刻な問題だと感じる」＋「やや深刻な問題だと感じる」）の割合は 48.1%と半数近い。問題だと感じていない人（「あまり深刻な問題ではないと感じる」＋「全く深刻な問題ではないと感じる」）は 13.6%、一方どちらともいえない人が 36.3%となっている。



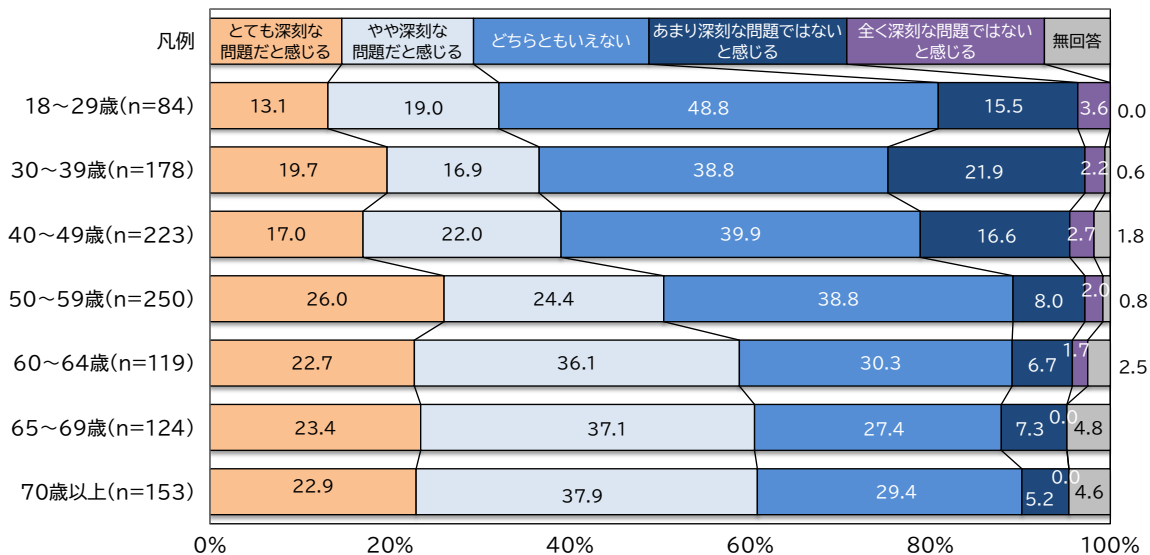
【性別】

- 問題だと感じている人の割合は、男性 47.4%、女性 48.4%と差はあまり認められない。
- 問題だと感じていない人の割合は、男性 12.6%、女性 14.0%とこちらも差があまり認められない。



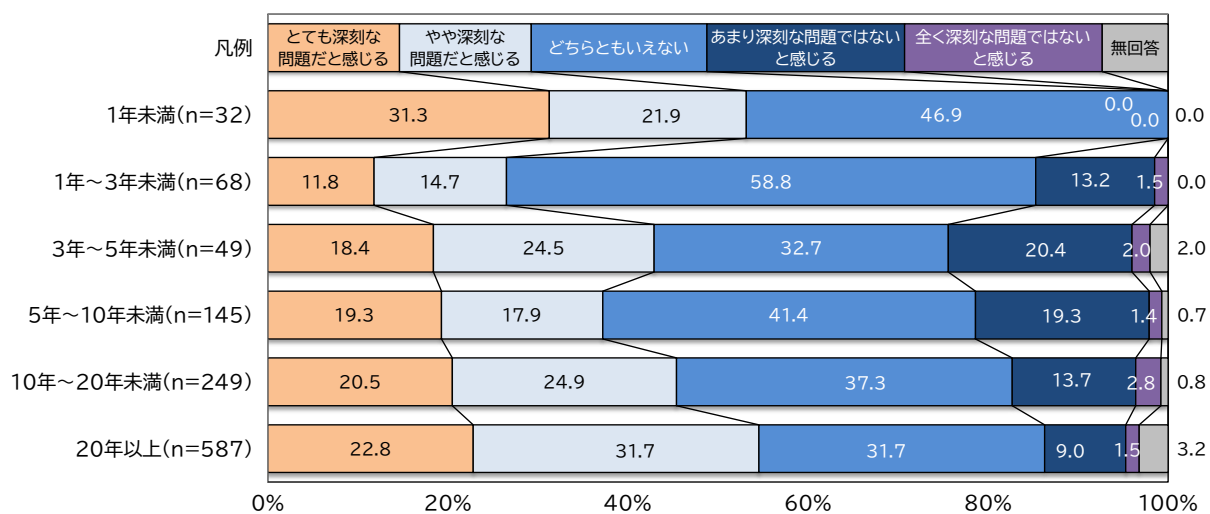
【年齢別】

- 問題だと感じている人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっており、50代以上では約5～6割となっている。
- 問題だと感じていない人の割合は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあり、50代以上では1割以下となっている。



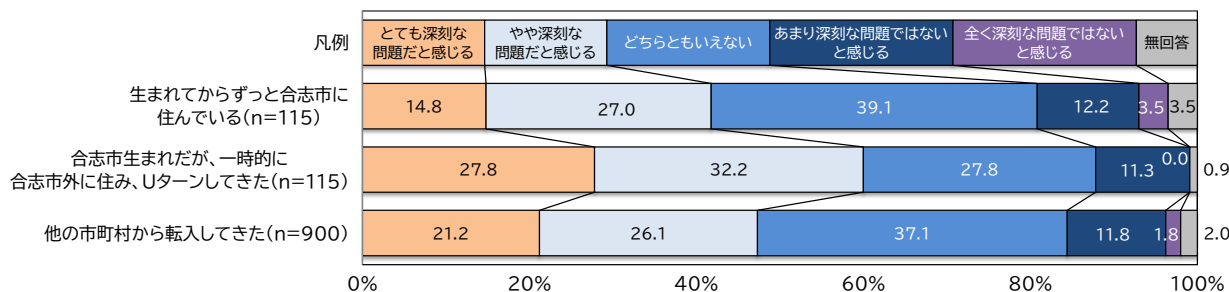
【居住年数別】

- 問題だと感じている人の割合は、居住年数 1 年未満と 20 年以上が 5 割を超えている。
- 問題だと感じていない人の割合は、居住年数 3 年～10 年未満が 2 割以上と最も高い。



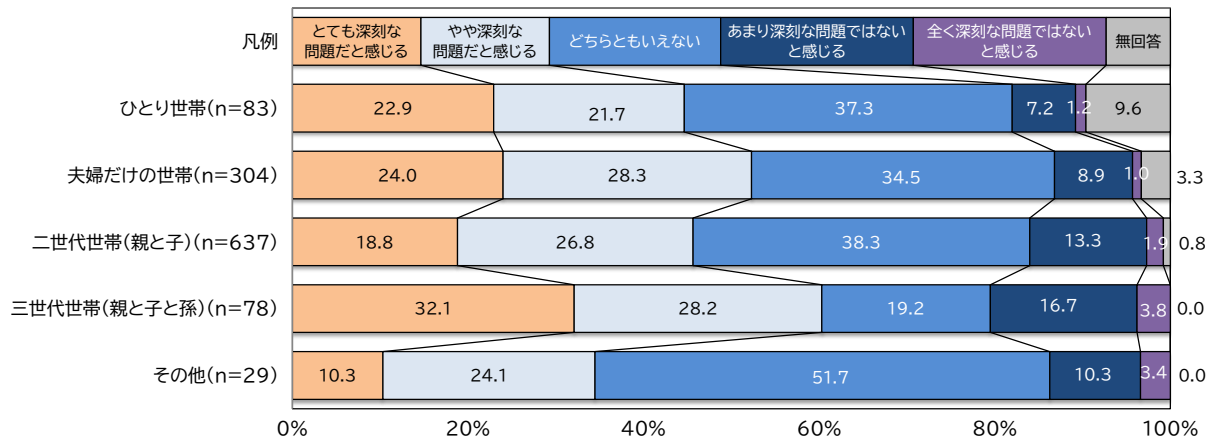
【居住パターン別】

- 問題だと感じている人の割合は、U ターン者が 6 割と最も高い。
- 問題だと感じていない人の割合は、居住パターンで差はあまり認められない。



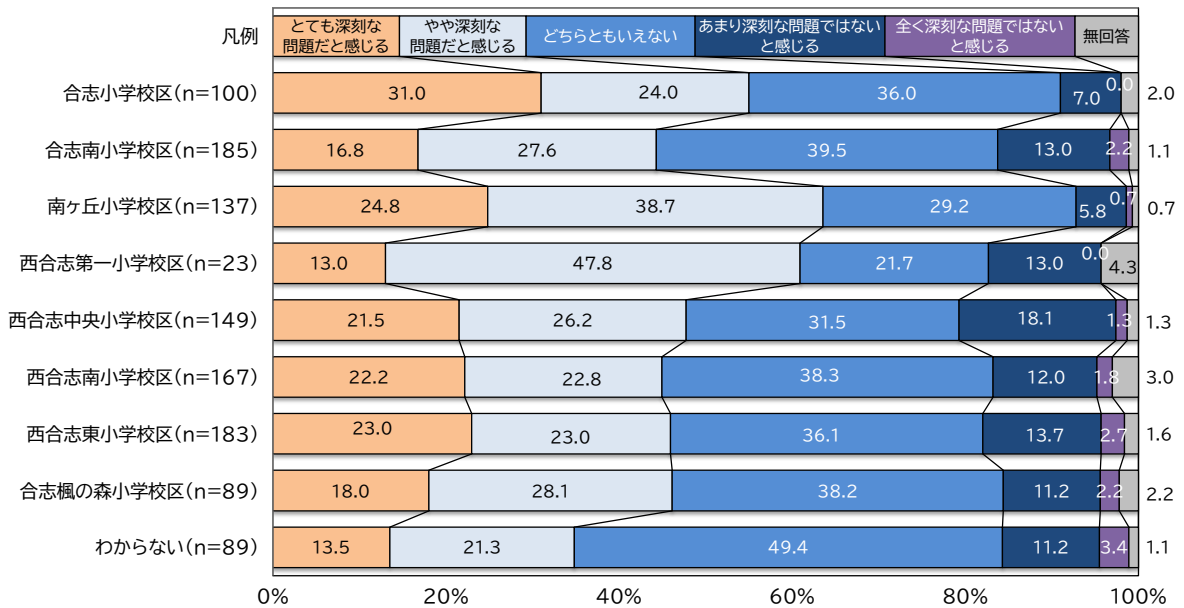
【家族構成別】

- 問題だと感じている人の割合は、三世帯世帯（親と子と孫）が約6割と最も高い。
- 問題だと感じていない人の割合は、世帯人数が増えるにつれて高くなる傾向にある。



【校区別】

- 問題だと感じている人の割合は、南ヶ丘小と西合志第一小が6割以上と最も高い。
- 問題だと感じていない人の割合は、合志小が7.0%、南ヶ丘小が6.5%と他の校区よりも低くなっている。

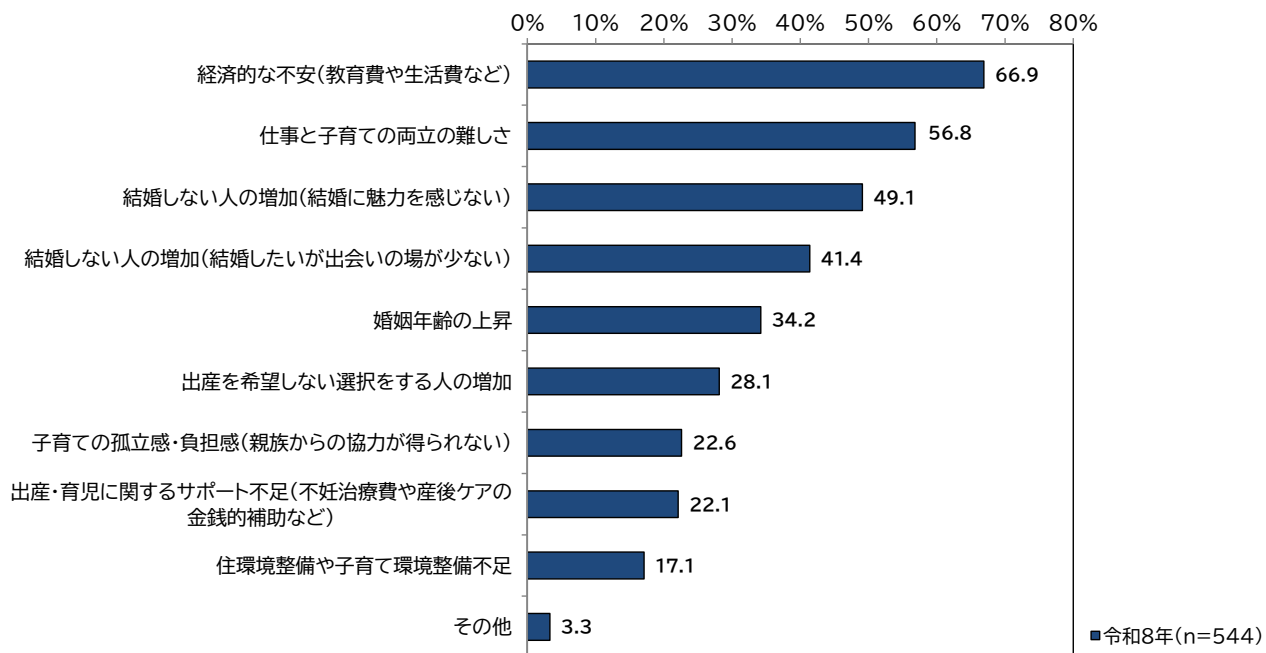


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

①少子化の原因（問 1 4）

問 1 3 の選択肢で「1～2」と答えた方にお尋ねします。
合志市の少子化が進んでいる主な原因は何だと思いますか。

合志市の少子化の現状に問題があると感じている 544 人が思う原因としては、「経済的な不安（教育費や生活費など）」が 66.9%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立の難しさ」が 56.8%、「結婚しない人の増加（結婚に魅力を感じない）」が 49.1%となっている。



【性別】

●男女ともに、「経済的な不安（教育費や生活費など）」が7割弱と最も高くなっている。

【年齢別】

●70歳未満では、「経済的な不安（教育費や生活費など）」が6～8割と高く、30代では80.0%と最も高くなっている。

	合 計	経済的な不安（教育費や生活費など）	仕事と子育ての両立の難しさ	結婚しない人の増加（結婚したいが出ない）	結婚しない人の増加（結婚に魅力を感じない）	婚姻年齢の上昇	出産・育児に関するサポート不足（不妊治療や産後ケアの金銭的補助など）	子育ての孤立感・負担感（親族からの協力が得られない）	住環境整備や子育て環境整備不足	出産を希望しない選択をする人の増加	その他
全 体	544	66.9%	56.8%	41.4%	49.1%	34.2%	22.1%	22.6%	17.1%	28.1%	3.3%
■性別											
男性	212	67.0%	50.5%	43.4%	44.8%	33.5%	20.8%	16.0%	14.6%	26.4%	4.7%
女性	325	66.8%	60.9%	40.3%	51.7%	33.8%	22.5%	26.2%	18.5%	28.9%	1.8%
答えたくない	7	71.4%	57.1%	28.6%	57.1%	71.4%	42.9%	57.1%	28.6%	42.9%	42.9%
■年代別											
18～29歳	27	77.8%	66.7%	25.9%	44.4%	25.9%	29.6%	22.2%	22.2%	25.9%	0.0%
30～39歳	65	80.0%	69.2%	33.8%	53.8%	24.6%	38.5%	30.8%	24.6%	32.3%	1.5%
40～49歳	87	75.9%	66.7%	34.5%	46.0%	32.2%	27.6%	34.5%	21.8%	26.4%	1.1%
50～59歳	126	65.9%	55.6%	40.5%	54.8%	31.7%	18.3%	22.2%	15.9%	24.6%	6.3%
60～64歳	70	64.3%	40.0%	45.7%	51.4%	42.9%	17.1%	18.6%	14.3%	31.4%	4.3%
65～69歳	75	60.0%	54.7%	40.0%	53.3%	41.3%	16.0%	16.0%	12.0%	24.0%	5.3%
70歳以上	93	54.8%	52.7%	57.0%	36.6%	35.5%	17.2%	15.1%	14.0%	33.3%	1.1%

その他の記述内容	件数	その他の記述内容	件数
女性の仕事と育児の両立の困難さ	2	多子世帯のハードルの高さ	各1
低所得	2	子宮頸がんワクチン未接種者への切り捨て。合志市の産科医院への援助がない	
薬の認可による実質的な人工中絶	各1	子育て世代の転入減少	
不妊治療への補助		義務教育の段階で結婚観に悪影響を及ぼしている	
福利厚生などが整った地元の中小企業が少ない		社会全体的に人間力の低下	
社会の労政		国(政府)に対する不信任	
複数年育児休業を取得すると保育所を退所しなければならない		地元の若者の流出	
子供を1人しか生まない家族(1人っ子家庭)の増加		子育てに伴う様々なリスク、活動家等による社会への様々な煽り	

◆健康について

1. 健康づくりの取組みについて

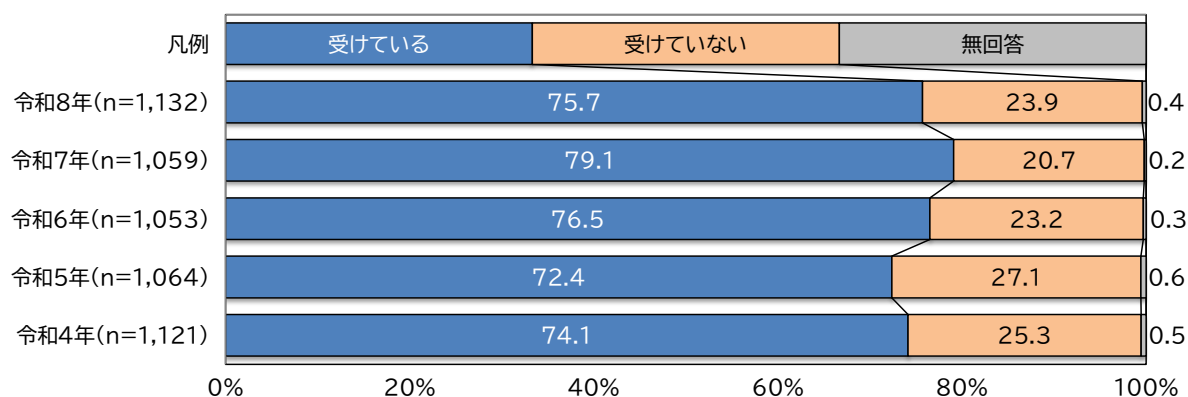
(1) 健診の受診（問20）

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック等）を受けていますか。受けていない方は、その理由は何ですか。

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック等）を受けている人の割合は75.7%、受けていない人の割合は23.9%となっている。

受けていない理由については、「医療機関を定期受診中」が31.4%と最も高く、以下、「時間がない」25.8%、「費用がかかる」22.5%が続いている。

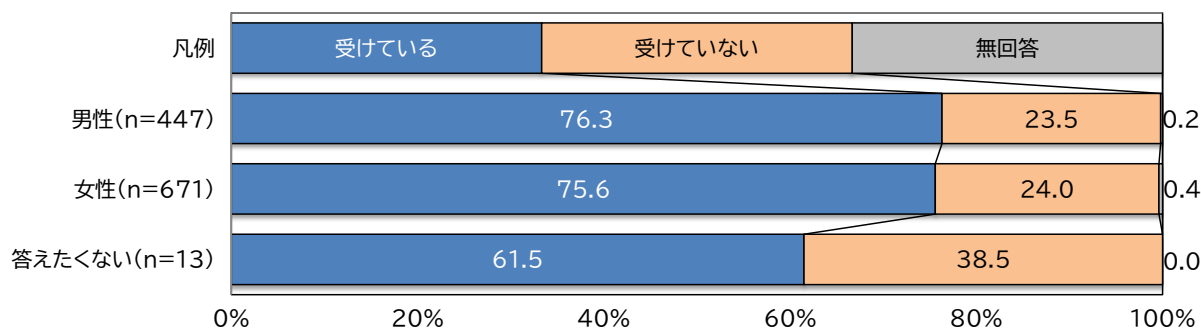
前年度と比べて、受けている人の割合が3.4ポイント低くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 受けている	857	75.7	838	79.1	806	76.5	770	72.4	831	74.1
2 受けていない	271	23.9	219	20.7	244	23.2	288	27.1	284	25.3
3 無回答	4	0.4	2	0.2	3	0.3	6	0.6	6	0.5
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0

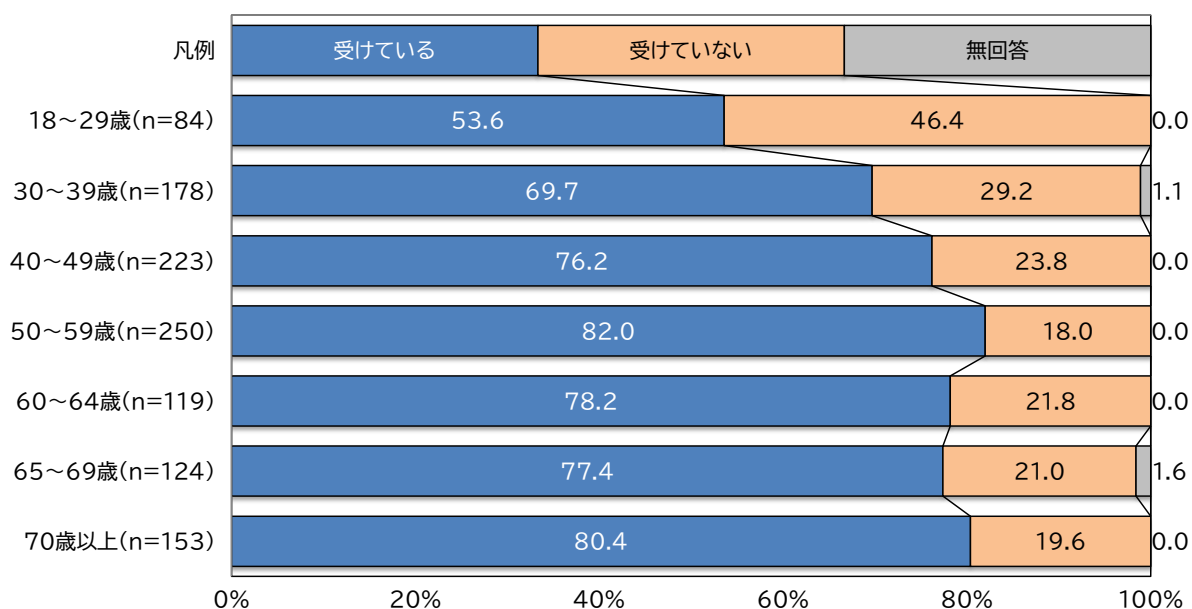
【性別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック等）を受けている人の割合は、男性 76.3%、女性 75.6%となっており、男女での大きな差は認められない。

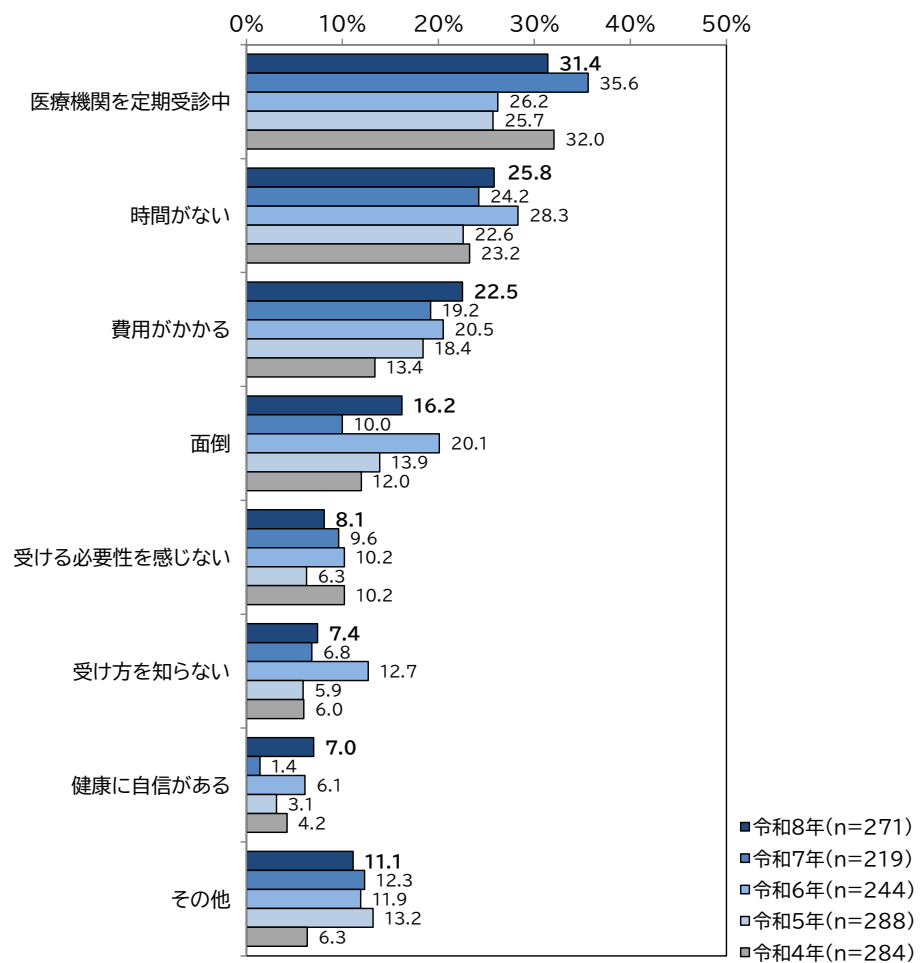


【年齢別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック等）を受けている人の割合は、20 代以下では他の年代と比べて低く、それ以外の年代では約 7～8割と高くなっている。



【受けていない理由】

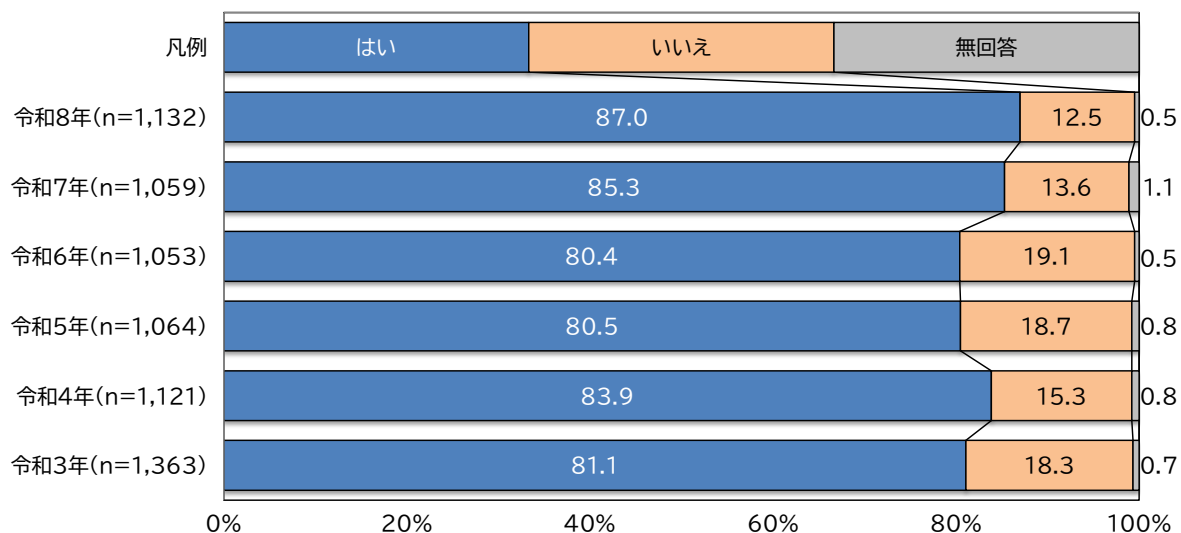


その他の記述内容	件数
対象外(年齢等による)	6
会社で受けている・受ける予定	8
タイミングが合わなかった	5
コロナなど感染症が怖い	各1
集団の所が嫌い	
今年から受ける	
健診のバスに乗れないから	
2～3年に1度は自費で受けている	
仕組みがよく分からない	
職場復帰の際に受診するため	
公的医療費の無駄遣いだと思っている	
毎年、何らかの病気で検査を受けているから	
育休中は会社の健康診断は受けさせられないように省かれた	
特になし	
引きこもっていて外に出れない	

(2) ストレス解消法 (問 2 1)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

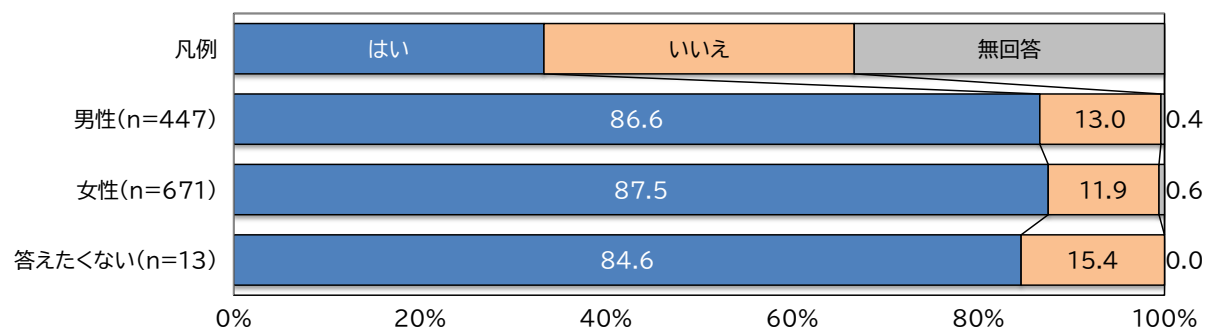
ストレス解消法を持っている人の割合は 87.0%となっており、前年度と比べると、持っている人の割合は 1.7 ポイントやや増加している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	985	87.0	903	85.3	847	80.4	856	80.5	940	83.9	1105	81.1
2 いいえ	141	12.5	144	13.6	201	19.1	199	18.7	172	15.3	249	18.3
3 無回答	6	0.5	12	1.1	5	0.5	9	0.8	9	0.8	9	0.7
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

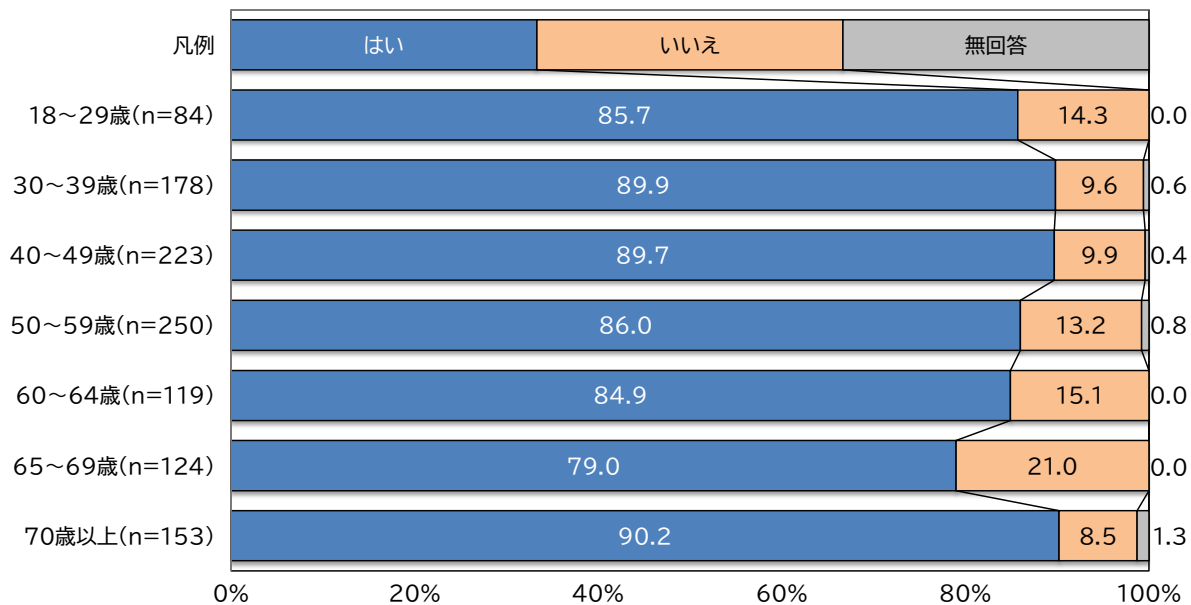
【性別】

- ストレス解消法を持っている人の割合は、男性が 86.6%、女性が 87.5%となっており、男女での大きな差は認められない。



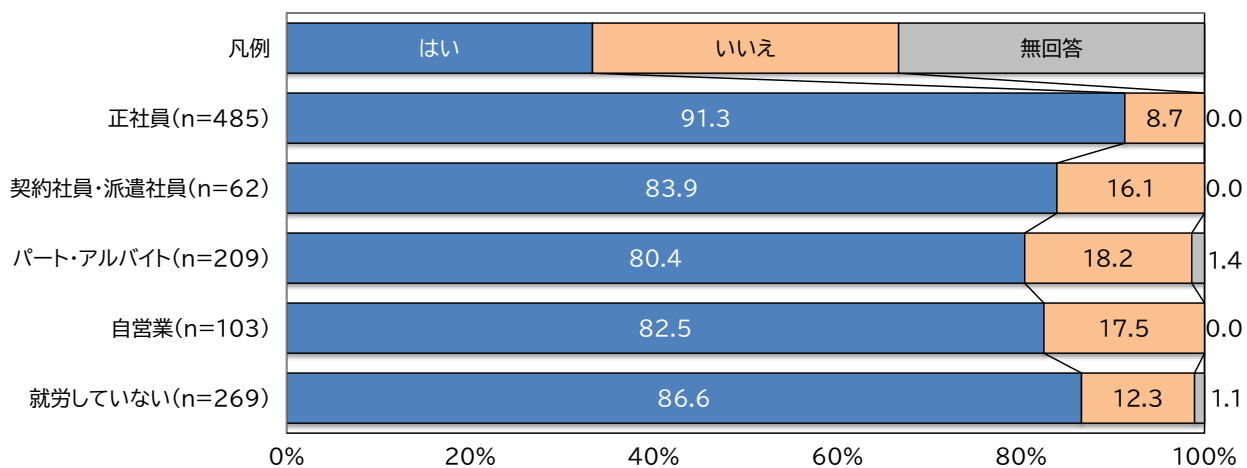
【年齢別】

- ストレス解消法を持っている人の割合は、65～69歳が79.0%と最も低い。一方、それ以外の年代においては8割を超えており70歳以上では、9割以上と最も高くなっている。



【職業別】

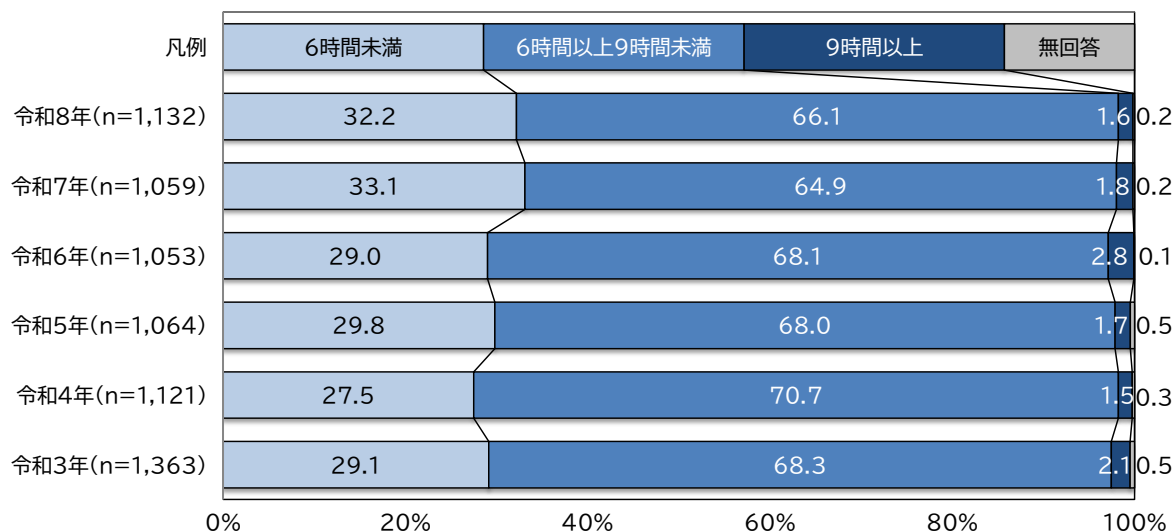
- ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての職業で8割を超えている。



(3) 睡眠時間（問 2 2）

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

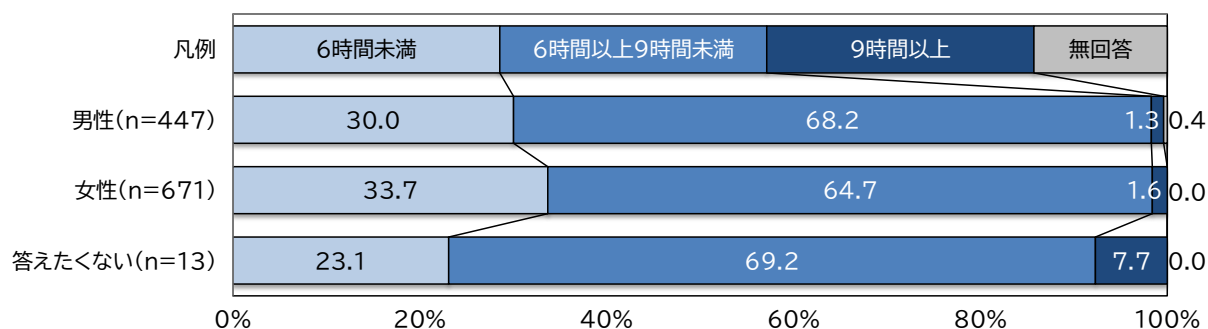
1日の睡眠時間は、6時間以上9時間未満の人の割合が66.1%と最も高くなっており、前年度と比べると、1.2ポイント高くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	364	32.2	351	33.1	305	29.0	317	29.8	308	27.5	397	29.1
2 6時間以上9時間未満	748	66.1	687	64.9	717	68.1	724	68.0	793	70.7	931	68.3
3 9時間以上	18	1.6	19	1.8	30	2.8	18	1.7	17	1.5	28	2.1
4 無回答	2	0.2	2	0.2	1	0.1	5	0.5	3	0.3	7	0.5
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

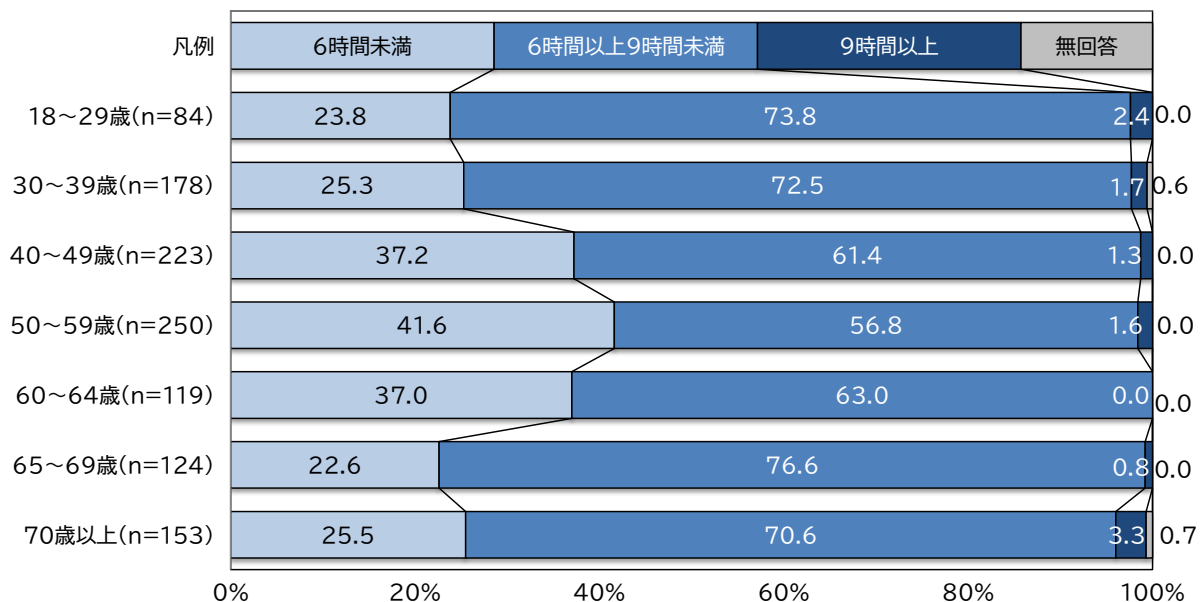
【性別】

●睡眠時間6時間未満の人の割合をみると、女性が33.7%と男性に比べて3.7ポイント高い。



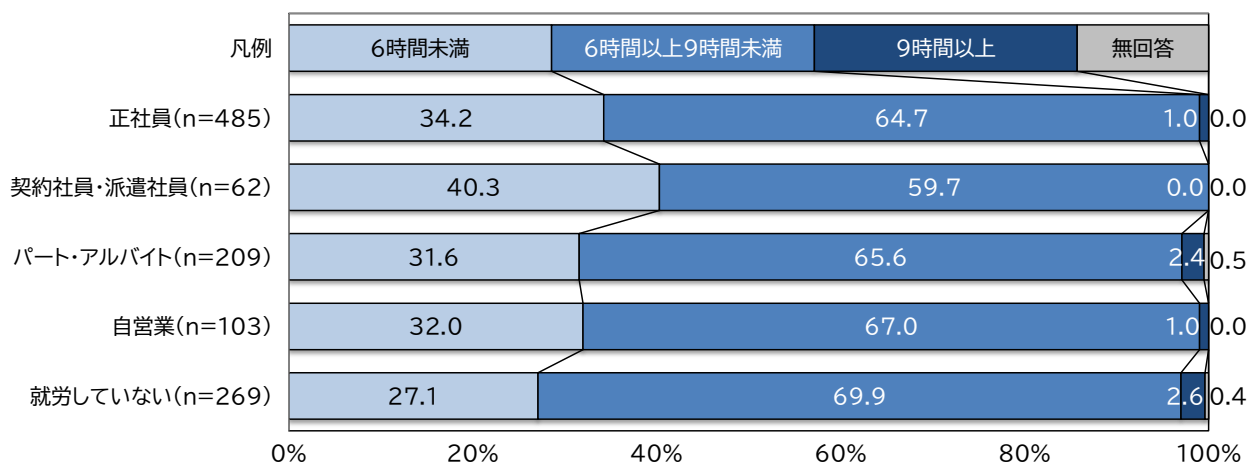
【年齢別】

- 睡眠時間6時間未満の人の割合をみると、40代、50代、60～64歳が高い傾向にあり、4割前後となっている。



【職業別】

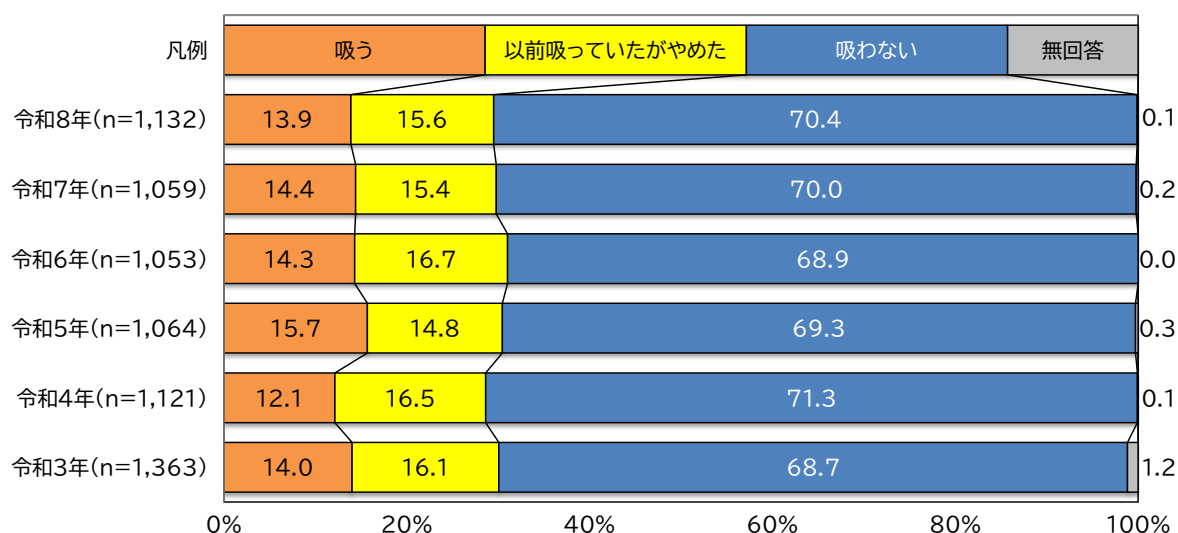
- 睡眠時間6時間未満の人の割合をみると、契約社員・派遣社員では40.3%と最も高く、それ以外の就業者では3割台となっている。



(4) 喫煙（問23）

タバコを吸いますか。（電子タバコを含む）

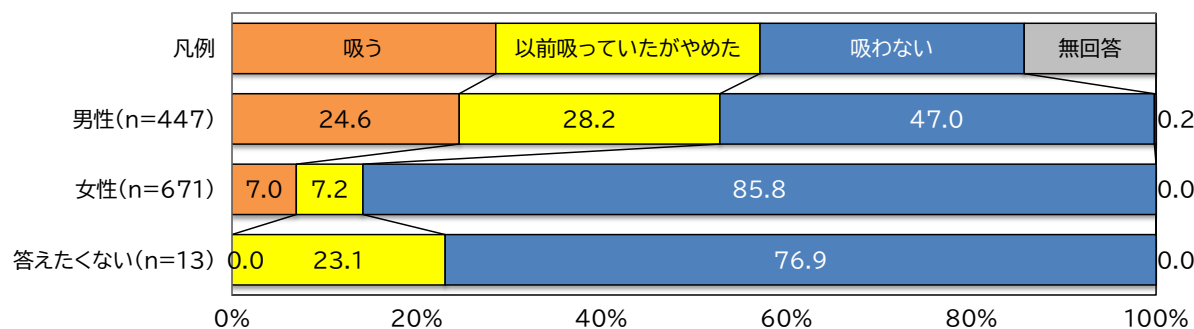
タバコを吸わない人が 70.4%と最も多く、以前吸っていたがやめた人の 15.6%と合わせると非喫煙者が8割以上を占めている。喫煙者は 13.9%と前年度と比較して、0.5 ポイント低くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 吸う	157	13.9	153	14.4	151	14.3	167	15.7	136	12.1	191	14.0
2 以前吸っていたがやめた	177	15.6	163	15.4	176	16.7	157	14.8	185	16.5	219	16.1
3 吸わない	797	70.4	741	70.0	726	68.9	737	69.3	799	71.3	937	68.7
4 無回答	1	0.1	2	0.2	0	0.0	3	0.3	1	0.1	16	1.2
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

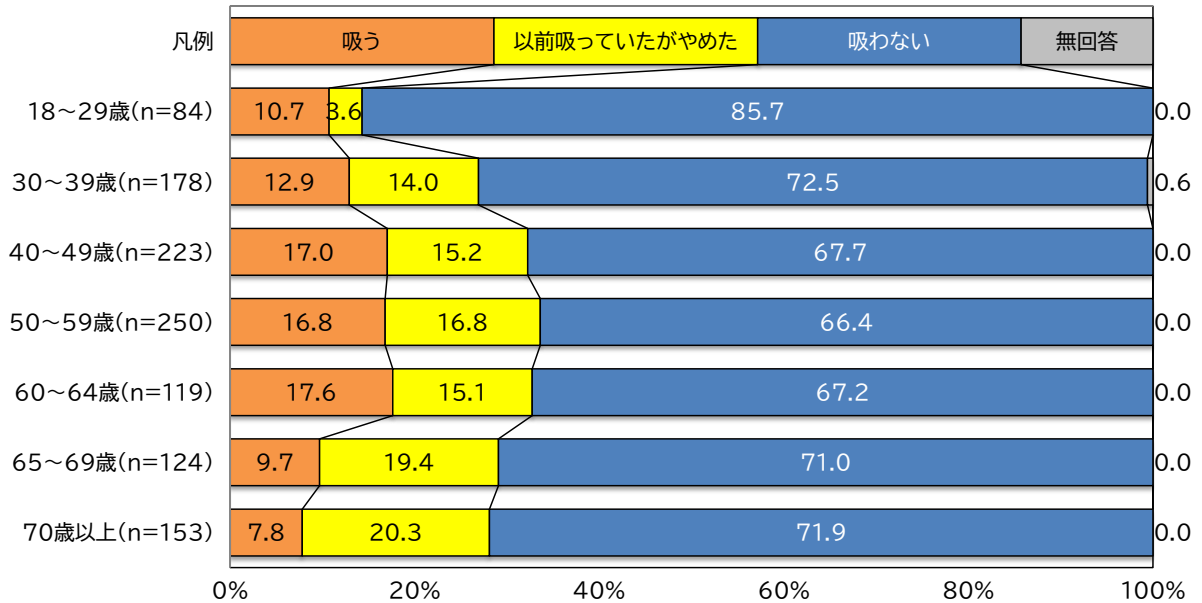
【性別】

- 喫煙者の割合は、男性が 24.6%、女性が 7.0%と男性が女性を上回っている。
- 男性では 28.2%が、以前吸っていたがやめたとしている。



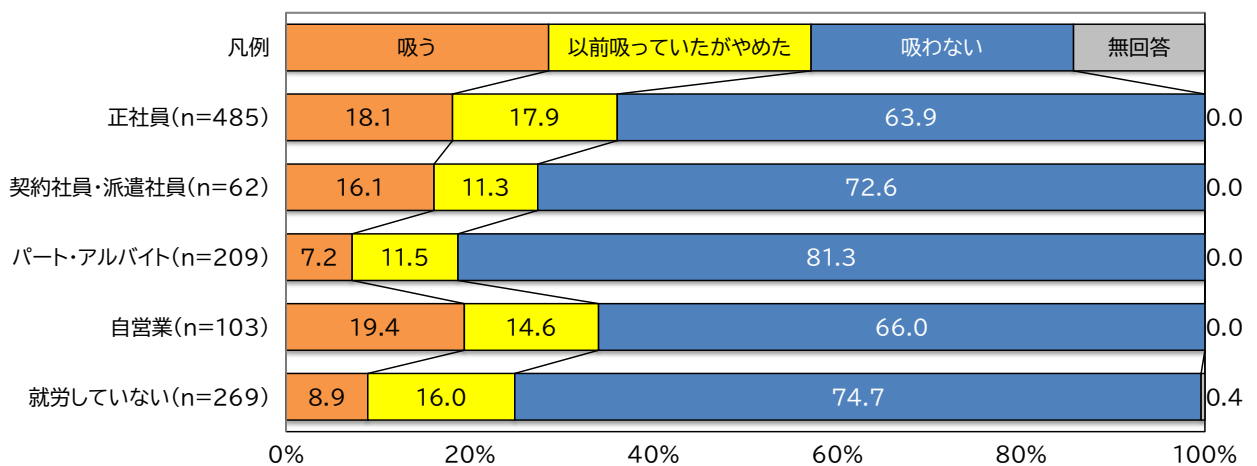
【年齢別】

- 喫煙者の割合は、すべての年代で2割未満となっている。
- 20代以下、65歳以上では、非喫煙者が約9割と高くなっている。



【職業別】

- 喫煙者の割合は、自営業の19.4%が最も高く、これに正社員の18.1%が続いている。パート・アルバイト、就労していない人の喫煙率は1割未満となっている。

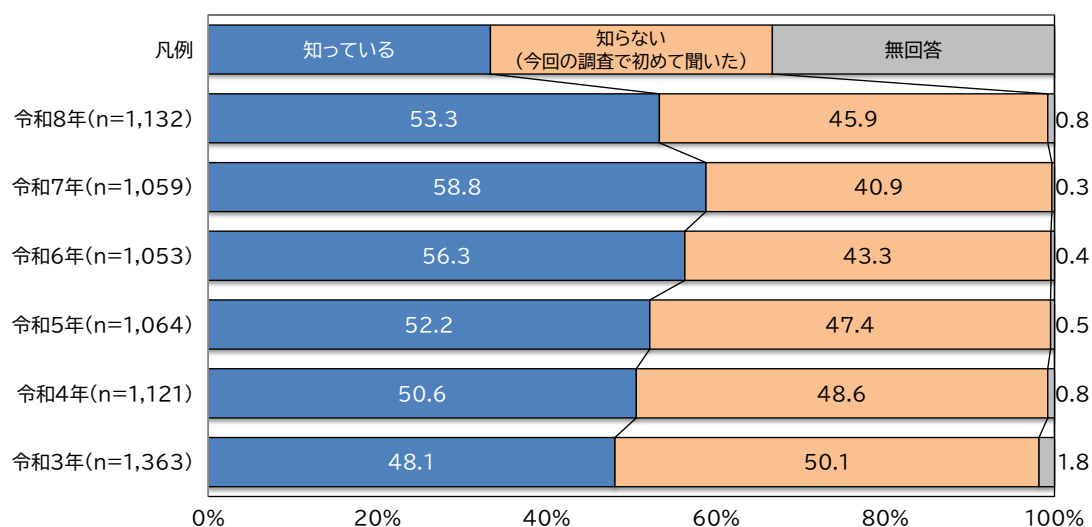


2. 健康知識について

(1) 飲酒量 (問 2 4)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか。

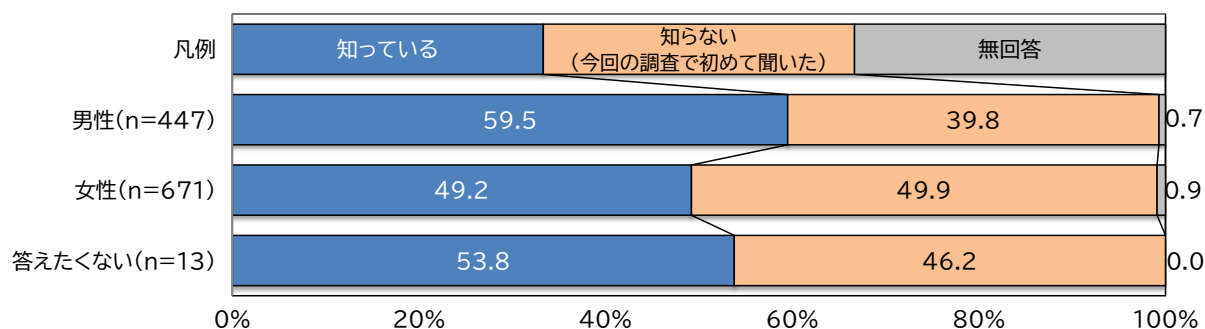
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は 53.3%となっており、過半数を占めているが、前年度と比べると 5.5 ポイント低くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	603	53.3	623	58.8	593	56.3	555	52.2	567	50.6	655	48.1
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	520	45.9	433	40.9	456	43.3	504	47.4	545	48.6	683	50.1
3 無回答	9	0.8	3	0.3	4	0.4	5	0.5	9	0.8	25	1.8
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

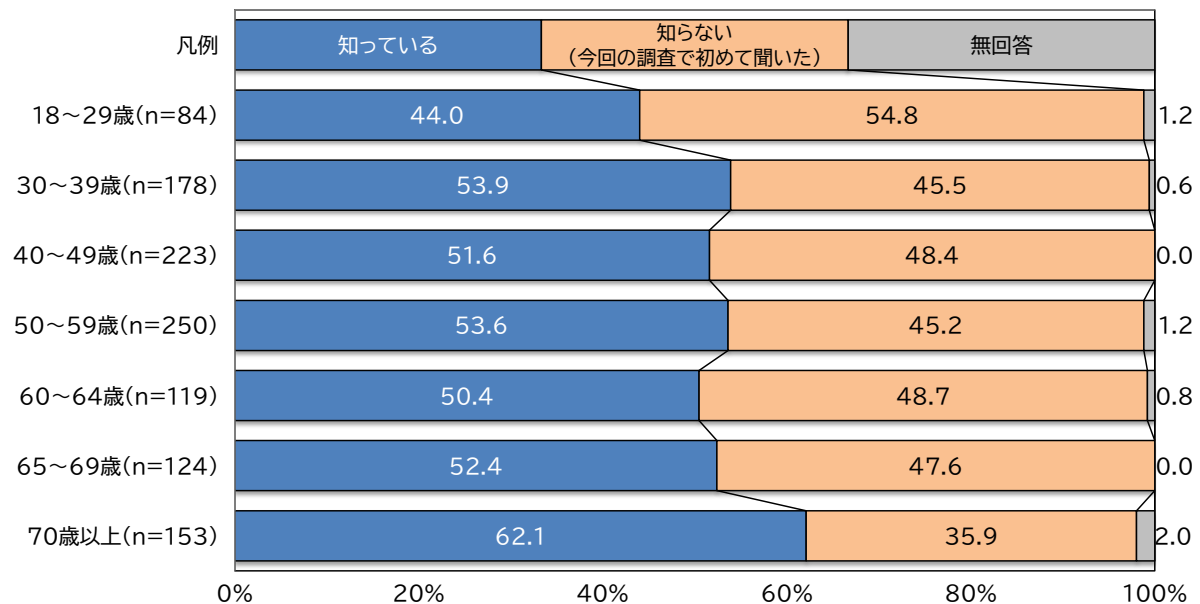
【性別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知っている人の割合は、男性 59.5%、女性 49.2%と男性が女性を上回っている。



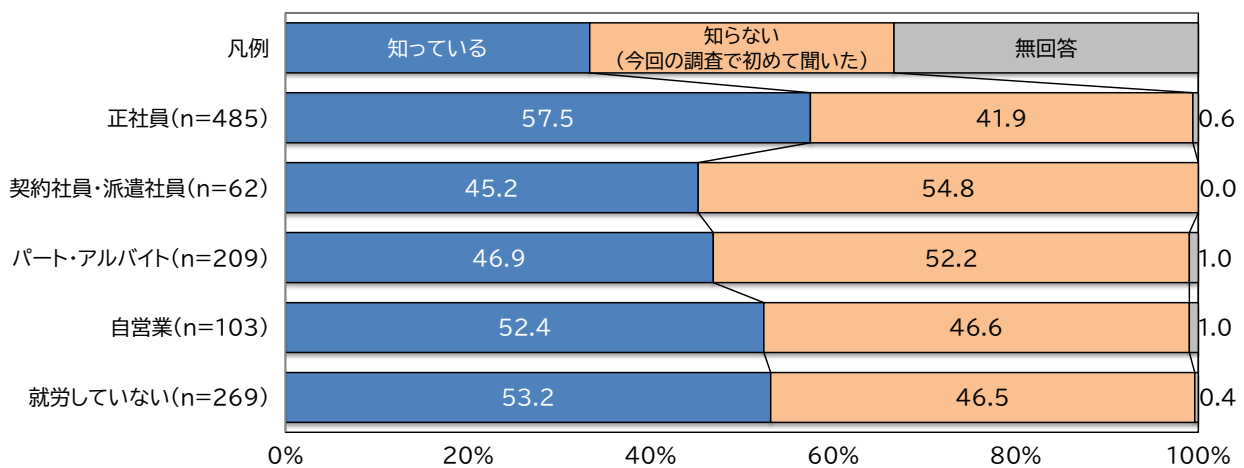
【年齢別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知らない人の割合は、20代以下の54.8%が最も高くなっている。



【職業別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は、正社員が57.5%と最も高く、次いで就労していない53.2%、自営業52.4%となっている。

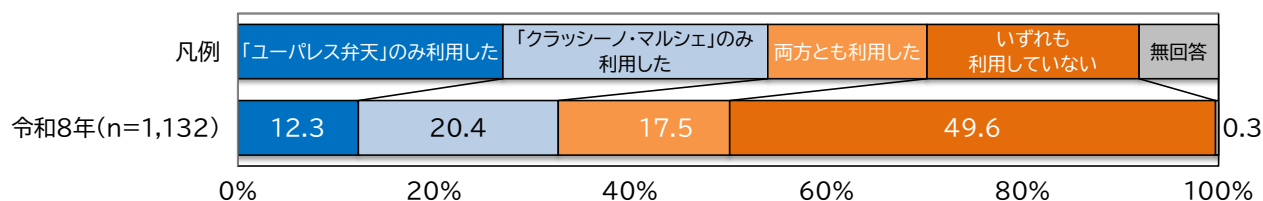


3. 「ユーパレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」について

(1) 「ユーパレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」の利用（問27）

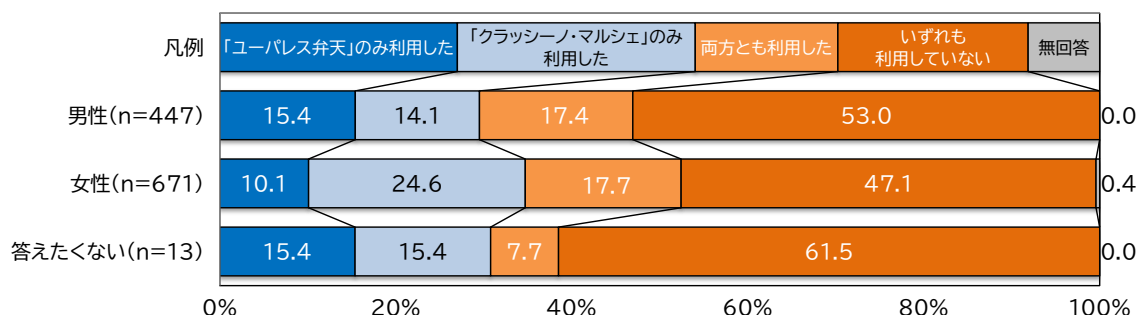
あなたは、過去1年間で総合健康センター「ユーパレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」を利用しましたか。

過去1年間に「ユーパレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」を利用したことのある人（「ユーパレス弁天」のみ利用した」+「クラッシーノ・マルシェ」のみ利用した」+「両方とも利用した」）の割合は50.2%となっており、過半数を占めている。



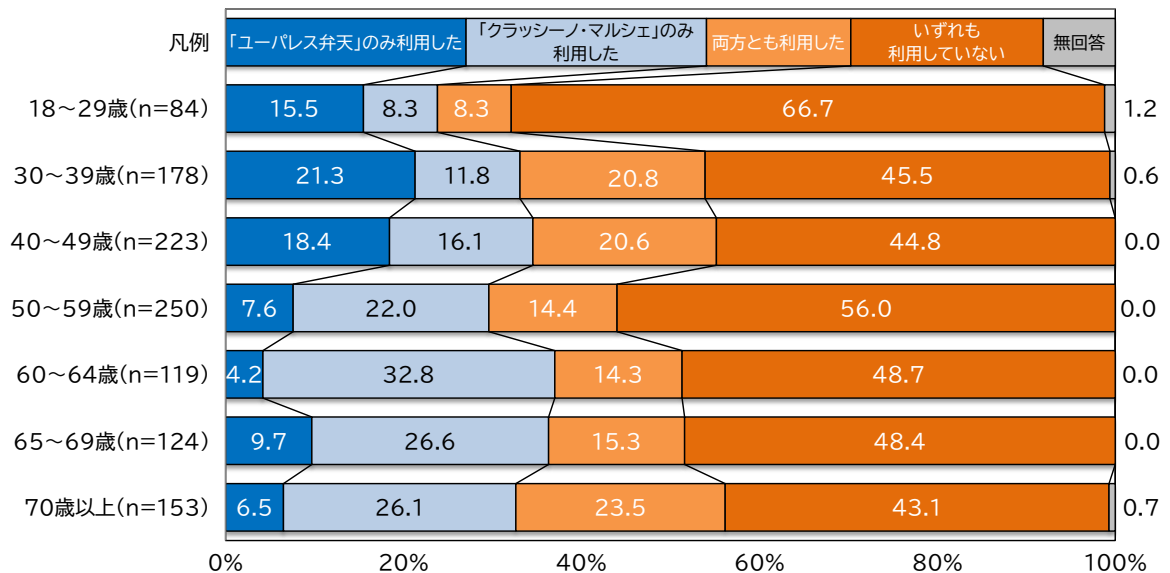
【性別】

- 「「ユーパレス弁天」のみ利用した」が男性では15.4%、女性では10.1%と男性の方が5.3ポイント高くなっている。
- 「「クラッシーノ・マルシェ」のみ利用した」が男性では14.1%、女性では24.6%と女性の方が10.5ポイント高くなっている。



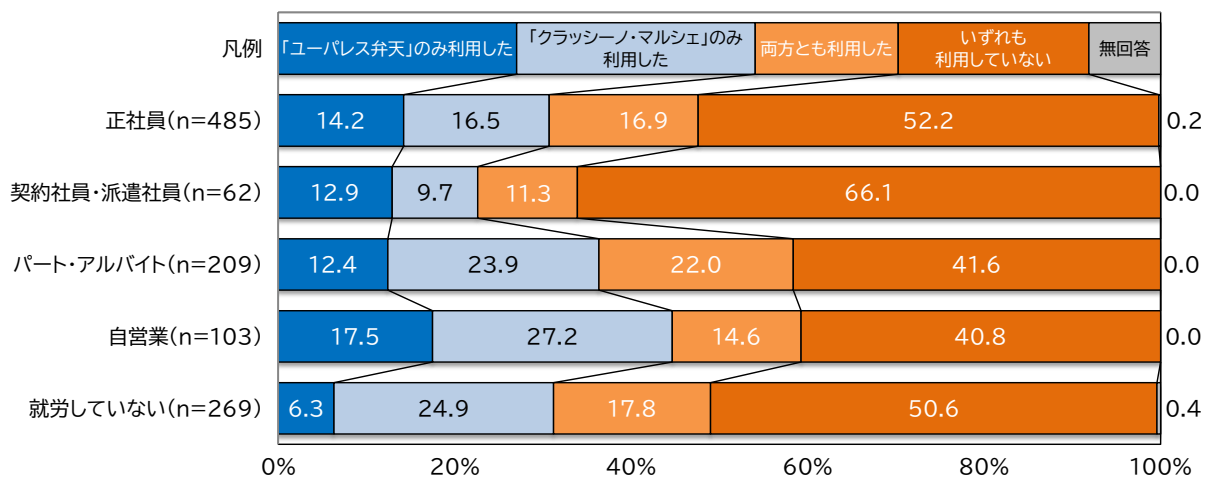
【年齢別】

- 施設を利用したことがある人の割合は、20代以下が32.1%と他の年代と比べて低くなっている。また、40代以下では「ユーパレス弁天」のみ利用した」が2割前後と高く、60代以上では「クラッシーノ・マルシェ」のみ利用した」が3割前後と高くなる傾向にある。



【職業別】

- いずれの施設も利用していない人の割合は、契約社員・派遣社員が66.1%と最も高く、次いで正社員52.2%、就労していない50.6%となっている。



4. 生涯学習等について

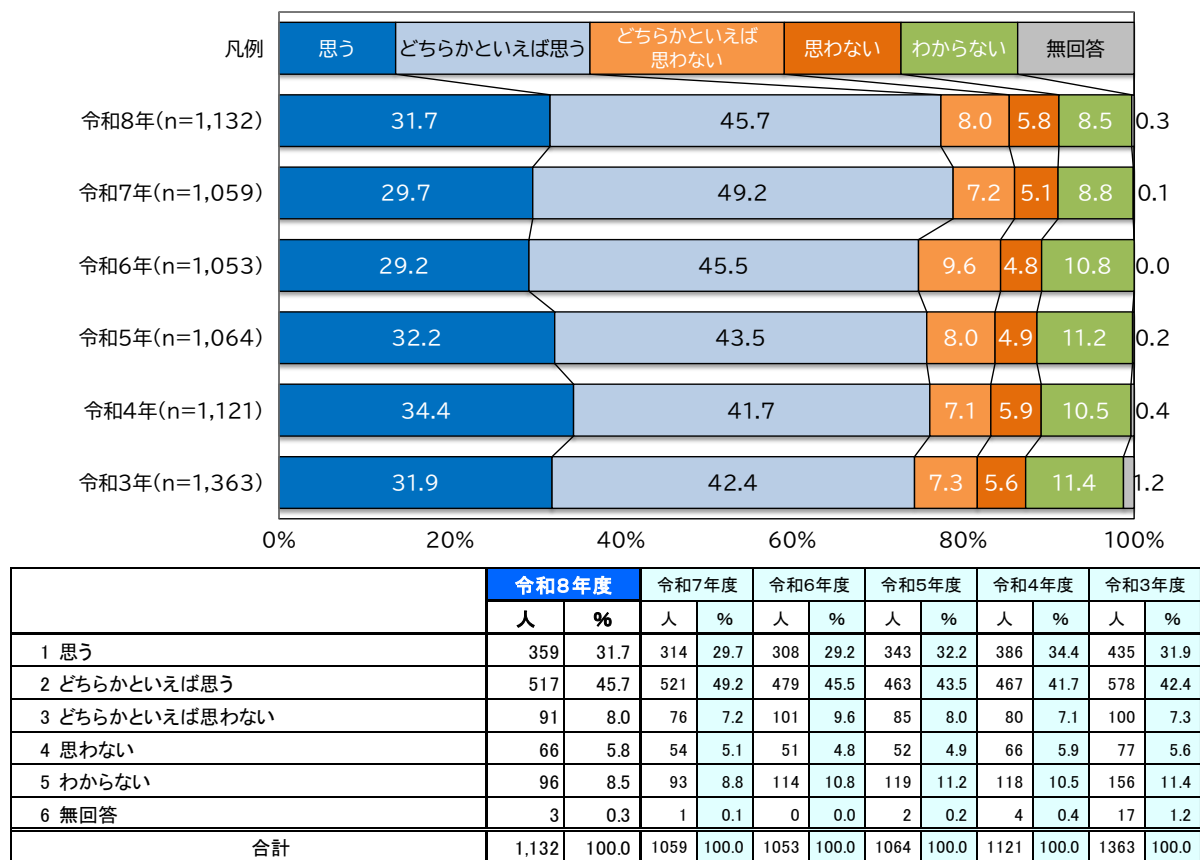
(1) 生きがいを持った生活（問26）

あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

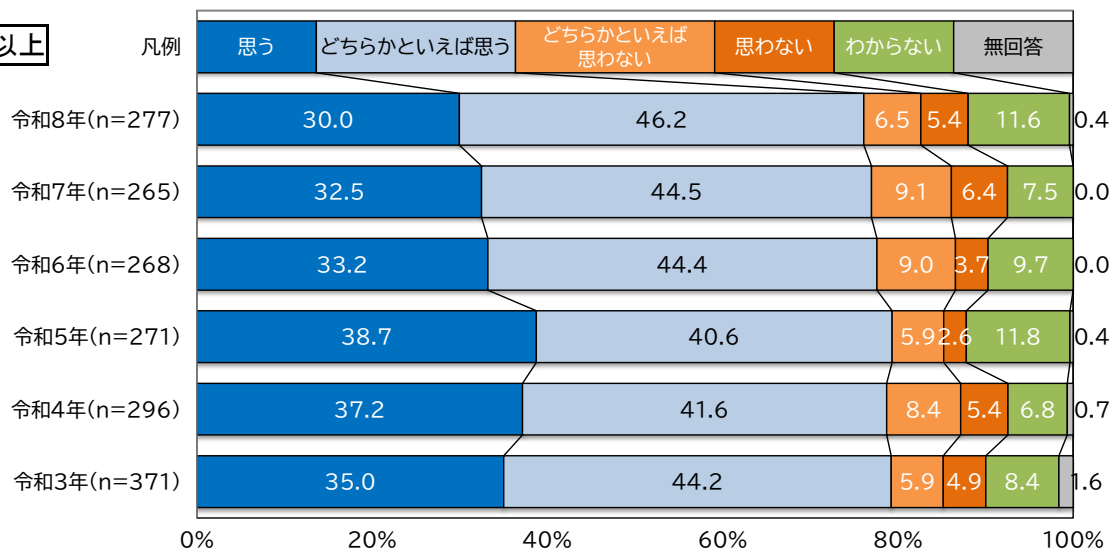
生きがいを持って生活していると思う人（「思う」＋「どちらかといえば思う」）の割合は77.4%。思わない人（「どちらかといえば思わない」＋「思わない」＋）は13.8%、「わからない」は8.5%となっている。

前年度と比較して大きな差は認められない。

なお、65歳以上のみで集計した場合をみると、思う人の割合が全世代の集計結果と比べ1.2ポイント微減している。

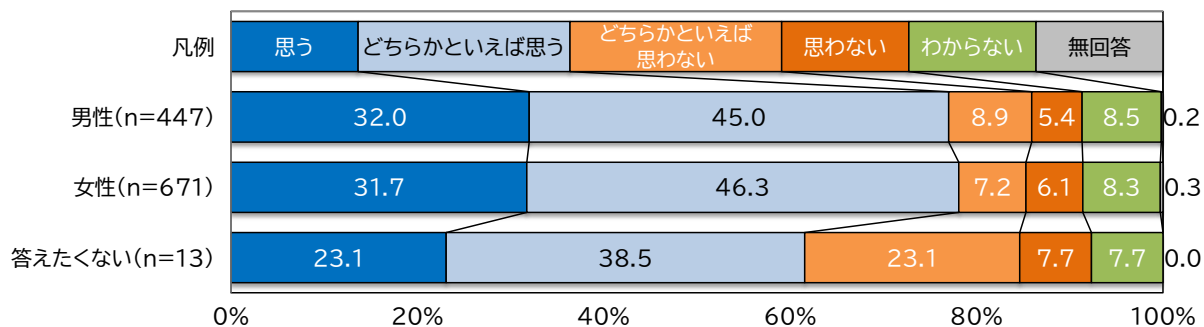


65歳以上



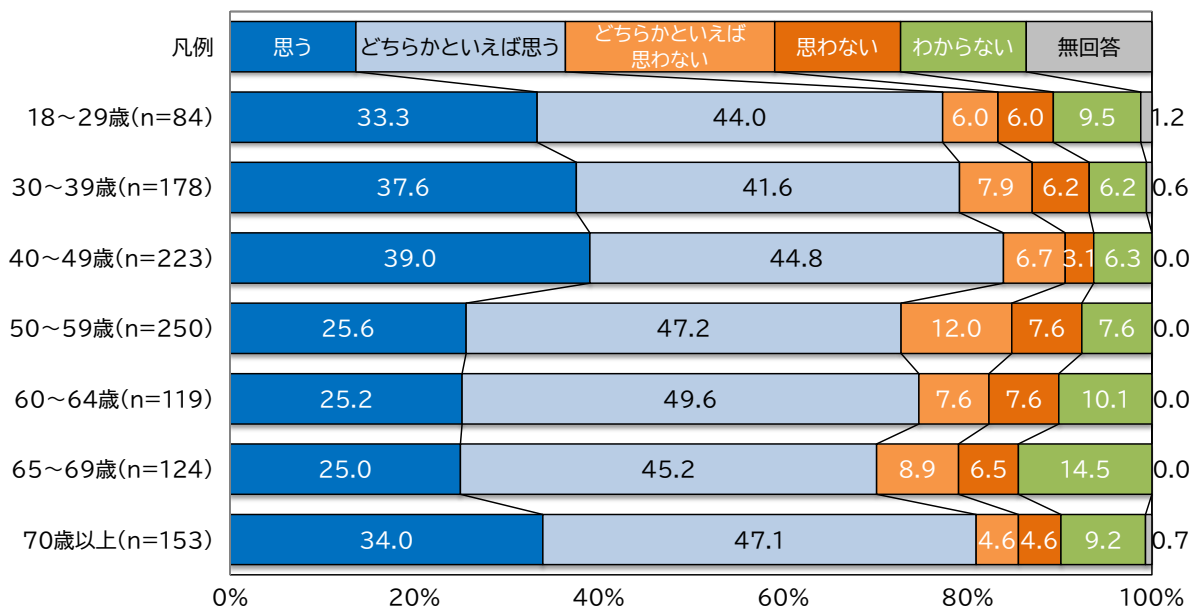
【性別】

- 性別による大きな差は認められないが、女性では「思う」の割合が男性よりもわずかに高くなっている。



【年齢別】

- 生きがいをもって生活していると思う人の割合は、すべての年代で7割を超えている。また、40代、70歳以上では8割以上と高くなっている。



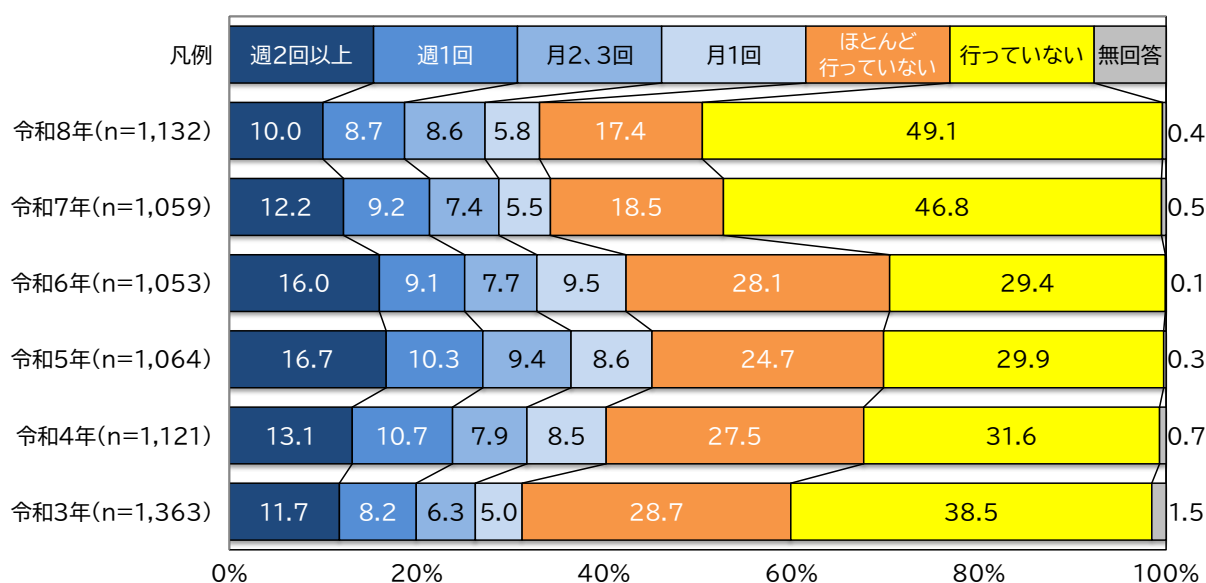
(2) 生涯学習の実施（問 28）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

生涯学習を行っている人（月 1 回以上）の割合は 33.1%、行っていない人（「ほとんど行っていない」＋「行っていない」）の割合は 66.5%となっている。

行っている頻度をみると、「週2回以上」が 10.0%で最も高くなっている。

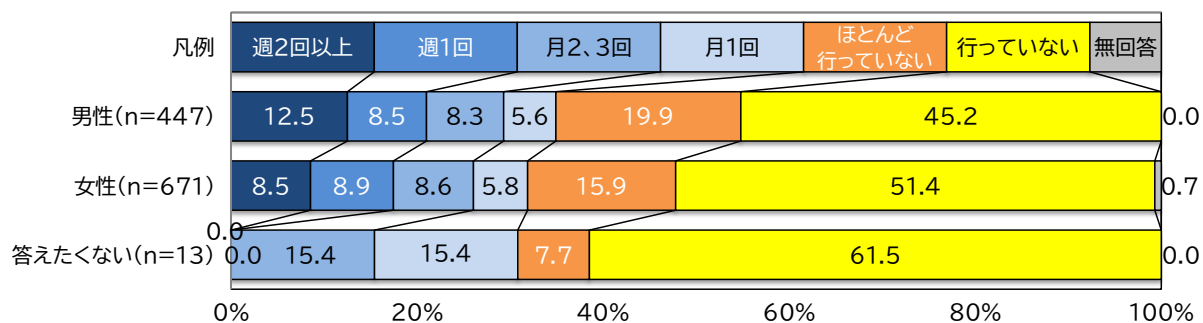
前年度と比較すると、行っている人の割合は、1.2ポイント減少しており、令和5年度から減少傾向にある。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に2回以上行っている	113	10.0	129	12.2	169	16.0	178	16.7	147	13.1	160	11.7
2 週に1回行っている	98	8.7	97	9.2	96	9.1	110	10.3	120	10.7	112	8.2
3 月に2、3回行っている	97	8.6	78	7.4	81	7.7	100	9.4	89	7.9	86	6.3
4 月に1回行っている	66	5.8	58	5.5	100	9.5	92	8.6	95	8.5	68	5.0
5 ほとんど行っていない	197	17.4	196	18.5	296	28.1	263	24.7	308	27.5	391	28.7
6 行っていない	556	49.1	496	46.8	310	29.4	318	29.9	354	31.6	525	38.5
7 無回答	5	0.4	5	0.5	1	0.1	3	0.3	8	0.7	21	1.5
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

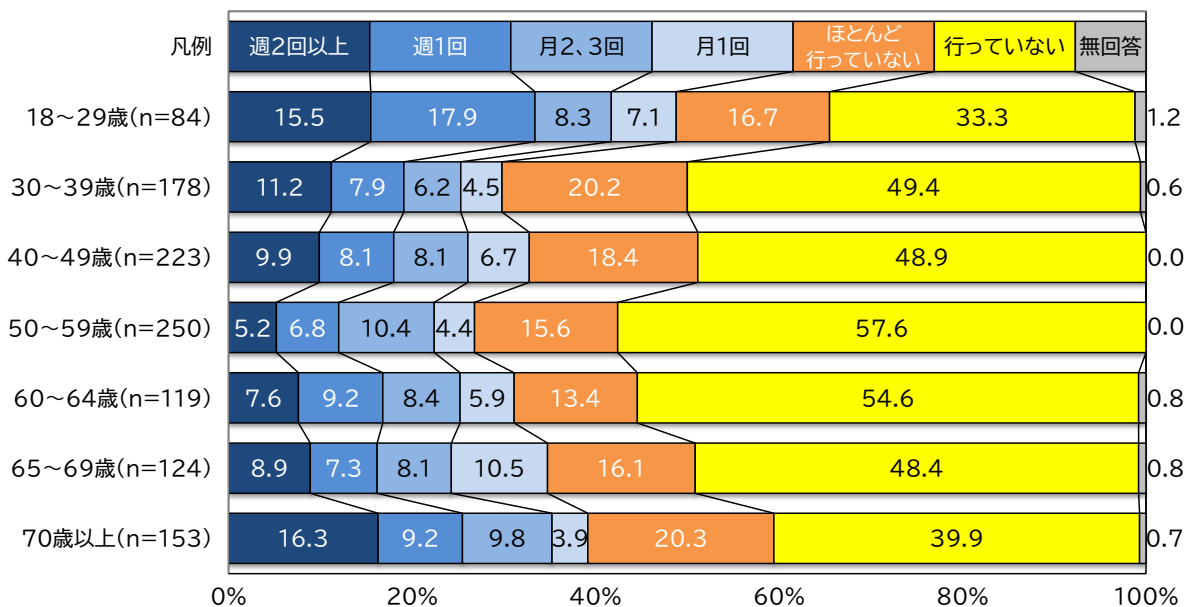
【性別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、男性 34.9%、女性 31.8%となっており、男性の方が 3.1 ポイント高くなっている。



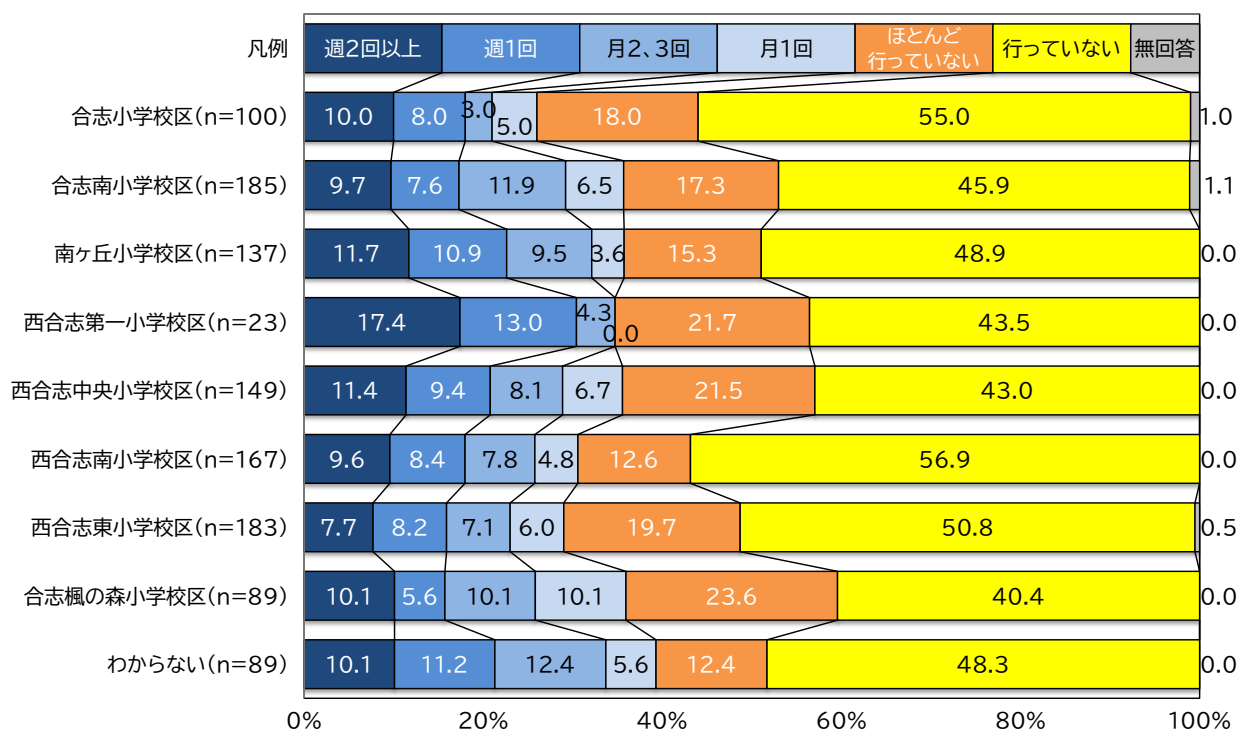
【年齢別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、20 代以下が 48.8%と最も高く、次いで 70 歳以上 39.2%、65～69 歳 34.8%となっている。



【校区別】

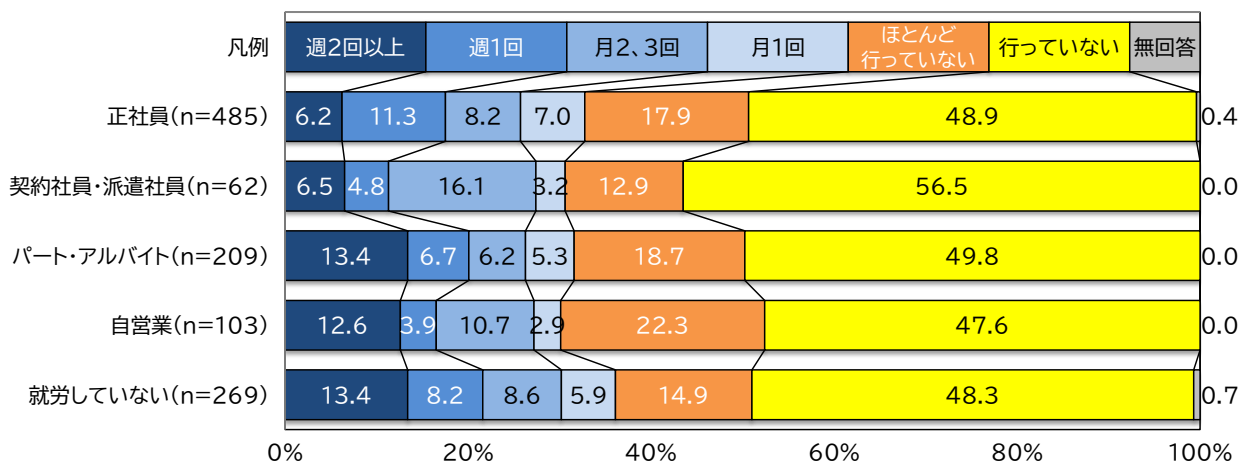
- 生涯学習を行っている人の割合は、合志小が26.0%と最も低くなっており、他の校区では3割弱～3割半ばとなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、どの職業においても3割程度となっており、大きな差は認められない。



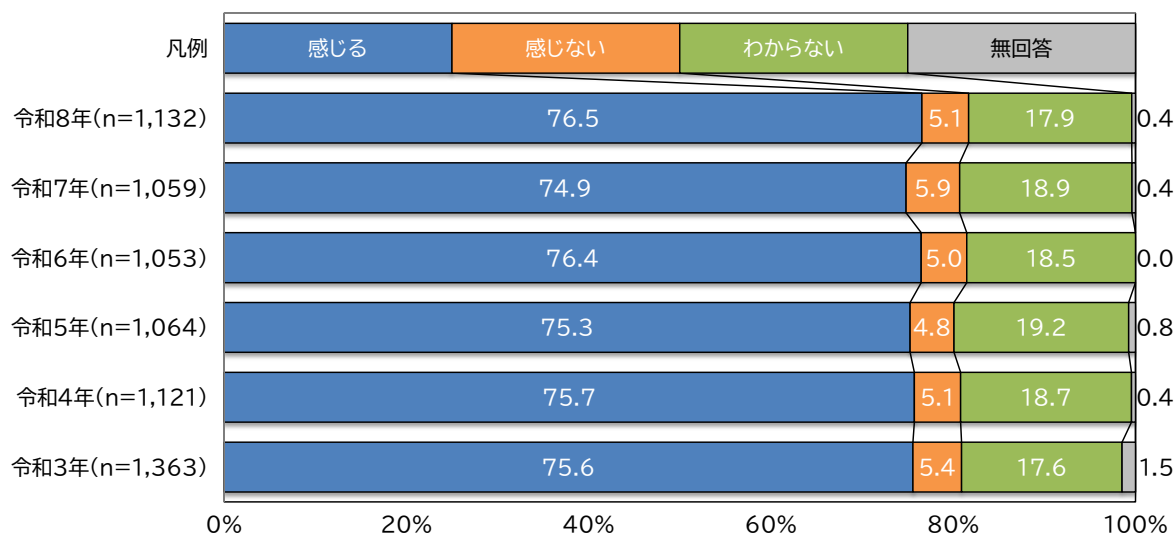
◆住環境などについて

1. 住環境の評価

(1) 住み慣れた地域（問25）

あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか。

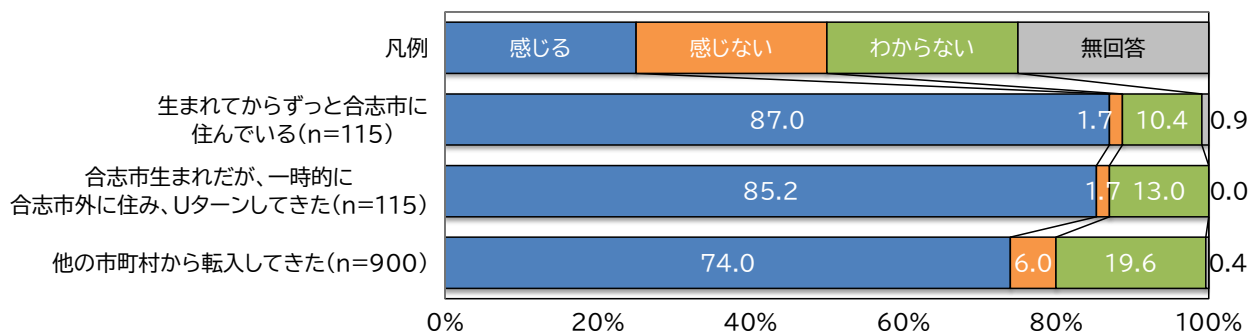
住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は 76.5%となっており、「感じない」は5.1%、「わからない」は 17.9%となっている。
前年度と比較して「感じる」人は、1.6 ポイントわずかに高くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 感じる	866	76.5	793	74.9	805	76.4	801	75.3	849	75.7	1030	75.6
2 感じない	58	5.1	62	5.9	53	5.0	51	4.8	57	5.1	73	5.4
3 わからない	203	17.9	200	18.9	195	18.5	204	19.2	210	18.7	240	17.6
4 無回答	5	0.4	4	0.4	0	0.0	8	0.8	5	0.4	20	1.5
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

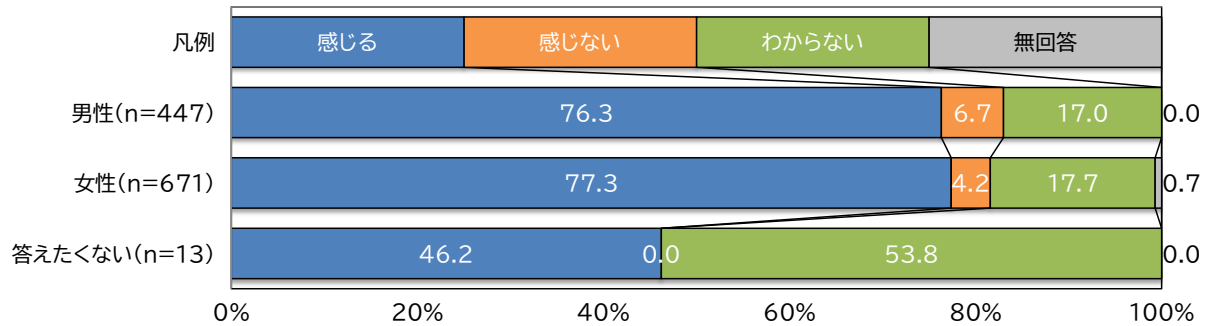
【居住パターン別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、ずっと住んでいる人が87.0%と最も高く、次いでＵターン者85.2%、転入者74.0%となっている。



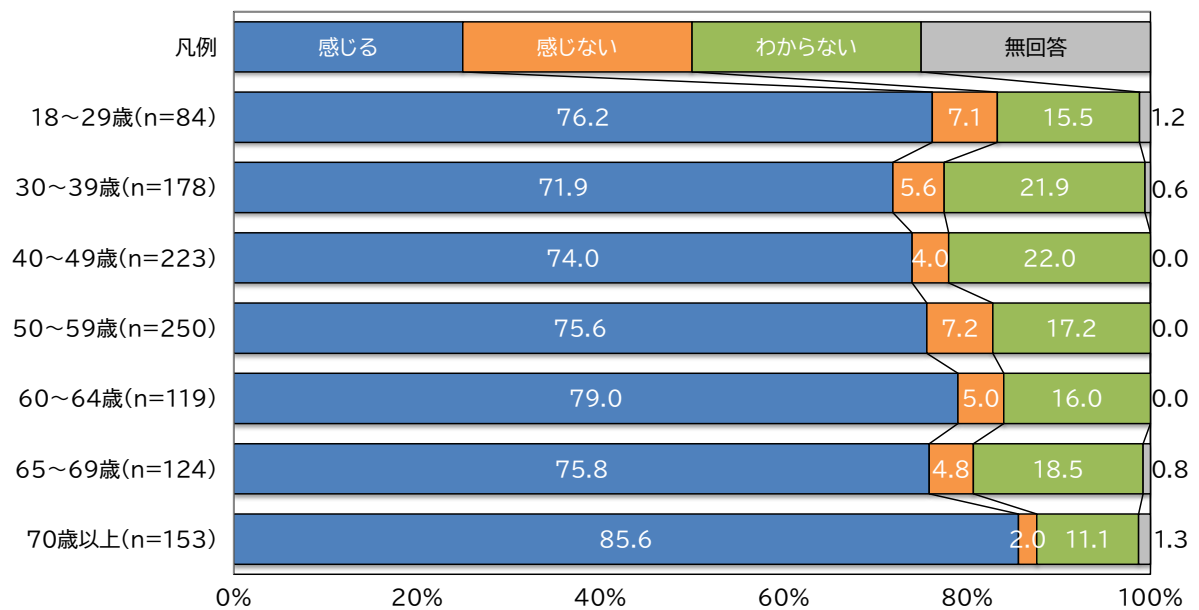
【性別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合について、性別による大きな差は認められない。



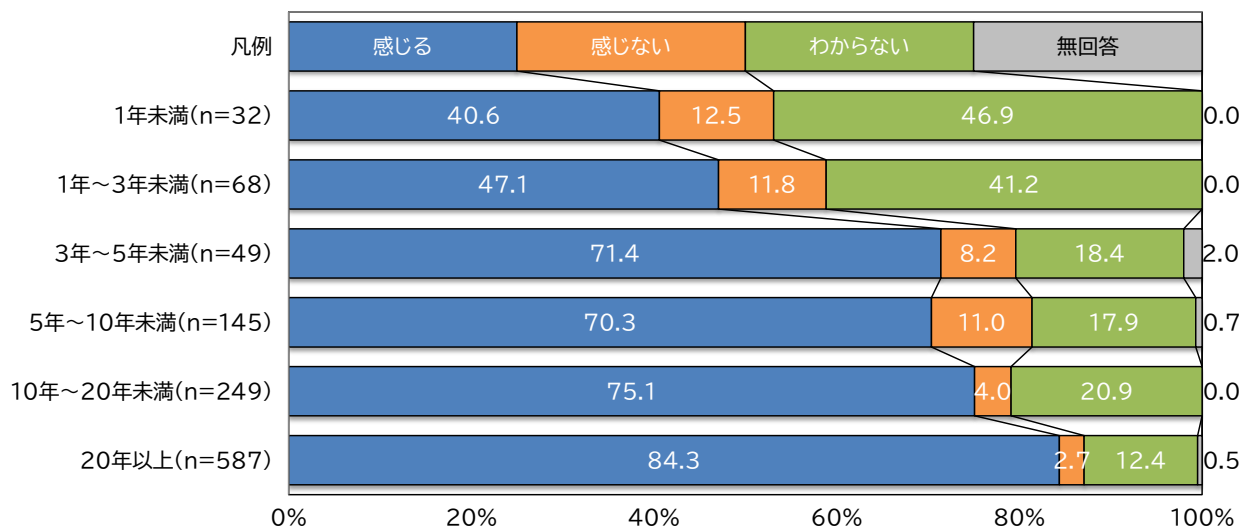
【年齢別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、70歳以上が85.6%と最も高く、その他の年代では7割台となっている。



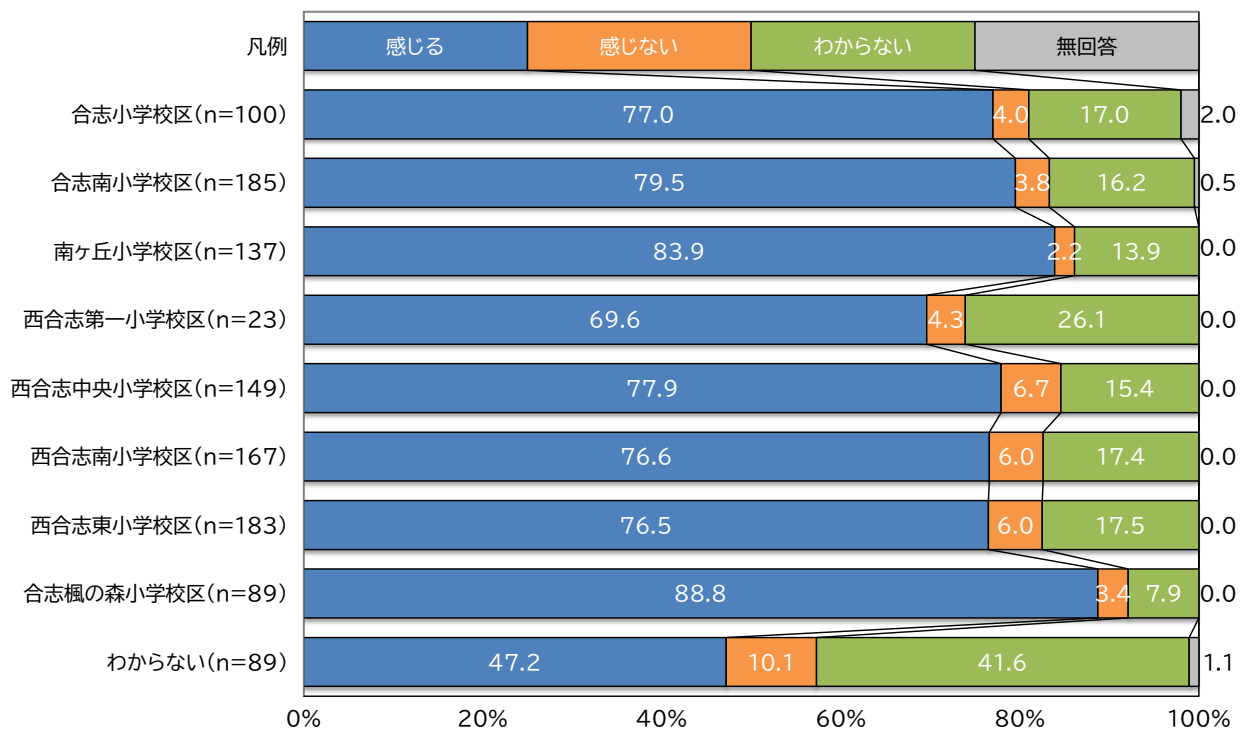
【居住年数別】

- 居住年数が長くなるにつれ、住み慣れた地域で生活できていると感じている人の割合は高くなる傾向にある。また、居住年数が3年以上になるとこの割合は7割を超えている。



【校区別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、合志楓の森小が88.8%と最も高く、次いで南ヶ丘小83.9%、合志南小79.5%となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

2. 交通について

(1) 公共交通の利用について

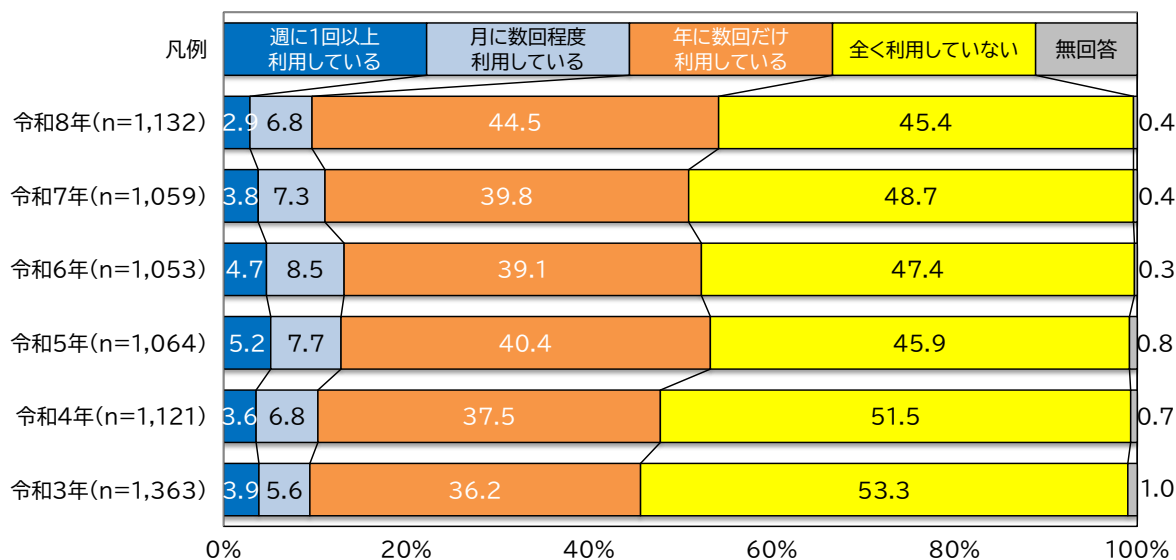
①公共交通機関の利用頻度（問3 2）

あなたは、どの程度公共交通機関（ＪＲ、バス、電車）を利用していますか。

※バスには、市のコミュニティバス（レターバス、乗合タクシー）を含みます。

公共交通機関を「週に1回以上利用している」人の割合は2.9%、「月に数回程度利用している」が6.8%、「年に数回だけ利用している」が44.5%で、利用している人を合わせた割合は54.2%となっている。一方、「全く利用していない」が45.4%となっており、半数近くの人が公共交通機関を利用していない。

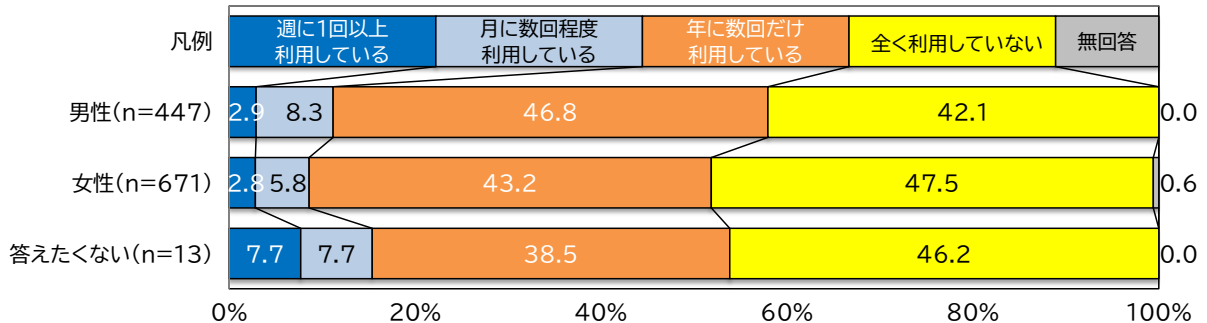
前年度と比較すると、利用している人を合わせた割合が3.3ポイント高くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用している	33	2.9	40	3.8	50	4.7	55	5.2	40	3.6	53	3.9
2 月に数回程度利用している	77	6.8	77	7.3	89	8.5	82	7.7	76	6.8	76	5.6
3 年に数回だけ利用している	504	44.5	422	39.8	412	39.1	430	40.4	420	37.5	493	36.2
4 全く利用していない	514	45.4	516	48.7	499	47.4	488	45.9	577	51.5	727	53.3
5 無回答	4	0.4	4	0.4	3	0.3	9	0.8	8	0.7	14	1.0
合計	1,132	100.0	1,059	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

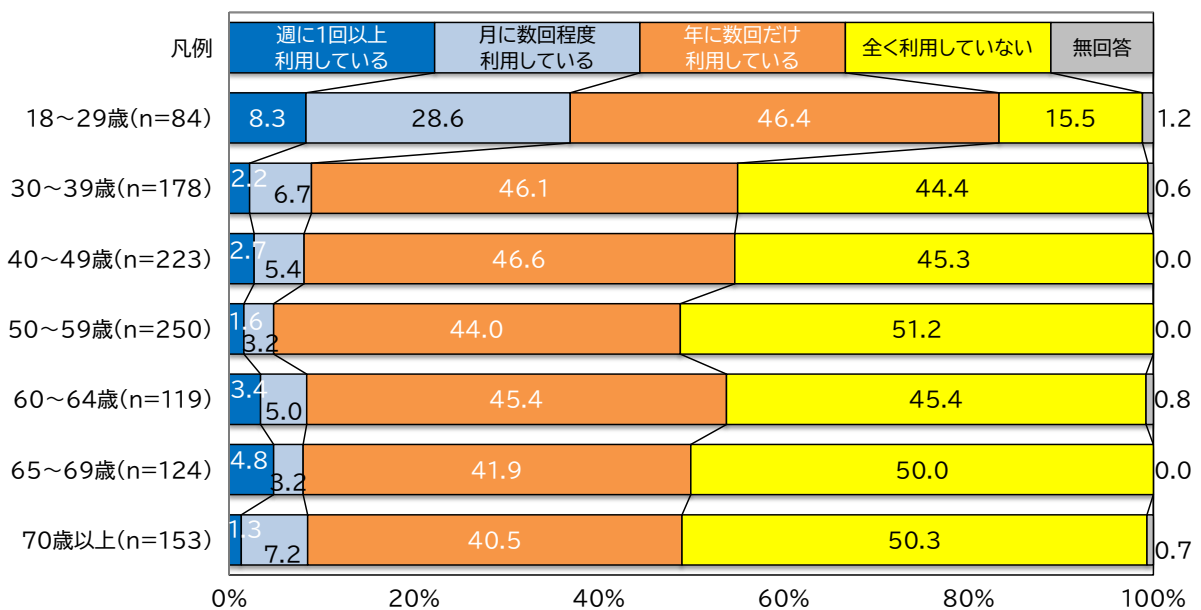
【性別】

- 公共交通機関を利用している人の割合は、男性が58.0%、女性が51.8%と男性の方が6.2ポイント高くなっている。



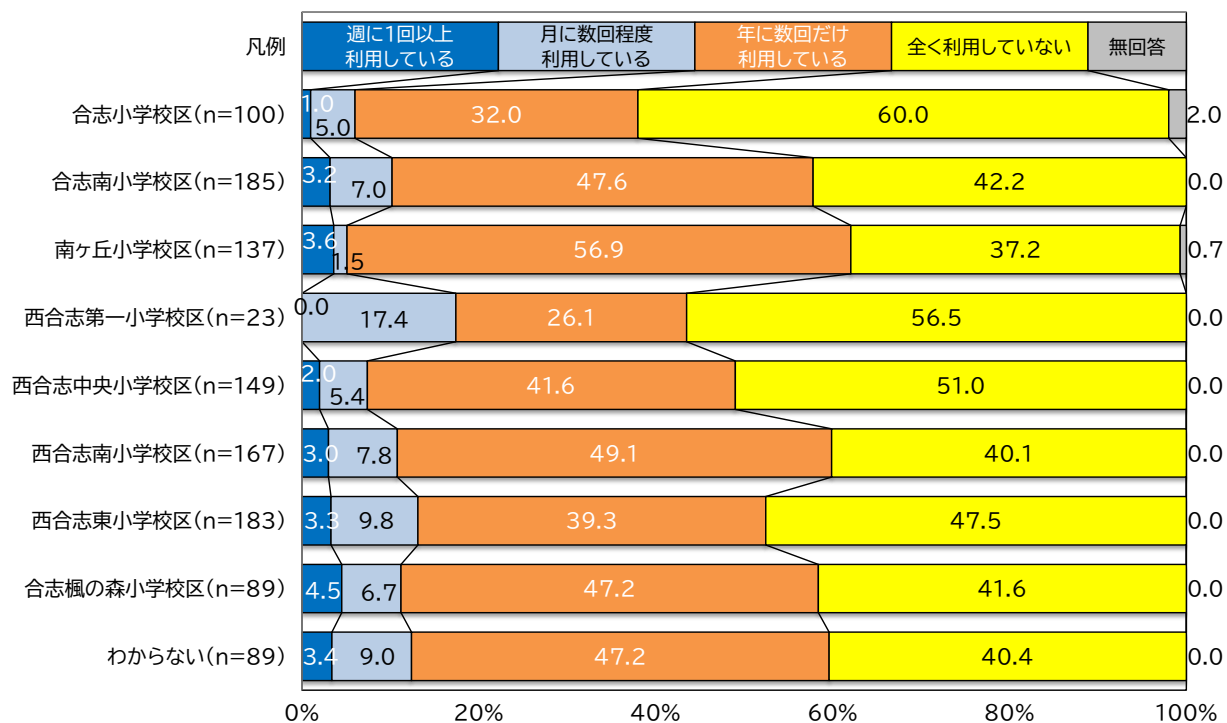
【年齢別】

- 20代以下では、公共交通機関を「週に1回以上利用している」人の割合は8.3%、「月に数回程度利用している」が28.6%と他の年代と比べて利用頻度の多い割合が高くなっている。



【校區別】

- 公共交通を利用している人の割合は、南ヶ丘小が62.0%と最も高くなっている。
- 一方、合志小では60.0%が「全く利用していない」となっている。



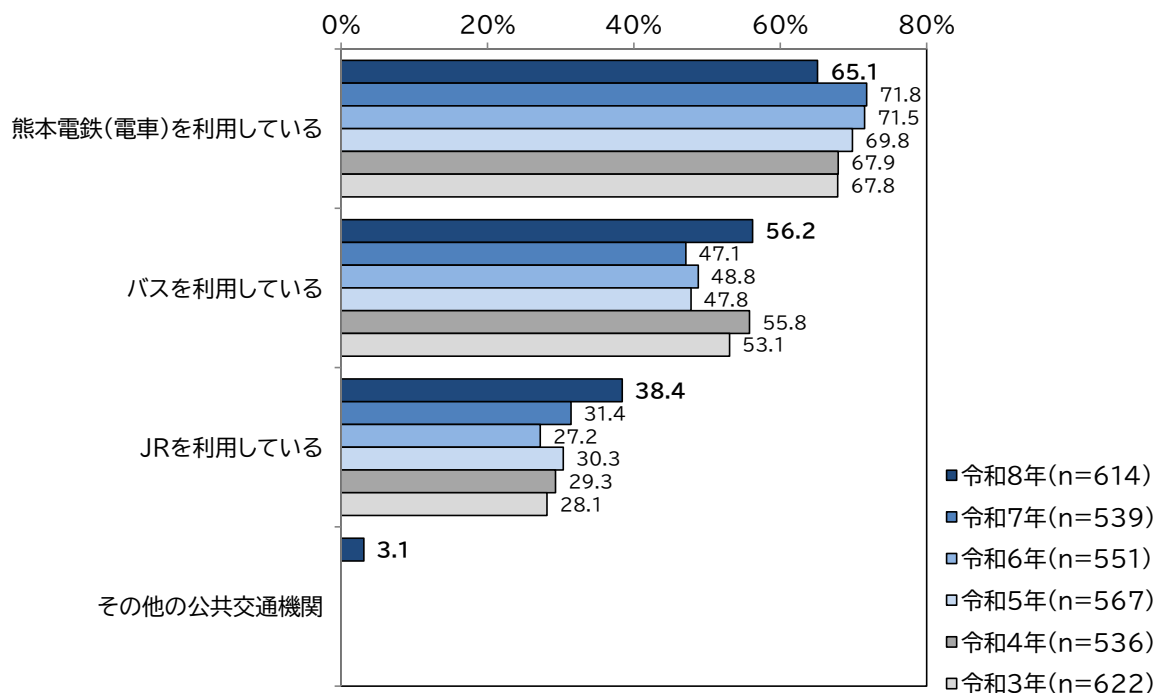
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 利用している公共交通機関（問33）

問32で「1～3」と答えた方にお尋ねします。
あなたは、どの公共交通機関を利用していますか。

公共交通機関を利用している 614 人について利用している交通機関をみると、「熊本電鉄（電車）」が65.1%、「バス」が56.2%、「JR」が38.4%となっている。

前年度と比較して、「熊本電鉄（電車）」が6.7ポイント減少し、一方「バス」が9.1ポイント、「JR」が7.0ポイント増加している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=614		n=539		n=551		n=567		n=536		n=622	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 JRを利用している	236	38.4	169	31.4	150	27.2	172	30.3	157	29.3	175	28.1
2 熊本電鉄(電車)を利用している	400	65.1	387	71.8	394	71.5	396	69.8	364	67.9	422	67.8
3 バスを利用している	345	56.2	254	47.1	269	48.8	271	47.8	299	55.8	330	53.1
4 その他の公共交通機関	19	3.1										

【性別】

- 熊本電鉄（電車）を利用している人の割合は、男性 67.6%、女性 63.5%となっており、男性の方が 4.1 ポイント高くなっている。。

【年齢別】

- 年齢別にみると、65～69 歳を除くすべての年代で熊本電鉄（電車）の利用が最も高い。
- 65～69 歳では、バスの利用が 61.3%と最も高くなっている。

【校区別】

- 校区別にみると、合志南小、南ヶ丘小、西合志第一小では「バス」を約 6～8 割が利用している。合志小、西合志中央小、西合志南小、西合志東小、合志楓の森小では「熊本電鉄（電車）」を 5 割半ば～約 9 割が利用している。

	合 計	J R を利用している	熊本電鉄（電車） を利用している	バス を利用している	その他の公共交通機関
全 体	614	38.4%	65.1%	56.2%	3.1%
■性別					
男性	259	41.7%	67.6%	53.7%	2.7%
女性	348	36.2%	63.5%	57.8%	3.2%
答えたくない	7	28.6%	57.1%	71.4%	14.3%
■年代別					
18～29歳	70	47.1%	67.1%	47.1%	2.9%
30～39歳	98	29.6%	75.5%	60.2%	5.1%
40～49歳	122	36.9%	65.6%	53.3%	3.3%
50～59歳	122	45.1%	63.1%	57.4%	3.3%
60～64歳	64	46.9%	65.6%	54.7%	1.6%
65～69歳	62	38.7%	51.6%	61.3%	1.6%
70歳以上	75	26.7%	62.7%	58.7%	2.7%
■校区別					
合志小学校区	38	47.4%	55.3%	52.6%	5.3%
合志南小学校区	107	56.1%	45.8%	64.5%	4.7%
南ヶ丘小学校区	85	68.2%	20.0%	78.8%	1.2%
西合志第一小学校区	10	10.0%	40.0%	80.0%	10.0%
西合志中央小学校区	73	23.3%	84.9%	52.1%	5.5%
西合志南小学校区	100	20.0%	89.0%	34.0%	1.0%
西合志東小学校区	96	18.8%	91.7%	46.9%	3.1%
合志楓の森小学校区	52	42.3%	78.8%	53.8%	3.8%
わからない	53	41.5%	54.7%	67.9%	0.0%

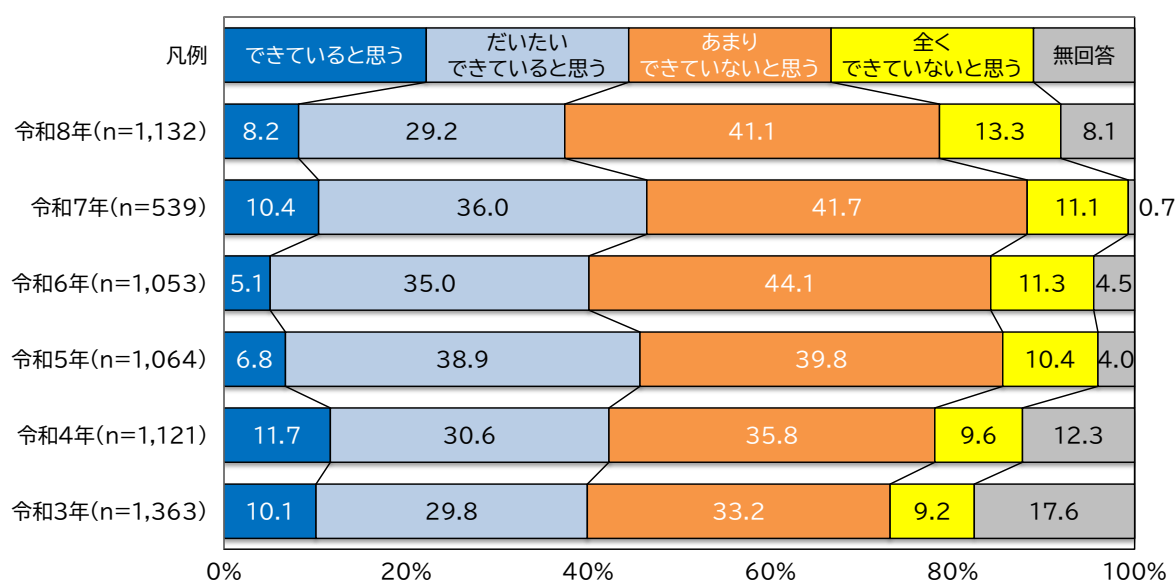
(2) 公共交通機関の乗り換え・乗り継ぎ評価 (問34)

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか。

公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思う人(「できていると思う」+「だいたいできていると思う」)の割合は37.4%、「あまりできていないと思う」は41.1%、「全くできていないと思う」は13.3%となっている。

前年度と比較すると、乗り継ぎが円滑にできていると思う人の割合は、9.0ポイント減少している。

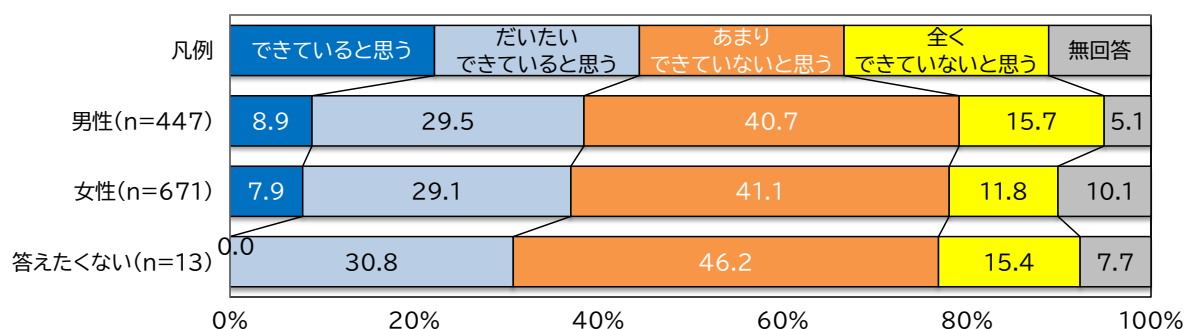
※令和7年度調査では、設問対象者が限定されていたため回答者数が他年度と比べ少数となっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できていると思う	93	8.2	56	10.4	54	5.1	72	6.8	131	11.7	138	10.1
2 だいたいできていると思う	331	29.2	194	36.0	369	35.0	414	38.9	343	30.6	406	29.8
3 あまりできていないと思う	465	41.1	225	41.7	464	44.1	424	39.8	401	35.8	453	33.2
4 全くできていないと思う	151	13.3	60	11.1	119	11.3	111	10.4	108	9.6	126	9.2
5 無回答	92	8.1	4	0.7	47	4.5	43	4.0	138	12.3	240	17.6
合計	1,132	100.0	539	100.0	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0

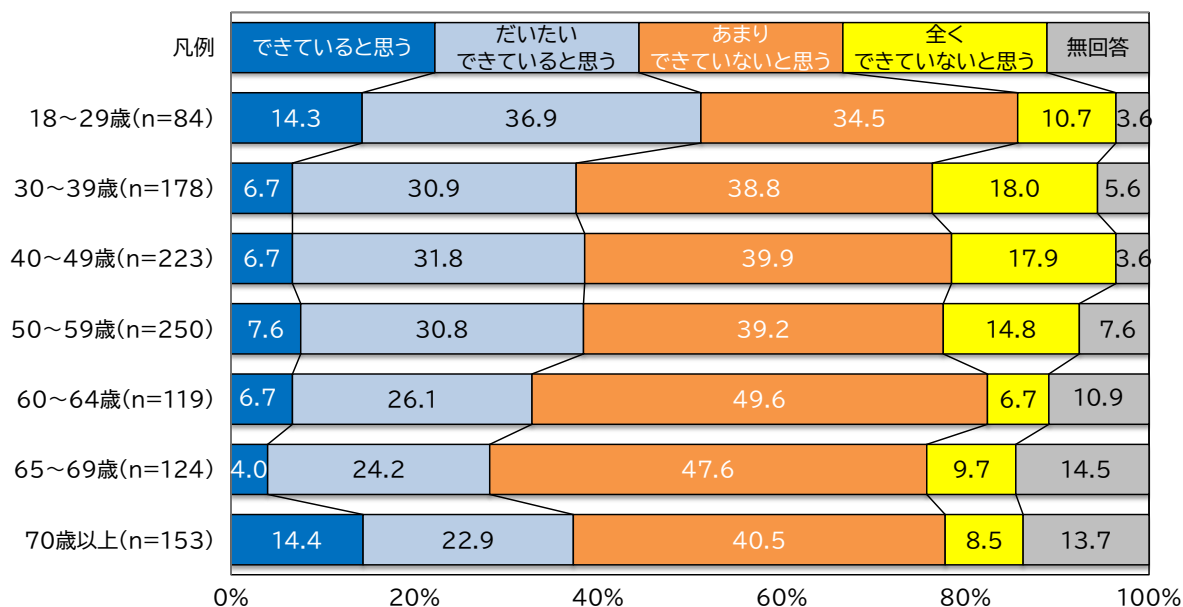
【性別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思う人の割合について、性別による大きな差は認められない。



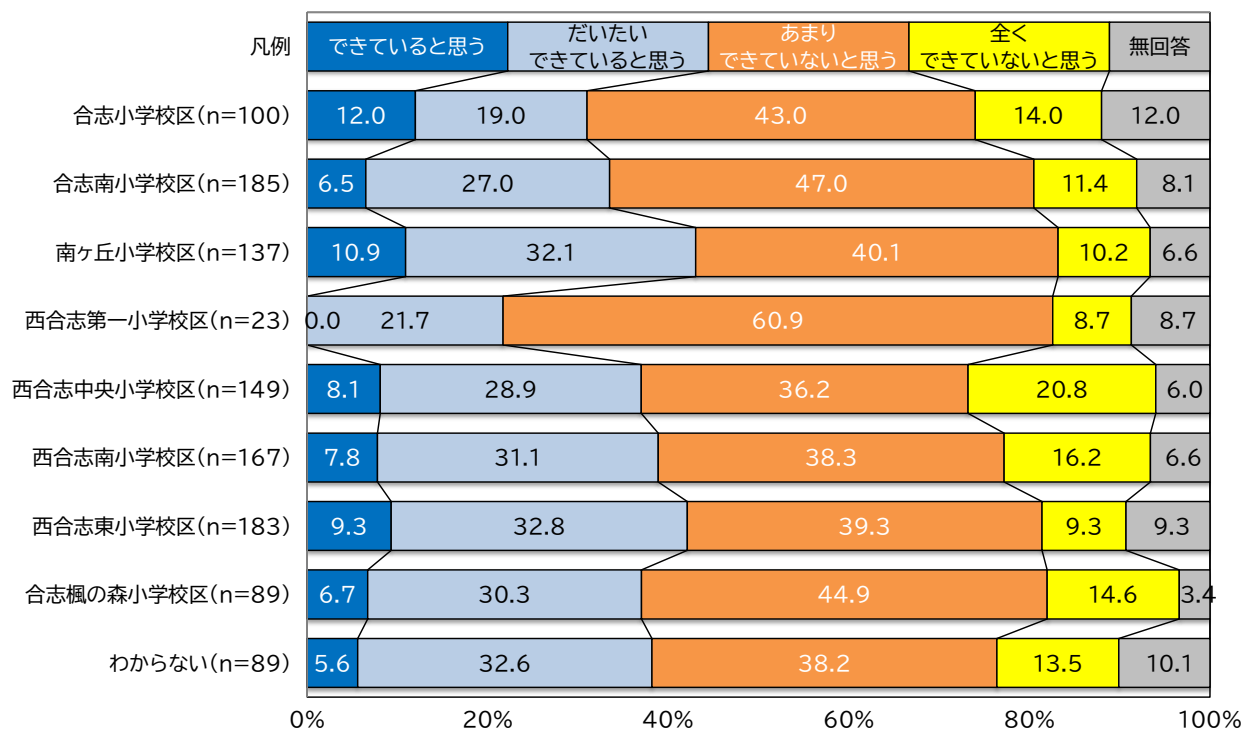
【年齢別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思う人の割合は、20代以下では51.2%と最も高くなっており、65～69歳では28.2%と最も低い。その他の年代では3割台となっている。



【校区分別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていないと思う人（「あまりできていないと思う」＋「全くできていないと思う」）の割合が、西合志東小以外で半数を超えている。



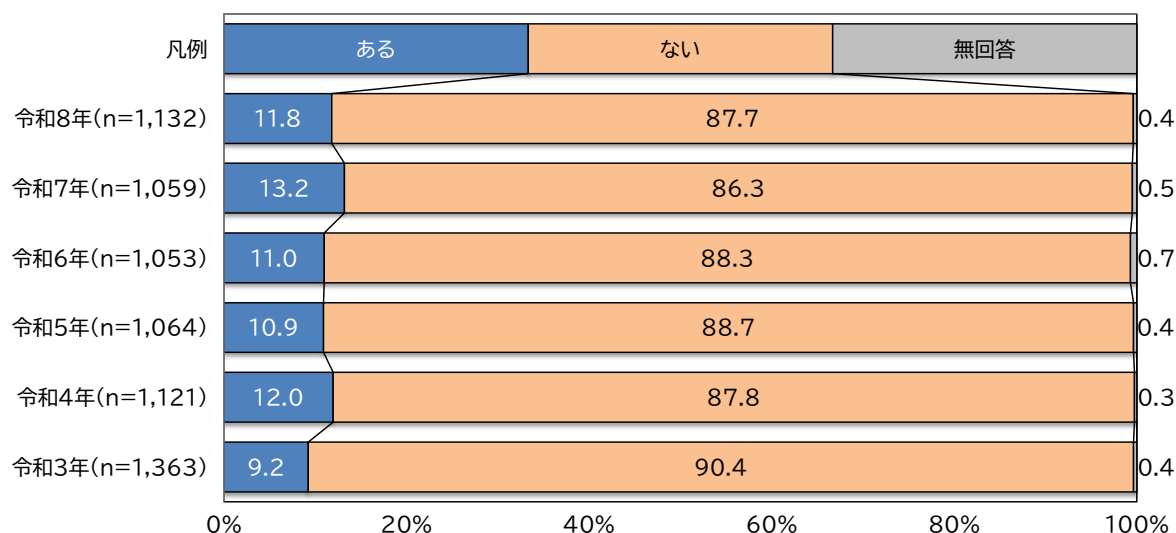
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

3. 人権について

(1) 人権が侵害された経験（問29）

あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。

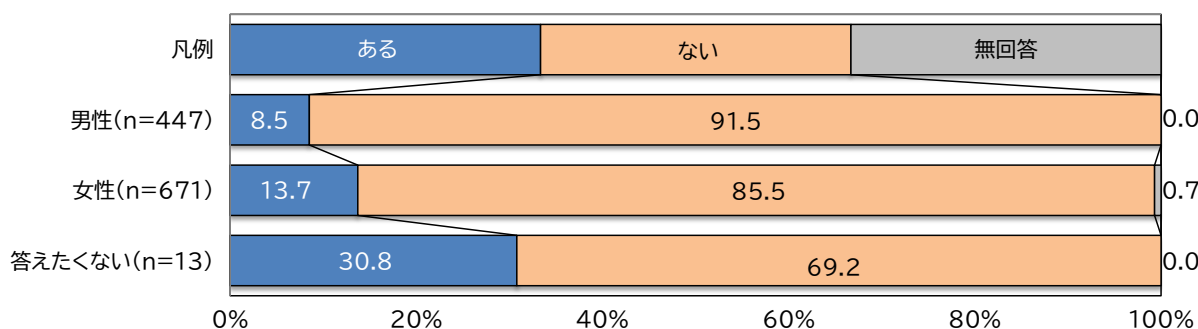
過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことが「ある」人の割合は11.8%で、前年度と比較して1.4ポイントわずかに低くなっている。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	134	11.8	140	13.2	116	11.0	116	10.9	134	12.0	126	9.2
2 ない	993	87.7	914	86.3	930	88.3	944	88.7	984	87.8	1232	90.4
3 無回答	5	0.4	5	0.5	7	0.7	4	0.4	3	0.3	5	0.4
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

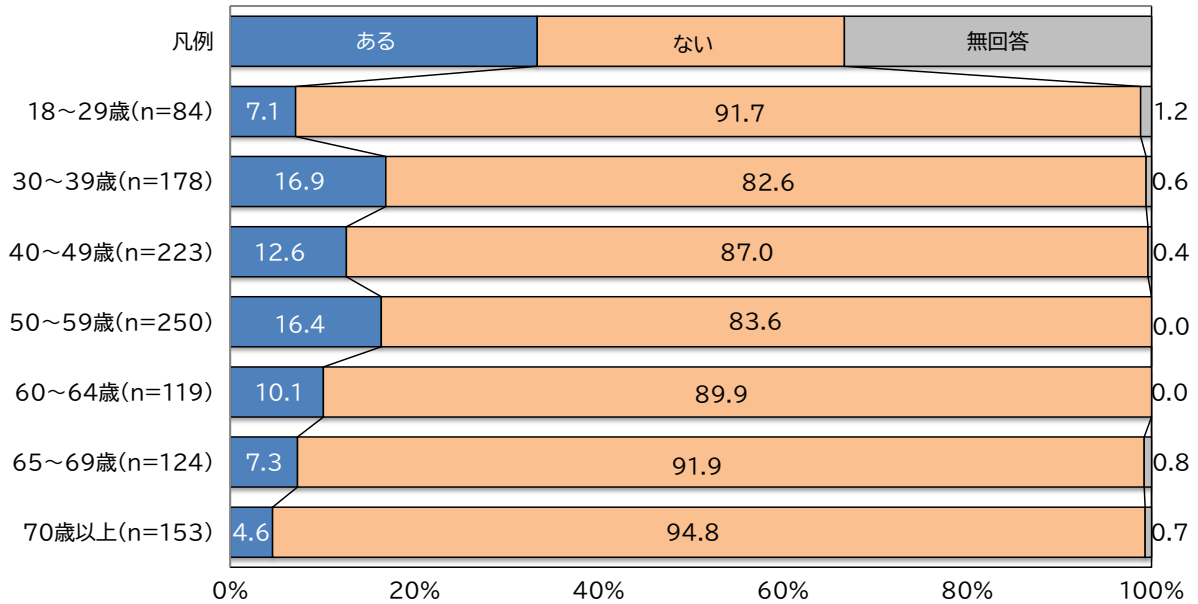
【性別】

- 人権が侵害されたと感じたことが「ある」人の割合については、男性が8.5%、女性が13.7%と、女性がやや高くなっている。



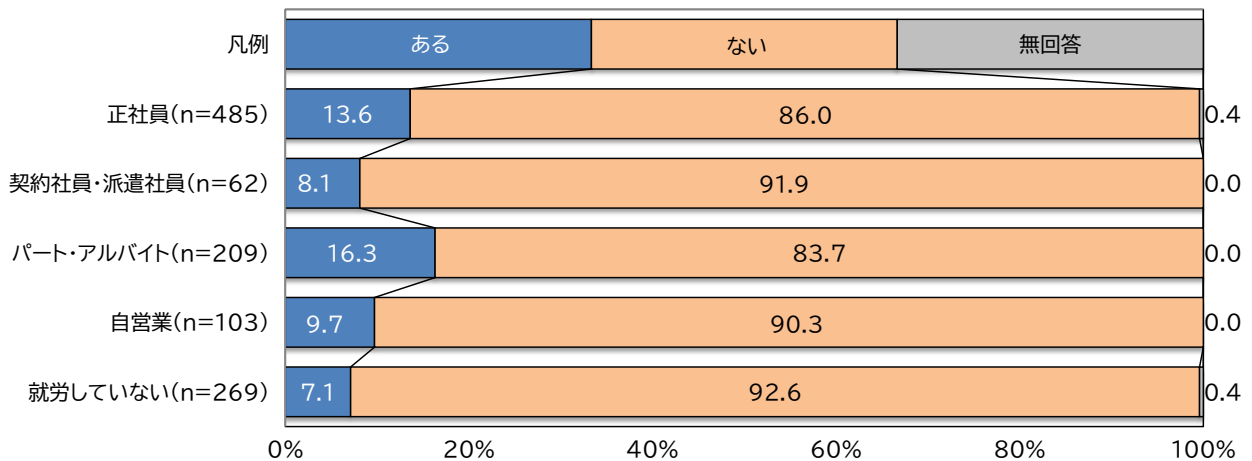
【年齢別】

- 人権が侵害されたと感じたことが「ある」人の割合は、30代が16.9%と最も高く、次いで50代16.4%、40代12.6%となっている。



【職業別】

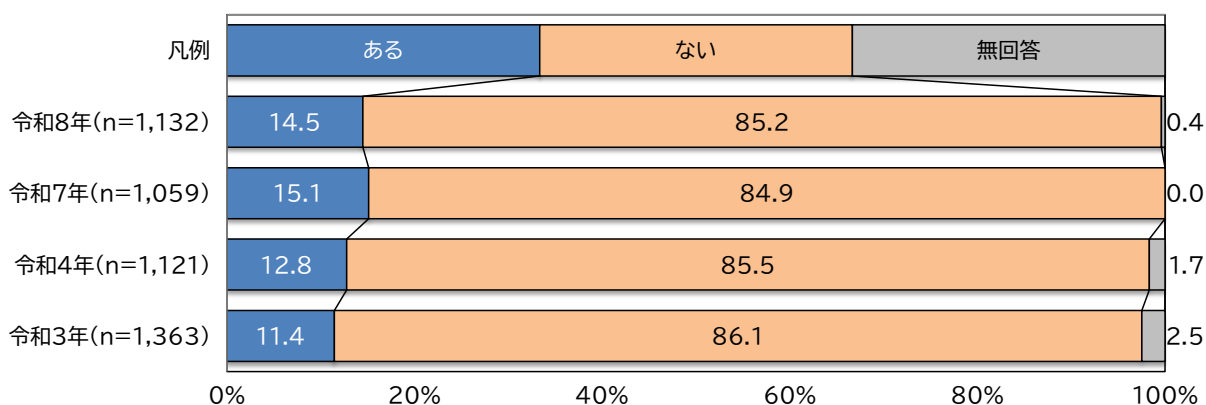
- 人権が侵害されたと感じたことが「ある」人の割合は、パート・アルバイトが16.3%と最も高く、次いで正社員13.6%、自営業9.7%となっている。



(2) 人権問題の研修会、学習会等への参加（問30）

あなたは、過去1年間で人権問題（部落差別（同和問題）、ハンセン病、水俣病、LGBTQ十、こども、女性、高齢者、障がい者、インターネット、外国人、HIV、DV、セクハラ、パワハラ、いじめ、プライバシーの侵害等）の研修会、学習会等へ参加したことがありますか。

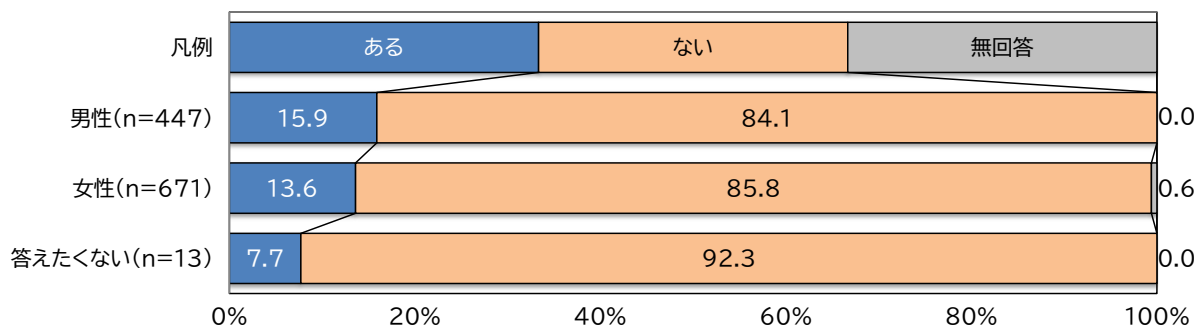
過去1年間に人権問題についての研修会等に参加したことが「ある」人の割合は14.5%、「ない」が85.2%となっている。
前年度と比較して「ある」人の割合が、0.6ポイントわずかに低くなっている。
※令和5年度と令和6年度は調査が行われていない。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	164	14.5	160	15.1					143	12.8	156	11.4
2 ない	964	85.2	899	84.9					959	85.5	1173	86.1
3 無回答	4	0.4	0	0.0					19	1.7	34	2.5
合計	1,132	100.0	1059	100.0					1121	100.0	1363	100.0

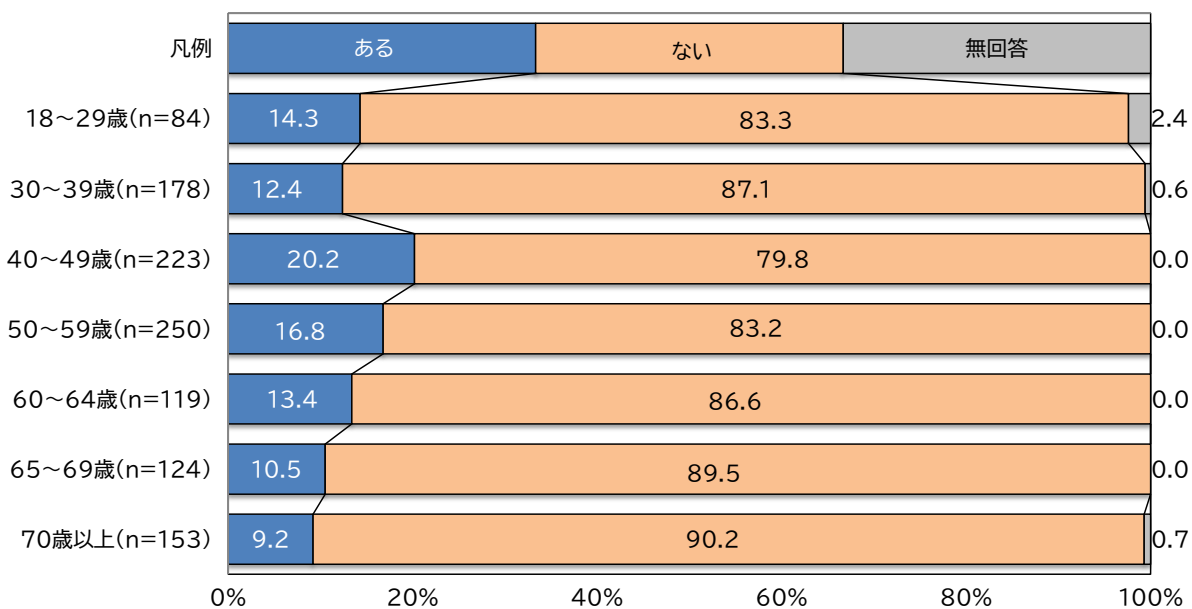
【性別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことが「ある」人の割合について、性別による大きな差は認められないが、わずかに男性の方が高くなっている。



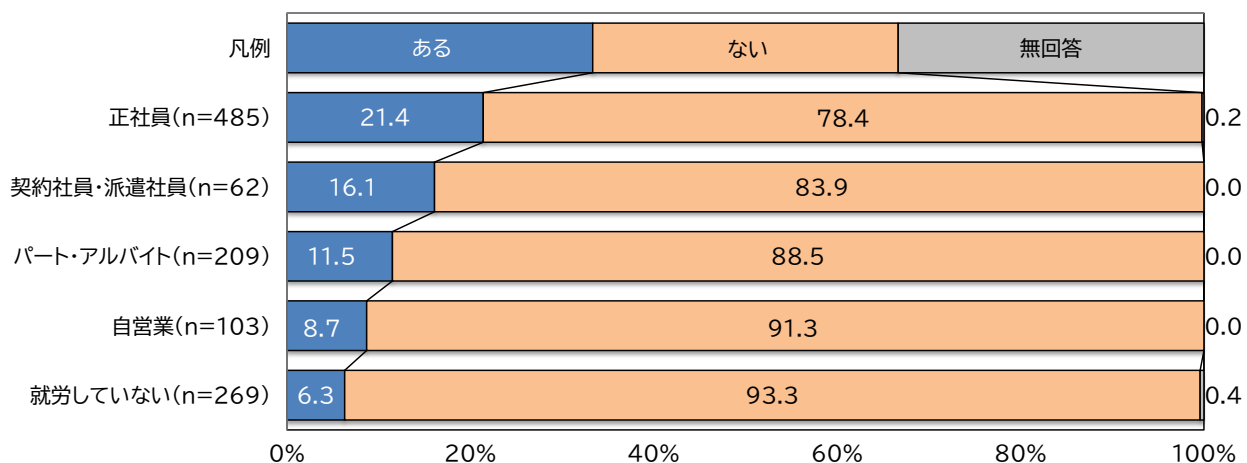
【年齢別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことが「ある」人の割合は、40代が20.2%と最も高く、50代以降では、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。



【職業別】

- 人権問題についての研修会等に参加したことが「ある」人の割合は、正社員が21.4%と最も高く、次いで契約社員・派遣社員16.1%、パート・アルバイト11.5%となっている。

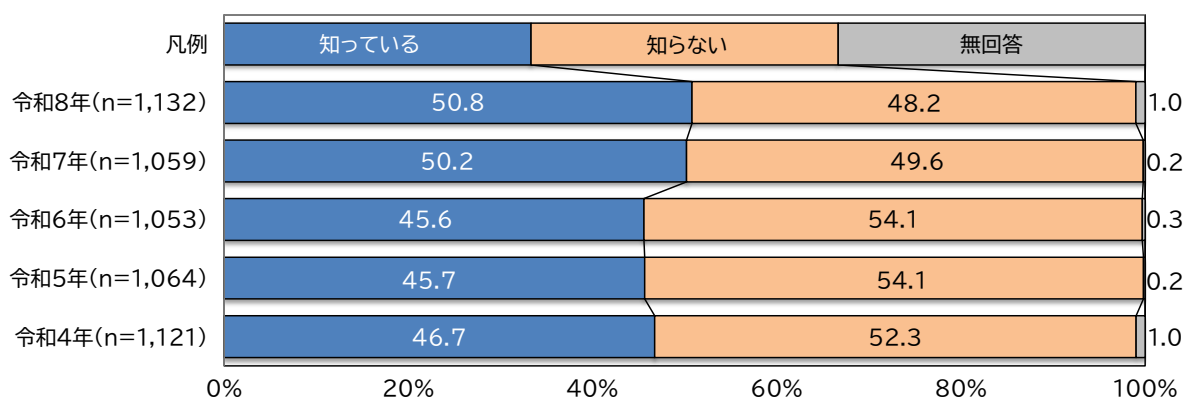


4. 相談専門部署について

(1) 相談専門部署の認知度（問31）

あなたは、女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っていますか。
（例えば、DV・離婚相談や子育ての困難さ、児童虐待など）

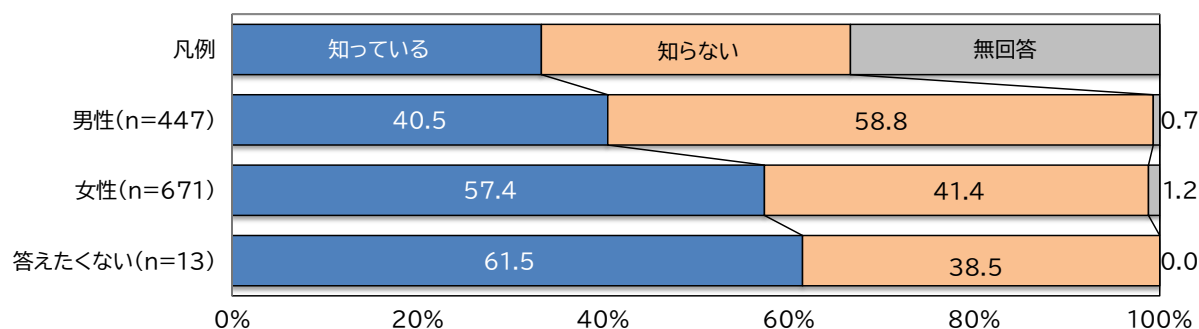
女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかについては、知っているが50.8%、知らないが48.2%となっている。
前年度と比較すると、知っている人の割合は0.6ポイントわずかに増加している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	575	50.8	532	50.2	480	45.6	486	45.7	524	46.7
2 知らない	546	48.2	525	49.6	570	54.1	576	54.1	586	52.3
3 無回答	11	1.0	2	0.2	3	0.3	2	0.2	11	1.0
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0

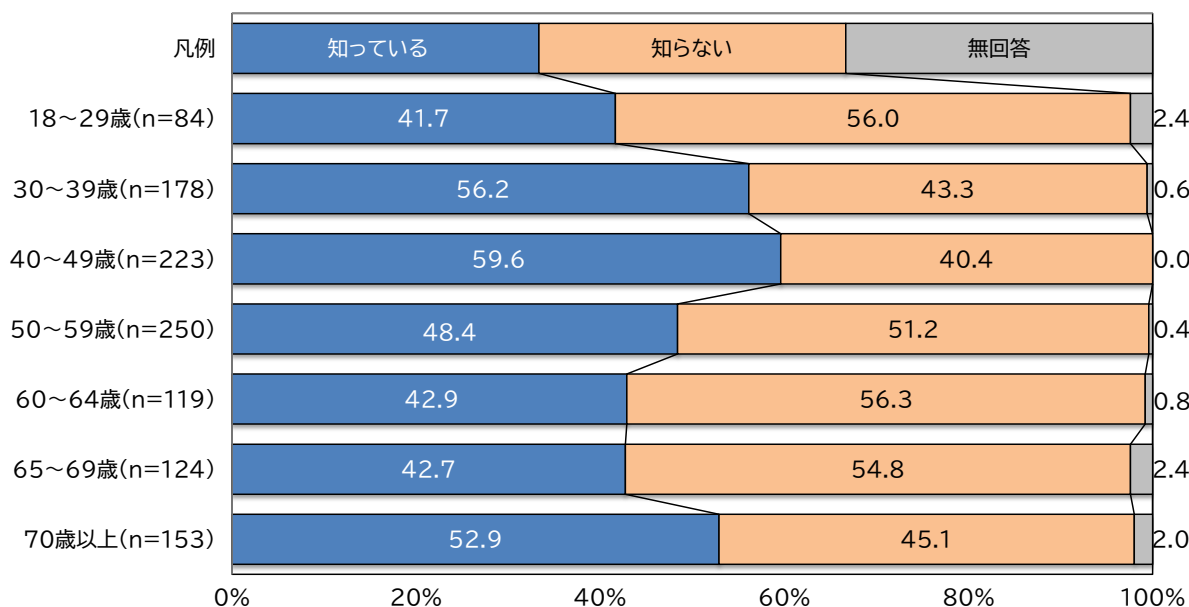
【性別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを「知っている」人の割合は、男性が40.5%、女性が57.4%となっており、女性の方が16.9ポイント高くなっている。



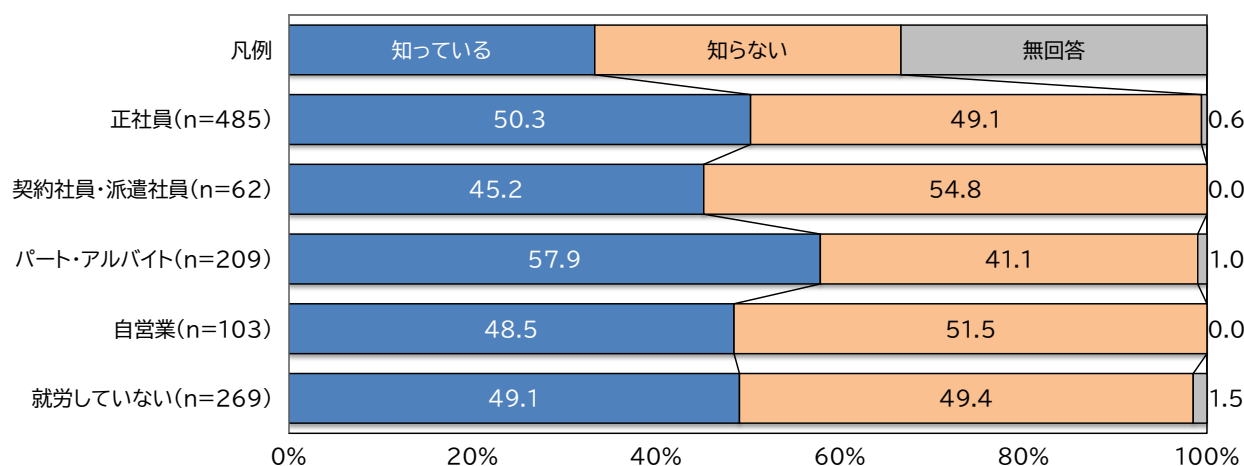
【年齢別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを「知っている」人の割合は、30代、40代、70歳以上では5割台となっており、その他の年代では、4割台となっている。



【職業別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを「知っている」人の割合は、パート・アルバイトが57.9%と最も高くなっている。



◆市政について

1. 市役所について

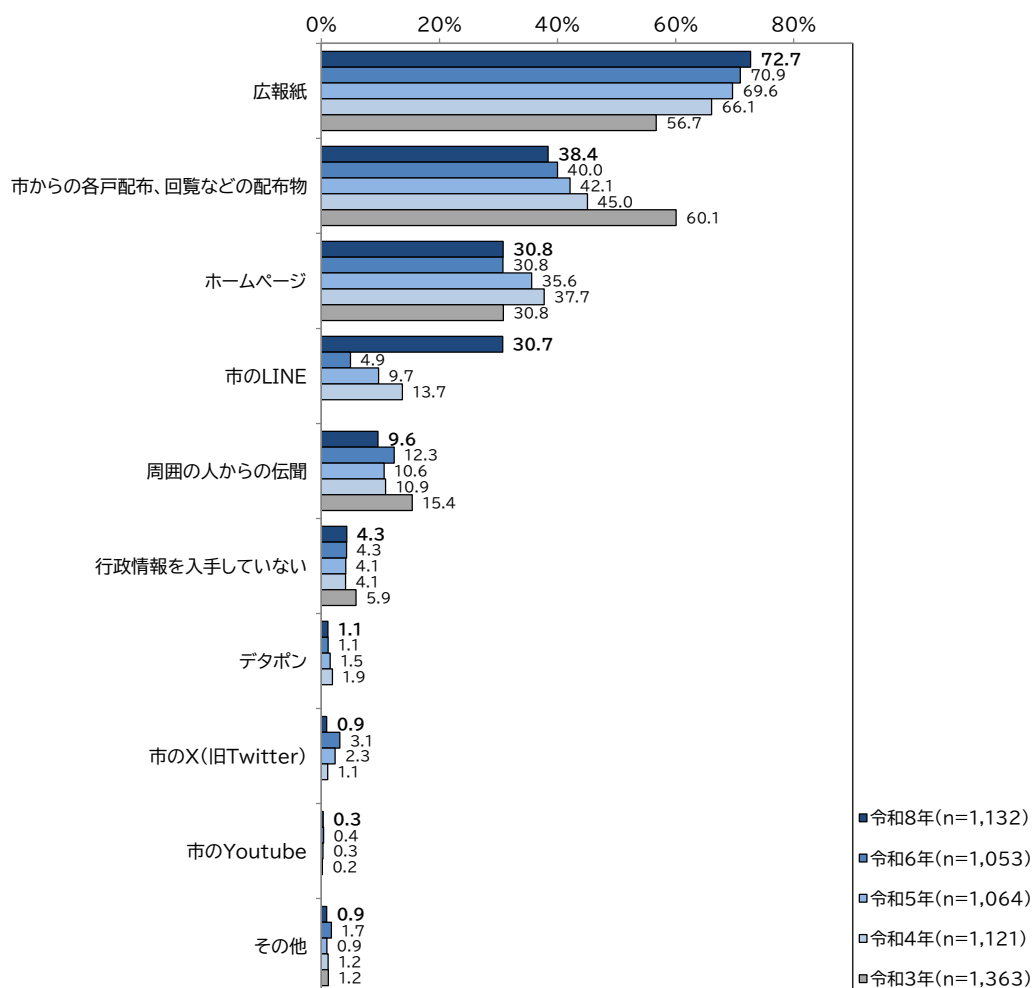
(1) 行政情報の入手方法（問35）

あなたは、どのように行政情報を入手していますか。

行政情報の入手方法については、「広報紙」が72.7%と最も高く、次いで「市からの各戸配布、回覧などの配布物」38.4%、「ホームページ」30.8%、「市のLINE」30.7%となっている。

令和6年度と比較すると、「市のLINE」が25.8ポイント増加している。

※令和7年度は調査が行われていない。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=1132		n=1059		n=1053		n=1064		n=1121		1363	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 広報紙	823	72.7			747	70.9	741	69.6	741	66.1	773	56.7
2 ホームページ	349	30.8			324	30.8	379	35.6	423	37.7	420	30.8
3 市のX(旧Twitter)	10	0.9			33	3.1	25	2.3	12	1.1		
4 市のYoutube	3	0.3			4	0.4	3	0.3	2	0.2		
5 市のLINE	347	30.7			52	4.9	103	9.7	154	13.7		
6 デタボン	13	1.1			12	1.1	16	1.5	21	1.9		
7 周囲の人からの伝聞	109	9.6			130	12.3	113	10.6	122	10.9	210	15.4
8 行政情報を入手していない	49	4.3			45	4.3	44	4.1	46	4.1	80	5.9
9 市からの各戸配布、回覧などの配布物	435	38.4			421	40.0	448	42.1	505	45.0	819	60.1
10 その他	10	0.9			18	1.7	10	0.9	13	1.2	16	1.2

【性別】

- 行政情報の入手方法については、男女ともに「広報紙」が最も高く、女性の方が6.3ポイント高くなっている。

【年齢別】

- 行政情報の入手方法については、「行政情報を入手していない」が20代以下で21.4%と高く、年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

	合 計	広 報 紙	ホ ー ム ペ ー ジ	市 の X (旧 T w i t t e r)	市 の Y o u t u b e	市 の L I N E	デ タ ポ ン	周 囲 の 人 か ら の 伝 聞	行 政 情 報 を 入 手 し て い な い	物 市 か ら の 各 戸 配 布 、 回 覧 な ど の 配 布	そ の 他
全 体	1,132	72.7%	30.8%	0.9%	0.3%	30.7%	1.1%	9.6%	4.3%	38.4%	0.9%
■性別											
男性	447	69.4%	32.7%	1.3%	0.4%	24.2%	0.9%	6.5%	5.8%	36.5%	0.7%
女性	671	75.7%	29.4%	0.6%	0.1%	35.0%	1.2%	11.8%	3.4%	40.1%	0.7%
答えたくない	13	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%
■年代別											
18～29歳	84	38.1%	21.4%	3.6%	0.0%	8.3%	3.6%	21.4%	21.4%	21.4%	1.2%
30～39歳	178	66.9%	39.3%	1.7%	0.6%	27.5%	1.1%	15.7%	6.7%	29.8%	2.2%
40～49歳	223	73.1%	35.9%	1.3%	0.0%	35.9%	0.9%	6.3%	4.5%	28.3%	0.9%
50～59歳	250	75.2%	36.8%	0.4%	0.4%	33.6%	0.4%	8.8%	2.4%	34.0%	0.4%
60～64歳	119	81.5%	29.4%	0.0%	0.8%	35.3%	0.8%	5.9%	1.7%	42.9%	0.0%
65～69歳	124	80.6%	20.2%	0.0%	0.0%	28.2%	0.0%	7.3%	0.0%	54.8%	0.8%
70歳以上	153	80.4%	19.0%	0.0%	0.0%	32.7%	2.6%	7.2%	0.7%	62.7%	0.7%

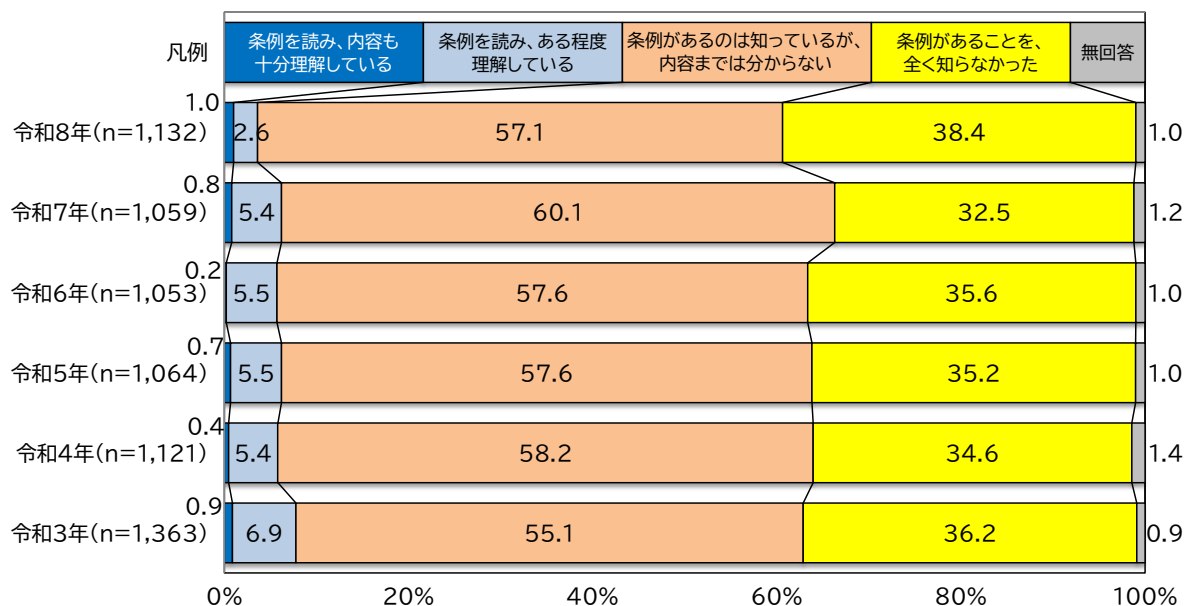
その他の記述内容	件数
親族	2
SPICE LIVING熊本	各1
議員さんが作成された配布物	
自分で調べる	
知り合いがポストに入れてくれる便り	
知りたい時にネットで調べる	
学校からの情報	
インスタ	

(2) 合志市自治基本条例の認知（問36）

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか。

合志市の自治基本条例を知っている人（「条例を読み、内容も十分理解している」＋「条例を読み、ある程度理解している」＋「条例があるのは知っているが、内容までは分からない」）の割合は約 6 割となっているものの、内容まで理解している人（「条例を読み、内容も十分理解している」＋「条例を読み、ある程度理解している」）は 3.6%と低く、条例の存在は知っていても内容までは理解していない割合が半数を超えている。また、「条例があることを、全く知らなかった」は 38.4%となっている。

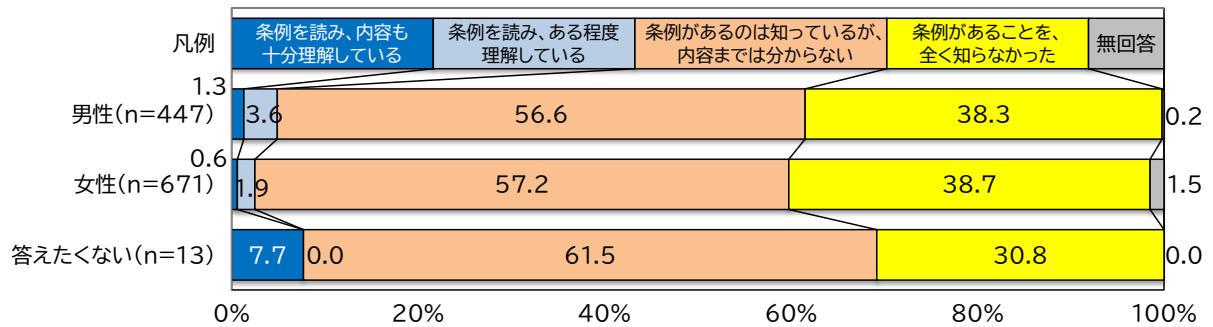
前年度と比べ合志市の自治基本条例を知っている人の割合が 5.6 ポイント減少している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	11	1.0	9	0.8	2	0.2	7	0.7	5	0.4	12	0.9
2 条例を読み、ある程度は理解している	29	2.6	57	5.4	58	5.5	59	5.5	60	5.4	94	6.9
3 条例があるのは知っているが、内容までは分からない	646	57.1	636	60.1	607	57.6	613	57.6	652	58.2	751	55.1
4 条例があることを、全く知らなかった	435	38.4	344	32.5	375	35.6	374	35.2	388	34.6	494	36.2
5 無回答	11	1.0	13	1.2	11	1.0	11	1.0	16	1.4	12	0.9
合計	1,132	100.0	1059	100.0	1053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0

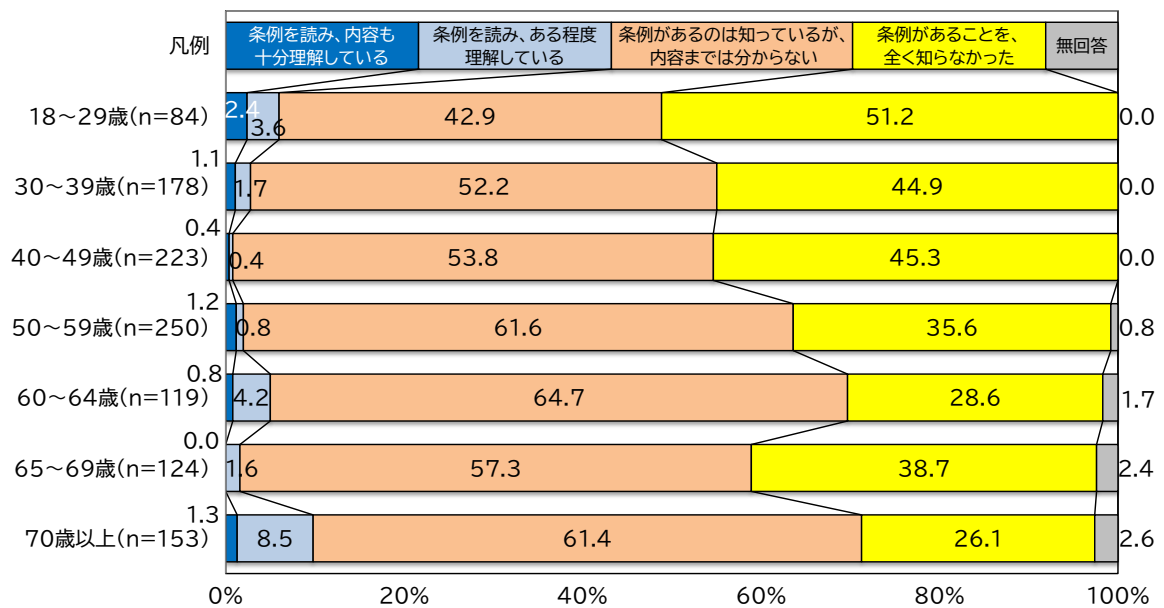
【性別】

- 条例を知っている人の割合について、性別による大きな差は認められない。



【年齢別】

- 20代以下では条例を知らない割合が51.2%と最も高くなっている。
- 年代が上がるにつれ、概ね条例を知っている人の割合が高くなる傾向にあるが、内容まで理解している割合は、すべての年代で1割未満となっている。



2. 市議会の活動について

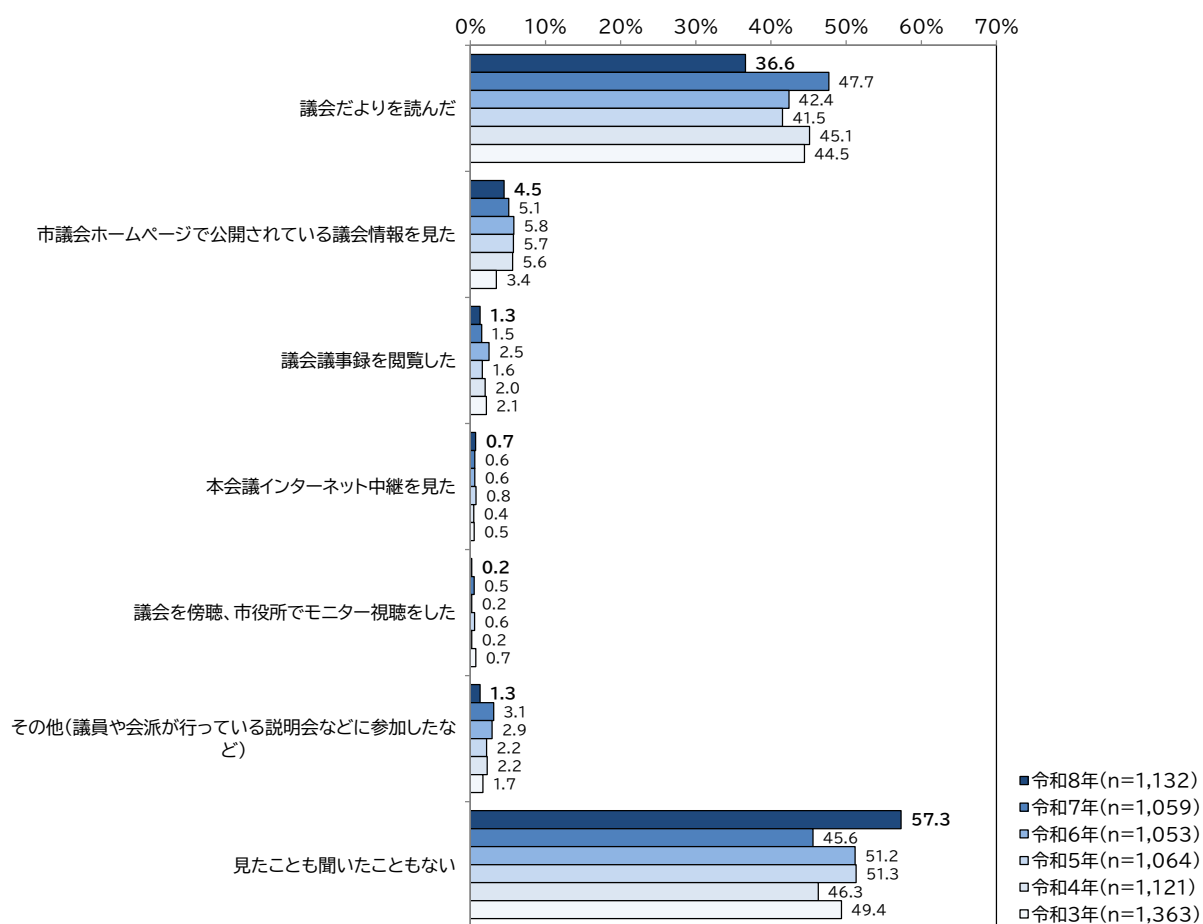
(1) 市議会情報への接触（問37）

あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか。

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」人の割合は57.3%となっている。

市議会の情報を入手している人の情報入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が36.6%と最も高く、次いで「ホームページ」の4.5%となっている。

前年度と比較すると、「見たことも聞いたこともない」人の割合が11.7ポイント増加している。



	令和8年度		令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=1132		n=1059		n=1053		n=1064		n=1121		n=1363	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市議会ホームページで公開されている議会情報を見た	51	4.5	54	5.1	61	5.8	61	5.7	63	5.6	47	3.4
2 本会議インターネット中継を見た	8	0.7	6	0.6	6	0.6	8	0.8	5	0.4	7	0.5
3 議会だよりを読んだ	414	36.6	505	47.7	446	42.4	442	41.5	506	45.1	606	44.5
4 議会の傍聴、市役所でモニター視聴をした	2	0.2	5	0.5	2	0.2	6	0.6	2	0.2	10	0.7
5 議会議事録を閲覧した	15	1.3	16	1.5	26	2.5	17	1.6	22	2.0	29	2.1
6 その他(議員や会派が行っている説明会などに参加したなど)	15	1.3	33	3.1	31	2.9	23	2.2	25	2.2	23	1.7
7 見たことも聞いたこともない	649	57.3	483	45.6	539	51.2	546	51.3	519	46.3	673	49.4

【性別】

- 性別による大きな差は認められない。

【年齢別】

- 年代別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」割合は20代以下では82.1%となっており、年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。
- 「議会だよりを読んだ」人の割合は、年代が上がるにつれ高くなり、20代以下では10.7%だが、70歳以上では6割を超えている。

	合 計	市議会ホームページで公開されている市議会情報を見た	本会議インターネット中継を見た	議会だよりを読んだ	議会を傍聴、市役所でモニター視聴をした	議会議事録を閲覧した	その他（議員や会派が行っている説明会などに参加したなど）	見たことも聞いたこともない
全 体	1,132	4.5%	0.7%	36.6%	0.2%	1.3%	1.3%	57.3%
■性別								
男性	447	6.0%	1.1%	34.7%	0.2%	1.8%	2.0%	57.9%
女性	671	3.4%	0.4%	38.2%	0.1%	1.0%	0.9%	56.6%
答えたくない	13	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	76.9%
■年代別								
18～29歳	84	3.6%	3.6%	10.7%	0.0%	1.2%	0.0%	82.1%
30～39歳	178	4.5%	0.0%	20.8%	0.0%	2.8%	0.0%	72.5%
40～49歳	223	3.6%	0.9%	25.1%	0.0%	1.3%	1.8%	68.6%
50～59歳	250	3.6%	0.0%	38.8%	0.0%	0.8%	0.4%	58.0%
60～64歳	119	2.5%	0.0%	43.7%	0.8%	0.8%	1.7%	50.4%
65～69歳	124	2.4%	0.0%	47.6%	0.0%	0.0%	3.2%	48.4%
70歳以上	153	11.1%	2.0%	67.3%	0.7%	2.0%	2.6%	21.6%

Ⅲ アンケート調査票



市民アンケートにご協力ください

第20回

まちづくりをすすめていくための市民意識調査

市民のみなさまへ

日頃より合志市の運営について、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、市の将来都市像を「人と地域が輝く未来へ～健幸都市こうし～」と定め、まちづくりの指針となる総合計画を策定しています。

この総合計画に掲げているまちづくりの計画が目標に向かっているかどうか、みなさまのご意見をお尋ねし一緒にまちづくりをすすめていきたいと考えています。

ご多用のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

この調査は、無作為に3,000人を抽出し毎年実施しています。

令和8年6月

合志市役所

市長公室 企画課

■回答方法（以下の（１）（２）のどちらかの方法により、7月10日（金）までに回答してください。）

・事情により回答が難しい場合は回答不要です。

※回答用紙（本紙）は破棄してください。

（１）回答用紙（本紙）に直接記入して回答（郵送回答）

・回答用紙（本紙）は同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。



（２）インターネットによる回答（Web回答）

次のURLまたは二次元コードにアクセスし、ご回答ください。

※回答後、回答用紙（本紙）は破棄してください。

※最初の画面でIDとパスワードの入力が必要となりますが、個人を特定するものではありません。



URL	https://src3.webcas.net/form/pub/src3/r8koshi
ログインID	kmks00001（サンプル）
パスワード	aaaa1111（サンプル）



（二次元コード）

※URL・ログインID・パスワードはすべて小文字・数字（半角）

■ 記入のしかた

- 6月1日時点での状況をお答えください。
 - この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。あなた自身のご意見をありのままご記入ください。
 - 回答は、番号を○で囲んでください。特に指定していない限り、○は1つだけに付けてください。
- ※調査の集計結果等は、市ホームページで公表いたします。

◎問い合わせ先

合志市役所 市長公室 企画課 企画広報班
TEL (096) 248-1813 (直通)

★はじめに、あなた自身とご家族のことをお尋ねします。

問1 あなたの性別について

1. 男	2. 女	3. 答えたくない
------	------	-----------

問2 あなたの年齢について

1. 18～29歳	4. 50～59歳	7. 70歳以上
2. 30～39歳	5. 60～64歳	
3. 40～49歳	6. 65～69歳	

問3 あなたの合志市の居住年数について

1. 1年未満	4. 5年～10年未満
2. 1年～3年未満	5. 10年～20年未満
3. 3年～5年未満	6. 20年以上

問4 あなたの居住パターンについて

1. 生まれてからずっと合志市に住んでいる
2. 合志市生まれだが、一度合志市外に住み、Uターンしてきた
3. 他の市町村から転入してきた

問5 あなたのご家族の構成について

1. ひとり世帯	4. 三世帯世帯（親と子と孫）
2. 夫婦だけの世帯	5. その他
3. 二世帯世帯（親と子）	

※夫婦には、事実婚やパートナーシップを含みます。子にはファミリーシップを含みます。

問6 あなたのお住まいの小学校区について

1. 合志小学校区	6. 西合志南小学校区
2. 合志南小学校区	7. 西合志東小学校区
3. 南ヶ丘小学校区	8. 合志楓の森小学校区
4. 西合志第一小学校区	9. わからない
5. 西合志中央小学校区	

問7 配偶者（パートナーを含む）について

1. いる	2. いない
-------	--------

※パートナーとは・・・法的には配偶者ではないが、回答者ご自身が「配偶者と同等の存在であると認めている方」をさします。

問8 あなたと配偶者（パートナーを含む）の現在の仕事について

（1）あなたご自身について

- | |
|--------------------------|
| 1. 正社員として働いている（会社役員など含む） |
| 2. 契約社員・派遣社員として働いている |
| 3. パート・アルバイトとして働いている |
| 4. 自営業に従事している（農業、商業など） |
| 5. 就労していない |

（2）配偶者（パートナーを含む）（問7の選択肢で「1.いる」と答えた方）

- | |
|--------------------------|
| 1. 正社員として働いている（会社役員など含む） |
| 2. 契約社員・派遣社員として働いている |
| 3. パート・アルバイトとして働いている |
| 4. 自営業に従事している（農業、商業など） |
| 5. 就労していない |

問9 18歳以下のご家族について

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

◎問9の選択肢で「1. いる」と答えた方にお尋ねします。
（それ以外の方は問11におすすみください。）

問10 18歳以下のご家族は何人いますか。
（該当する人数をそれぞれ○で囲んでください。）

- | | |
|----------|--------------------------|
| 就 学 前 | [0人. 1人. 2人. 3人. 4人以上] |
| 小 学 生 | [0人. 1人. 2人. 3人. 4人以上] |
| 中 学 生 | [0人. 1人. 2人. 3人. 4人以上] |
| 16歳から18歳 | [0人. 1人. 2人. 3人. 4人以上] |

問11 子育てや家庭内の悩みを相談しようと思える相談先を教えてください。
（複数回答可）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 家族や親族 |
| 2. 友人や先輩・後輩 |
| 3. 学校・職場・アルバイト先の人 |
| 4. インターネット上の直接会わない人 |
| 5. 地域の人が集まる公民館など（サロンなどをきっかけとした地域の居場所） |
| 6. 行政の相談窓口 |
| 7. その他（ |

問12 地域で支える「子育て支援」のために重要だと思うことは何ですか。
(複数回答可)

1. 仕事と子育ての両立支援（職場の理解・育児休業取得促進・親族の協力など）
2. 保育園・放課後児童クラブなどの保育サービスの充実や学校教育の質の向上
3. 支援内容の情報提供や相談体制
4. 医療費助成などの金銭的な子育て支援の制度
5. 自宅や学校以外のこどもの居場所づくり（息抜き場所）
6. 公園や遊び場の整備
7. 子育て環境の整備（授乳室や哺乳スペースなど）
8. 公共交通や買い物などの生活利便性向上
9. 犯罪から守る体制強化
10. 地域の人との交流の機会
11. その他（具体的にご記入ください：_____）

問13 合志市の少子化の現状をどのように感じていますか。

1. とても深刻な問題だと感じる
2. やや深刻な問題だと感じる
3. どちらともいえない
4. あまり深刻な問題ではないと感じる
5. 全く深刻な問題ではないと感じる

◎問13の選択肢で「1～2」と答えた方にお尋ねします。
(それ以外の方は問15におすすみください。)

問14 合志市の少子化が進んでいる主な原因は何だと思いますか。（複数回答可）

1. 経済的な不安（教育費や生活費など）
2. 仕事と子育ての両立の難しさ
3. 結婚しない人の増加（結婚したいが出会いの場が少ない）
4. 結婚しない人の増加（結婚に魅力を感じない）
5. 婚姻年齢の上昇
6. 出産・育児に関するサポート不足（不妊治療費や産後ケアの金銭的補助など）
7. 子育ての孤立感・負担感（親族からの協力が得られない）
8. 住環境整備や子育て環境整備不足
9. 出産を希望しない選択をする人の増加
10. その他（具体的にご記入ください：_____）

★地域の活動についてお尋ねします。

問15 あなたは、過去1年間で地域の活動（自治会の活動）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

1. 参加したことがあり、今後も参加したい
2. 参加したことはあるが、今後は参加しない
3. 参加したことはないが、今後は参加したい
4. 参加したこともなく、今後も参加したくない
5. 自治会に加入していないのでわからない

◎問15の選択肢で「5. 自治会に加入していないのでわからない」と答えた方にお尋ねします。
（それ以外の方は問17におすすみください。）

問16 自治会に加入していない理由は何ですか。（複数回答可）

1. 自治会に加入しなくても困らない
2. 仕事や子育てなどで忙しく自治会活動に参加できない
3. 自治会活動に参加するのが面倒くさい・重荷だと感じる
4. 自治会に加入するメリットを感じない
5. 自治会の役員などをやりたくない
6. 自治会の存在を知らない
7. 長く住む予定ではない
8. 会費を払いたくない
9. プライバシーを知られたくない
10. その他（ ）

問17 あなたは、過去1年間でボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

1. 参加したことがあり、今後も参加したい
2. 参加したことはあるが、今後は参加しない
3. 参加したことはないが、今後は参加したい
4. 参加したこともなく、今後も参加したくない

問18 あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

1. 参加したことがあり、今後も参加したい
2. 参加したことはあるが、今後は参加しない
3. 参加したことはないが、今後は参加したい
4. 参加したこともなく、今後も参加したくない

問19 あなたは、地域・職場内の防災に対する活動に参加していますか。(複数回答可)

1. 地域・職場の防災訓練に参加している
2. 地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している
3. 合志市消防団に参加している
4. 合志市防災士連絡協議会に参加している
5. 防災組織について知っているが、参加していない
6. 防災組織を知らない
7. その他()

★健康についてお尋ねします。

問20 生活習慣病予防のための健診(生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック等)を受けていますか。受けていない方は、その理由は何ですか。
(複数回答可)

1. 受けている
2. 受けていない
 - ①医療機関を定期受診中
 - ②費用がかかる
 - ③面倒
 - ④時間がない
 - ⑤受ける必要性を感じない
 - ⑥健康に自信がある
 - ⑦受け方を知らない
 - ⑧その他()

問21 自分なりのストレス解消法を持っていますか。

1. はい
2. いいえ

問22 昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

1. 6時間未満
2. 6時間以上9時間未満
3. 9時間以上

問23 タバコを吸いますか。(電子タバコを含む)

1. 吸う
2. 以前吸っていたがやめた
3. 吸わない

問24 生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか。

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない（今回の調査で初めて聞いた） |
|----------|-----------------------|

※生活習慣病のリスクを高める飲酒量とは・・・

健康日本21（第三次）では、生活習慣病のリスクを高める1日の飲酒量を、男性は「ビール中瓶2本以上等：純アルコール量40g以上」、女性は「ビール中瓶1本等：純アルコール量20g以上」と定義し、飲酒による生活習慣病予防を図る指標として設定しています。

問25 あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 感じる | 3. わからない |
| 2. 感じない | |

問26 あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば思わない | |

問27 あなたは、過去1年間で総合健康センター「ユーパレス弁天」又は「クラッシーノ・マルシェ」を利用しましたか。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 「ユーパレス弁天」のみ利用した | 3. 両方とも利用した |
| 2. 「クラッシーノ・マルシェ」のみ利用した | 4. いずれも利用していない |



「ユーパレス弁天」
のホームページ



「クラッシーノ・マルシェ」
のホームページ

★生涯学習についてお尋ねします。

問28 あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 週に2回以上行っている | 4. 月に1回行っている |
| 2. 週に1回行っている | 5. ほとんど行っていない |
| 3. 月に2、3回行っている | 6. 行っていない |

★人権についてお尋ねします。

問29 あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※人権侵害とは・・・部落差別（同和問題）、ハンセン病、水俣病、LGBTQ+（レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング・クィア等）、子ども、女性、高齢者、障がい者、インターネット、外国人、HIV、DV（ドメスティックバイオレンス：配偶者や恋人などの近親者間暴力）、セクハラ（セクシュアルハラスメント：性的いやがらせ）、パワハラ（パワーハラスメント：権力的いやがらせ、会社などで職権・地位などを利用したいいやがらせ）、いじめ、プライバシーの侵害等における差別や嫌がらせを受けた場合を指します。

問30 あなたは、過去1年間で人権問題（部落差別（同和問題）、ハンセン病、水俣病、LGBTQ+、子ども、女性、高齢者、障がい者、インターネット、外国人、HIV、DV、セクハラ、パワハラ、いじめ、プライバシーの侵害等）の研修会、学習会等へ参加したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問31 あなたは、女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っていますか。（例えば、DV・離婚相談や子育ての困難さ、児童虐待など）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

★住環境などについてお尋ねします。

問32 あなたは、どの程度公共交通機関（JR、バス、電車）を利用していますか。

※バスには、市のコミュニティバス（レターバス、乗合タクシー）を含みます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 週に1回以上利用している | 3. 年に数回だけ利用している |
| 2. 月に数回程度利用している | 4. 全く利用していない |

◎問32で「1～3」と答えた方にお尋ねします。

（それ以外の方は問34へおすすみください。）

問33 あなたは、どの公共交通機関を利用していますか。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. JRを利用している | 3. バスを利用している |
| 2. 熊本電鉄(電車)を利用している | 4. その他の公共交通機関 |

問34 あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. できていると思う | 3. あまりできていないと思う |
| 2. だいたいできていると思う | 4. 全くできていないと思う |

★市役所に関してお尋ねします。

問35 あなたは、どのように行政情報を入手していますか。(複数回答可)

1. 広報紙
2. ホームページ
3. 市のX (旧Twitter)
4. 市のYouTube
5. 市のLINE
6. デタボン
7. 周囲の人からの伝聞
8. 行政情報を入手していない
9. 市からの各戸配布、回覧などの配布物
10. その他()

※デタボンとは・・・テレビを利用した住民情報サービスです。

問36 あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか。

1. 条例を読み、内容も十分理解している
2. 条例を読み、ある程度は理解している
3. 条例があるのは知っているが、内容までは分からない
4. 条例があることを、全く知らなかった

合志市自治基本条例のホームページ →



★市議会の活動についてお尋ねします。

問37 あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか。(複数回答可)

1. 市議会ホームページで公開されている議会情報を見た
2. 本会議インターネット中継を見た
3. 議会だよりを読んだ
4. 議会を傍聴、市役所でモニター視聴をした
5. 議会議事録を閲覧した
6. その他(議員や会派が行っている説明会などに参加したなど)
7. 見たことも聞いたこともない

★市の政策について自由にご記入ください。

問38 今後の政策立案の参考としますので、まちづくりや市民サービスなど、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

7月10日（金）までに返信用封筒に入れ、ご投函ください。

※記入されたご意見は、とりまとめて市ホームページに掲載しますが、公開にあたっては、個人情報に関する内容や差別的な表現など不適切なものは削除いたします。

IV 概要版



市民生活について

◆日常生活

＜地域活動等への参加経験＞	
・地域活動に参加	59.0% (+0.8)
・ボランティア活動に参加	19.1% (+1.5)
・市のイベントに参加	31.9% (+0.8)
・地域・職場で防災に取り組んでいる	43.6% (+0.7)

＜子育て＞	
・少子化の現状に問題だと感じている	48.1%
→原因：経済的な不安、仕事と子育ての両立の難しさ	
・子育て・家庭内の悩みの相談先	
→家族や親族 78.4%、友人や先輩・後輩 50.1%	

◆健康

・生活習慣予防の健診を受けている	75.7% (-3.4)
・ストレス解消法がある	87.0% (+1.7)
・睡眠時間 6～9 時間未満	66.1% (+1.2)
・喫煙する	13.9% (-0.5)

＜健康に関する知識＞	
・生活習慣病のリスクを高める	
飲酒量の認知	
	53.3% (-5.5)

＜生涯学習＞	
・生きがいをもって生活している	77.4% (-1.5)
・生涯学習の実施	33.1% (-1.2)

＜施設利用状況＞	
・施設を利用した	50.2% —
→施設：「ユーパーレス弁天」「クラッシーノ・マルシェ」	

◆住環境

＜住環境の評価＞	
・住み慣れた地域で生活している	76.5% (+1.6)

＜交通＞	
・公共交通を利用	54.2% (+3.3)
→日常的（週1 回以上）に利用 2.9%	
→JR 38.4% 熊本電鉄 65.1% バス 56.2%	
・公共交通の乗り継ぎが円滑	37.4% (-9.0)

＜人権＞	
・人権が侵害された	11.8% (-1.4)
・人権問題の研修会、学習等に参加	14.5% (-0.6)

＜相談専門部署＞	
・女性や子どもの相談専門部署の認知度	50.8% (+0.6)

市政について

◆市役所について

＜市役所に関して＞	
・行政情報の入手方法	
→広報紙 72.7%、市からの各戸配布・回覧などの配布物 38.4%	
・自治基本条例を知っている	60.7% (-5.6)
＜市議会の活動について＞	
・議会だよりを読んだ	36.6% (-11.1)
→市議会の議論を見たことも聞いたこともない 57.3%	

回答者のプロフィール

◆回答者数	1,132 人（回収数 1,132 通）
◆回収率	37.7%
◆調査方法	郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収

＜性別＞	男性 39.5%	女性 59.3%	答えたくない 1.1%
＜年齢＞	20 代以下 7.4%	30 代 15.7%	
	40 代 19.7%	50 代 22.1%	
	60 代 21.5%	70 代以上 13.5%	
＜居住パターン＞	合志市（転出なし） 10.2%		
	Uターン 10.2%	転入 79.5%	
＜配偶者＞	いる 78.4%	いない 21.6%	
＜家族構成＞	二世代 56.3%	夫婦のみ 26.9%	
	三世代 6.9%	ひとり暮らし 7.3%	
＜居住年数＞	20 年以上 51.9%		
＜校区＞	合志小 8.8%	合志南小 16.3%	
	南ヶ丘小 12.1%	西合志第一小 2.0%	
	西合志中央小 13.2%	西合志南小 14.8%	
	西合志東小 16.2%	合志楓の森小 7.9%	

今後のまちづくりについて

＜今後まちづくりへの参加意向＞	
・今後地域活動に参加したい	56.6% (+2.3)
・今後ボランティア活動に参加したい	48.5% (+1.1)
・今後市のイベントに参加したい	60.9% (-1.6)

※（ ）内の数値は前回調査と比較したポイント差